

Panasonic

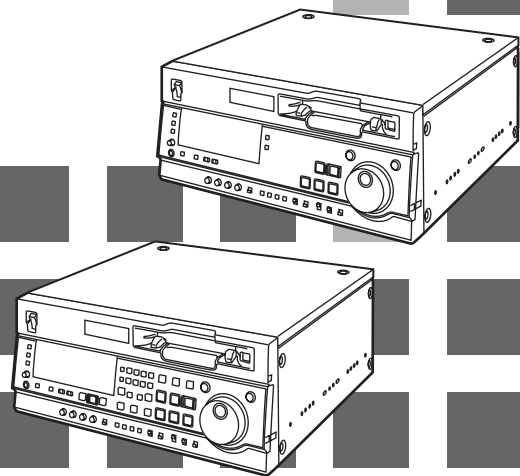
デジタルビデオカセットレコーダー 取扱説明書

AJ-SD930B

品番 AJ-SD955B

DVC PRO 50

ご使用後は、忘れずに電源スイッチ
を切ってください。



保証書別添付

- この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なお読みにしてください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

目次

概要	3	タイムコード/ユーザズビットについて	57
付属品	3	スーパーインポーズ画面	59
安全上のご注意	4	出力映像信号とサーボのリファレンス	60
特長	7	音声Vフェード機能	62
各部の名称と機能	8	音声の記録チャンネルとモニター出力の選択	63
フロントパネル	8	回路板	63
表示パネル	14	ラックマウント	64
リアパネル	16	ビデオヘッドクリーニング	65
接続	18	結露	65
テープについて	20	お手入れについて	65
ジョグ/シャトル	21	エラーメッセージ	66
手動編集 SD955B	22	RS-232C インターフェース	71
プリロール SD955B	22	SDTI インターフェース	76
自動編集 (デッキ対デッキ) SD955B	23	コネクターの信号	77
スイッチの設定と調整	23	保証とアフターサービス	79
編集モードの選択	24	定格	80
編集点の登録	24		
編集点の確認とプレビュー	25		
編集点の訂正	26		
自動編集の実行とレビュー	27		
オーディオスプリット編集 SD955B	28		
バリアブルメモリー編集 SD955B	30		
セットアップ (初期設定)	31		
セットアップメニュー	32		
SYSTEMメニュー	35		
USERメニュー	37		
<BASIC>	37		
<OPERATION>	39		
<INTERFACE>	42		
<EDIT>	43		
<TAPE PROTECT>	45		
<TIME CODE>	46		
<VIDEO>	48		
<AUDIO>	50		
<V BLANK>	53		
<MENU>	56		

オプションボード

- アナログビデオ入力ボード：
AJ-YA931G (525i)、AJ-YA932G (625i)
- SDTI インターフェースボード：
AJ-YAC930G
- デジタルビデオインターフェース (IEEE 1394) ボード：
AJ-YAD955G

オプションボードは、必ず、上記の製品を使用してください。

AJ-YAD455P (AJ-D455 用の IEEE 1394 ボード) は、使用できません。

故障の原因になりますので、絶対に本機では使用しないでください。

概要

AJ-SD930B と AJ-SD955B は、1/4 インチ幅の小型カセットテープを使用し、映像記録レート 50Mbps の高画質の記録・再生・編集ができ、DVCPRO (25Mbps) フォーマットの記録・再生・編集も可能なマルチパーパスのスタジオデジタル VTR です。

デジタル圧縮技術を採用した高画質 VTR で、ダビング時の画質・音声の劣化が大幅に少なくなっています。

本機は、編集に必要なアSEMBル・インサート機能など、編集 VTR として必要なさまざまな機能を備えています。

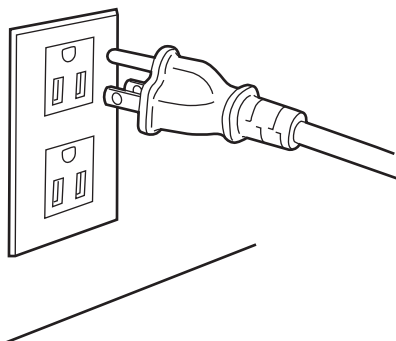
(AJ-SD930B 単体では編集を行うことができませんが、外部コントローラーを接続すると、編集を行うことができます。)

本誌には、AJ-SD955B と AJ-SD930B の内容を掲載しています。
AJ-SD955B のみに存在する内容には、**SD955B** を明記しています。

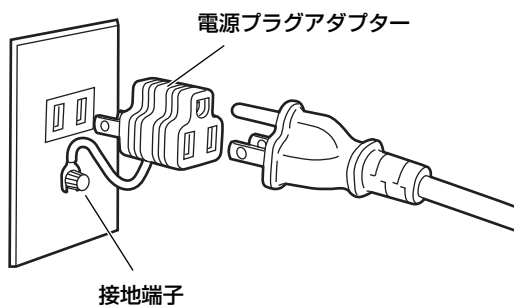
付属品

電源コード (3芯)	1
電源プラグアダプター	1

- 本機に付属されている電源コードは、接地端子を備えた 3 ピンのコンセントに接続してください。



- 2 ピンのコンセントを使用する場合は、付属の電源プラグアダプターを取り付け、必ず、接地端子にアース線を接続してください。アース線を接続するときは、必ず、電源コードを電源プラグアダプターに差し込む前に、行ってください。また、アース線を外すときは、必ず、電源コードを電源プラグアダプターから抜いた後に、行ってください。



- 本機に付属されている電源プラグアダプターを、他の機器には、絶対に使用しないでください。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

不安定な場所に置かない!



禁止

落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

電源コードや接続コードに重いものを載せない!



禁止

本機の下敷きにならないよう注意してください。
コードが傷ついて、火災や感電の原因になります。

コンセントや配線機器の定格を越えて使用しない!



禁止

たこ足配線等で定格を越えると、発熱による火災の原因になります。

付属品・オプションは、指定の製品を使用する!



本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。

本機の上に水の入った容器、小さな金属物を置かない!



禁止

本機内部にはいると、故障や事故を起こす原因になります。

機器の開口部から異物を差し込んだり、落とし込んだりしない!



禁止

火災や感電の原因になります。

警告

<p>電源コード・電源プラグが破損するようなことはしない! 傷つけたり、加工したり、高温部に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない!</p> <p> 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。</p> <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。 	<p>水場で使用しない!</p> <p> 火災や感電の原因になります。</p> <p>水場使用禁止</p>	<p>本機を改造しない!</p> <p> 火災や感電の原因になります。</p> <p>分解禁止</p>
<p>電源プラグは、根元まで確実に差し込む!</p> <p> 火災や感電の原因になります。傷んだプラグやゆるんだコンセントのまま使用しないでください。</p>	<p>指定のカバー以外は外さない!</p> <p> 感電の原因になります。</p> <p>分解禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。 	<p>表示された電源電圧以外は使用しない!</p> <p> 火災や感電の原因になります。</p> <p>禁止</p>
<p>本機を落としたり破損した場合や、内部に異物や水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源（プラグ）を抜く!</p> <p> そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。</p> <p>電源プラグを抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> お買い上げの販売店にご相談ください。 	<p>煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合は、電源スイッチを切り、電源（プラグ）を抜く!</p> <p> そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。</p> <p>電源プラグを抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> お買い上げの販売店に修理を依頼してください。 	<p>電源プラグのほこりなどは、定期的にとる!</p> <p> プラグにほこりがたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

⚠ 注意

<p>電源コードを熱器具に近づけない!</p>  <p>コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になる恐れがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>油煙や湯気、湿気やほこりの多い場所に置かない!</p>  <p>火災や感電の原因になる恐れがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>本機の上に重い物を置かない!</p>  <p>バランスがくずれて落下し、けがをする恐れがあります。</p> <p>禁止</p>
<p>プラグやコネクタを抜くときは、コードを引っ張らない!</p>  <p>コードが傷つき、火災や感電の原因になる恐れがあります。</p> <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> 必ずプラグやコネクタを持って抜いてください。 	<p>本機の通風孔をふさがない!</p>  <p>内部に熱がこもり、火災の原因になる恐れがあります。</p> <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> 風通しの悪い所に押し込まないでください。 テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください。 	<p>持ち上げるときや移動させるときには、十分注意する!</p>  <p>落としたりすると、けがをする恐れがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 10kg以上の機器は、2人以上で持ち上げるなどして、慎重に取り扱ってください。
<p>カセットテープ挿入口に、指をはさまれないように注意する!</p>  <p>けがをする恐れがあります。</p> <p>指に注意</p>	<p>本機に乗らない!</p>  <p>倒れたり壊れたりして、けがをする恐れがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>移動させる場合は、電源スイッチを切り、プラグを抜き、外部の接続コードを外す!</p>  <p>コードが傷つき、火災や感電の原因になる恐れがあります。</p>
<p>長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く!</p>  <p>火災の原因になる恐れがあります。</p> <p>電源プラグを抜く</p>	<p>本機を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグが簡単に手が届くようにする。</p>  <p>異常や故障が発生した際に、すぐに電源プラグが抜けるようにしてください。(本機を電源から完全に遮断するには電源プラグを抜く必要があります。)</p>	<p>1年に1度ぐらいは、販売店に内部の掃除の相談を!</p>  <p>本機の内部にほこりがたまったまま、使用すると、火災や故障の原因になる恐れがあります。</p> <p>お手入れの際は、電源スイッチを切り、電源(プラグ)を抜く!</p>  <p>火災や感電の原因になる恐れがあります。</p> <p>電源プラグを抜く</p>

特長

小型・軽量

本機は 4U サイズのデジタル VTR です。ラックマウントアダプター（オプション、AJ-MA75P）を使用すれば 19 インチラックにも手軽に取りつけることができます。

最大 92 分記録

使用するカセットテープは、M カセット（最大 33 分：AJ-5P33MP 使用時）と L カセット（最大 92 分：AJ-5P92LP 使用時）です。テープ幅は 1/4 インチのコンパクト設計になっています。

高画質

既存 DVCPRO の 2 倍の記録レートを持った 4 : 2 : 2 コンポーネント信号記録により高画質を実現しています。

525i/625i スイッチャブル **SD955B**

映像入力信号（525i/625i）に合わせて切り替え（セットアップメニュー No.070）を行うことにより、それぞれの信号を記録・再生することができます。

SDI インターフェース

4 : 2 : 2 シリアルデジタルインターフェースを標準装備しています。

DVCPRO (25Mbps) フォーマットとの互換

既存の DVCPRO (25Mbps) フォーマットの記録・再生・編集ができます。

民生機器との互換

民生機器のデジタルカメラ等で撮影した民生用 DV カセットテープを再生することができます。

ミニ DV カセットテープを使用する場合、カセットアダプター（AJ-CS455P）が必要になります。

デジタルスローモーション/ダイヤルジョグ

パナソニック独自のデジタルスロー技術により、-0.43 ~ +0.43 / +0.5 / +0.75 倍速でのスロー再生でも、クリアな画像が再生できます。

（DVCPRO、DVCPRO50 のみ）

ダイヤルシャトル

シャトル操作は、正・逆方向に最大 32 倍速までカラー画像で再生が可能です。

UMID 情報の記録・再生

SMPTE 330M 規格の UMID (Unique Material Identifier) 情報の記録・再生に対応しています。

UMID 情報は、ダイヤルメニューで確認することができます。

UMID 情報の記録・再生に対応していない VTR では、UMID 情報を正しく再生することができません。

また、UMID 情報の記録・再生に対応していない VTR を本機に接続して記録を行っても、UMID 情報を正しく記録することができません。

タイムコード

本機は、TCG (タイムコードジェネレーター) / TCR (タイムコードリーダー) を内蔵しています。

タイムコードは、内部タイムコードの他に、外部タイムコード入力または入力信号の VITC を、タイムコードとして本機に記録することが可能です。

多機能なインターフェース

● シリアルデジタル入出力

コンポーネントシリアルインターフェースを標準装備しており、シリアルデジタルコンポーネント信号のインターフェースが行えます。

● アナログビデオ入出力

コンジット・コンポーネント出力を標準装備しています。

アナログビデオ入力ボード（オプション：AJ-YA931G）を使用しますと、コンポーネント（Y、PB、PR）とコンジットの入力インターフェースが行えます。

**AJ-SD955B を 625i システムで使用するとき
は、アナログビデオ入力ボードに AJ-YA932G
を使用してください。**

● AES/EBU オーディオ入出力

デジタルオーディオ入出力端子を装備しています。

● IEEE1394 デジタル入出力

デジタルビデオインターフェースボード（オプション：AJ-YAD955G）を使用しますと、IEEE1394 インターフェースでの入出力が行えます。

● SDTI 入出力

SDTI ボード（オプション：AJ-YAC930G）を使用しますと、SDTI (Serial Data Transport Interface) 信号の入出力インターフェースが行えます。

● 9 ピン RS-422A/RS-232C リモート

標準的な 9 ピンシリアルリモート（RS-422A）の他、RS-232C および 25 ピンパラレルのリモート端子を装備しています。

RS-422A は、本機と別の VTR をループ接続すれば並列運転ができます。

4 チャンネルの高音質デジタルオーディオ

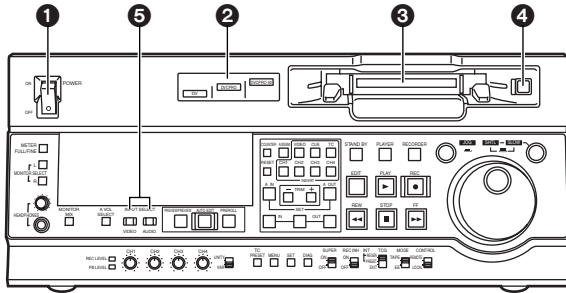
4 チャンネルの PCM オーディオを持ち、4 チャンネルは独立して編集ができるほか、チャンネルミックスが可能です。

メニュー方式のセットアップ

本機を操作する前に行うセットアップの各設定は、本機のディスプレイまたはモニターテレビのセットアップメニューを見ながら行います。

各部の名称と機能

フロントパネル



① POWER スイッチ

② フォーマット表示部

記録フォーマットや挿入されているテープのフォーマットが表示されます。

DVCPR050 :

DVCPR050 (50Mbps) テープの記録および再生モードを示します。

DVCPR0 :

DVCPR0 (25Mbps) テープの記録および再生モードを示します。

DV :

DV テープの再生モードを示します。

③ カセット挿入口

④ EJECT ボタン

押すとテープがアンロードし、数秒後自動的にカセットを排出します。

カウンター表示部が CTL 表示のときは、表示がリセットされます。

EJECT ボタン操作の許可/禁止をセットアップメニュー No.115 (EJECT SW INH) により選択できます。

⑤ INPUT SELECT ボタン

ビデオとオーディオの入力信号を切り替えます。

また、入力信号は、セットアップメニュー No.600 (INT SG) で選択された、内部基準信号に切り替えることもできます。

VIDEO :

VIDEO ボタンを押す毎に、入力ビデオ信号が、
Y PB PR → CMPST → SDI → SDTI/1394 → SG (SG/SG1/SG2) の順に切り替わり、
選択されます。

- SG のときの信号は、セットアップメニュー No.600 (INT SG) で選択された内部基準信号に切り替わります。

AUDIO :

AUDIO ボタンを押す毎に、入力オーディオ信号が、
ANALOG → AES/EBU → USER SET → SDI → SDTI/1394 → SG の順に切り替わり、
選択されます。

- USER SET は、PCM オーディオ信号の CH1/CH2/CH3/CH4 に記録する入力信号を個別に記録する機能で、セットアップメニューと併用して使用します。

例)

設定

AUDIO ボタン

USER SET

セットアップメニュー

No.715 (CH1 IN SEL) : ANA

No.716 (CH2 IN SEL) : DIGI

No.717 (CH3 IN SEL) : DIGI

No.718 (CH4 IN SEL) : ANA

No.719 (D IN SEL12) : AES

No.720 (D IN SEL34) : SIF

テープ上に記録される PCM オーディオ信号

CH1 : アナログ入力信号

CH2 : AES/EBU デジタル信号

CH3 : SDI 入力のデジタル信号

CH4 : アナログ入力信号

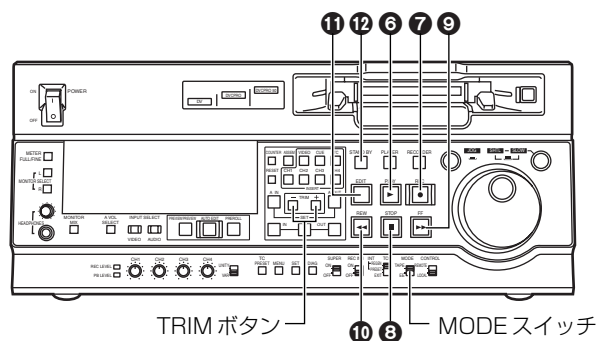
<ノート>

- INPUT SELECT ボタンで行う入力切り替え (ビデオとオーディオ) は、セットアップメニュー No.112 (V IN SEL INH) と No.113 (A IN SEL INH) により禁止することができます。

- Y PB PR、CMPST、SDTI/1394 の項目は、オプションボード (AJ-YA931G、AJ-YAC930G) が挿入されていないと選択できません。

各部の名称と機能

フロントパネル



⑥ PLAY ボタン

押すと再生が始まります。
このボタンと REC ボタンを同時に押すと記録が始まります。
AJ-SD955B の場合、再生中に EDIT ボタンと同時に押すと手動編集が始まります。ただし、サーボがロックしていないときは手動編集には入りません。手動編集中に PLAY ボタンだけを押し、編集はカットアウトされ、再生モードになります。PLAY ボタンを押しながら TRIM + (または TRIM -) ボタンを押すと、TRIM ボタンを押す毎にセットアップメニュー No.108 (CAP. LOCK) で選択されているフレームモード単位で、再生速度を加速または減速します。

<ノート>

加速している間や減速している間は、サーボランプが消灯します。このとき再生されるオーディオ信号には、ノイズが発生します。

⑦ REC ボタン

このボタンと PLAY ボタンを同時に押すと、記録が始まります。
再生、サーチ、早送り、巻き戻し中にこのボタンを押すと、押している間、E-E モードの画像と音声信号をモニターすることができます。
ストップモード中にこのボタンを押すと、E-E モードの画像と音声をモニターできます。STOP ボタンを押すと、元の画像・音声に戻ります。

⑧ STOP ボタン

押すとテープ走行が停止し、MODE スイッチが「TAPE」のときには静止画をモニターすることができます。
ストップモード中でもドラムは回転し、テープはドラムに密着しています。
ストップモードが一定時間以上経過すると、テープ保護のために自動的にスタンバイ OFF モード、または STEP FWD モードになります。(セットアップメニュー No.400 ~ 403 で設定) 本機にカセットを入れた直後は、ストップモードになります。

⑨ FF ボタン

押すと、テープを早送りします。
速度は、セットアップメニュー No.102 (FF. REW MAX) で選択できます。

⑩ REW ボタン

押すと、テープを巻き戻します。
速度は、セットアップメニュー No.102 (FF. REW MAX) で選択できます。

⑪ EDIT ボタン SD955B

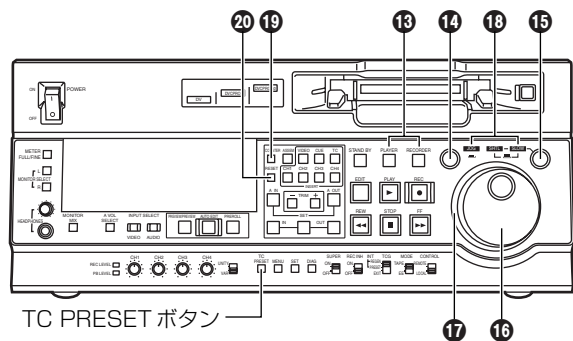
手動編集をするとき、再生中にこのボタンと PLAY ボタンを同時に押します。
再生、サーチ、早送り、巻き戻し中にこのボタンを押すと、押している間、ASSEM ボタンや INSERT ボタンで選んだモードの入力信号を、E-E モードでモニターすることができます。
ストップモード中にこのボタンを押すと、ASSEM ボタンや INSERT ボタンで選んだモードの入力信号を、E-E モードでモニターすることができます。
STOP ボタンを押すと、元の画像・音声に戻ります。

⑫ STAND BY ボタン SD955B

スタンバイ ON モードのときは、このボタンが点灯し、通常の STOP 時と同じテープテンションがかかり、ヘッドドラムが回転していることを示します。
スタンバイ OFF モードのときは、ハーフロード・モードになります。
ストップ・モード中にこのボタンを押すとスタンバイ OFF モードになります。このとき、ボタンは消灯します。
また、ストップ・モードが一定時間以上経過すると、テープ保護のために自動的にスタンバイ OFF モードになります。
スタンバイ OFF モードのときにこのボタンを押すか、または STOP ボタンを押すと、スタンバイ ON モードになります。
また、STOP ボタン以外のボタンを押すと、押したボタンのモードになります。スタンバイ OFF モードへの移行時間はセットアップメニュー No.400 (STILL TIMER) で設定できます。

各部の名称と機能

フロントパネル



13 PLAYER/RECORDER ボタン SD955B

本機と RS-422A シリアルインターフェースのリモコン端子 (9 ピン) を装備した VTR を使って編集するとき、本機をレコーダとして使う場合に操作します。本機を単体で使用するときはどちらのボタンも機能しません。

PLAYER :

押すとランプが点灯し、本機に接続したプレーヤーをリモートコントロールするようになります。本機の編集、テープ走行系のボタンはプレーヤーに対して働きます。

RECORDER :

押すとランプが点灯し、編集、テープ走行系のボタンはレコーダー (本機) に対して働くようになります。

また、セットアップメニュー No.200 (PARA RUN) で「ENA」を選択した状態で、PLAYER ボタンや RECORDER ボタンを押すことにより、両方のランプが点灯し、本機がパラレル ラン操作時のマスター機となります。

[ただし、本設定時には REMOTE 端子 (9 ピン) からの外部コントロールはできなくなります。]

14 サーチボタン

押すとサーチモードになります。サーチダイヤルをシャトルモードにして任意の位置に回しておき、このボタンを押すと、サーチダイヤルで設定した速度の再生が始まります。

15 SHTL/SLOW ボタン

サーチダイヤルを SHTL 用、もしくは SLOW 用として用いるときの選択ボタンです。

このボタンを押す毎に、サーチダイヤルが SHTL 用と SLOW 用交互に切り替わります。

16 サーチダイヤル

編集点を探すためのダイヤルです。

ダイヤルは、押すごとに SHTL/SLOW モードと JOG モードが交互に切り替わり、JOG/SHTL/SLOW ランプのいずれかが点灯します。

POWER ON 時は、一度ダイヤルが STILL の位置に戻らないと動作しません。

SHTL (シャトル) モード :

JOG/SHTL/SLOW ランプの SHTL が点灯しているときにダイヤルを回し、任意の位置で止めると、その回転角度位置に対応した速度で再生できます。中央位置で静止画になります。

SLOW (スロー) モード :

JOG/SHTL/SLOW ランプの SLOW が点灯しているときにダイヤルを左一杯に回すと、-4.1 倍速、中央位置で静止画、右一杯にまわすと +4.1 倍速になります。SLOW の速度はセットアップメニュー No.320 (VAR FWD MAX)、No.321 (VAR REVMAX) で選択できます。

JOG (ジョグ) モード :

ダイヤルにクリックがなくなり、ダイヤルの回転速度に応じ -1 ~ +1 の速度で再生します。最大速度は、セットアップメニュー No.323 (JOG FWD MAX) と No.324 (JOG REV MAX) で選択できます。

17 ダイヤルリング

サーチモードのときに点灯します。

セットアップメニュー No.117 (DIAL LAMP) の設定で点灯する条件を選択することができます。

18 JOG/SHTL/SLOW ランプ

サーチダイヤルのモードを表示します。

JOG : JOG モード時に点灯します。

SHTL : SHTL モード時に点灯します。

SLOW : SLOW モード時に点灯します。

19 COUNTER ボタン

このボタンを押す毎に、表示パネルのカウンター表示が CTL → TC → UB と変化します。

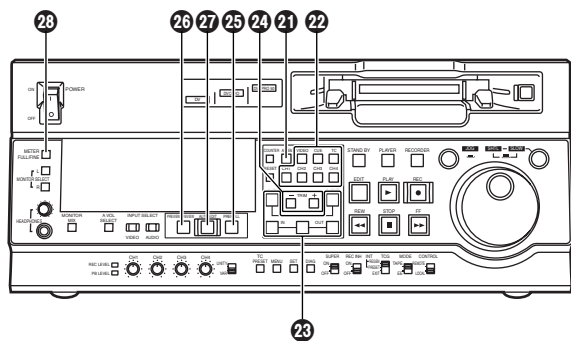
20 RESET ボタン

CTL モードのときは、このボタンを押すとカウンター表示が [00:00:00:00] になります。また、登録されている編集点も消去されます。

TC/UB モードのときは、TC PRESET ボタンを押しながらこのボタンを押すと、ジェネレーターをリセットします。

各部の名称と機能

フロントパネル



21 ASSEM ボタン SD955B

アセンブル編集をするときに押します。
このボタンは自照式で、一度押すと ON (点灯)、もう一度押すと OFF (消灯) になります。

22 INSERT ボタン SD955B

インサート編集をするときに、7つのボタンのうち希望のボタンを押して編集する入力信号を選択します。
このボタンは自照式で、一度押すと ON (点灯)、もう一度押すと OFF (消灯) になります。

23 IN (A IN)/SET/OUT (A OUT) ボタン SD955B

IN (A IN)/OUT (A OUT) ボタンを押しながら SET ボタンを押すと、IN (A IN)/OUT (A OUT) 点を登録します。
A IN/A OUT は、オーディオスプリット編集を行うときに、ビデオと異なるオーディオの IN/OUT 点を登録するために使用します。
IN (A IN)/OUT (A OUT) 点が登録されているときには、登録されている IN (A IN) ボタン、もしくは OUT (A OUT) ボタンが点灯します。
登録した後にこれらのボタンを押すと、IN (A IN)/OUT (A OUT) 点の値がカウンター表示部に表示されます。IN (A IN)/OUT (A OUT) ボタンと RESET ボタンを同時に押すと、IN (A IN)/OUT (A OUT) 点の登録が削除できます。

24 TRIM ボタン SD955B

IN (A IN)/OUT (A OUT) 点の微修正用のボタンです。
IN (A IN) ボタン、または OUT (A OUT) ボタンを押しながら、+ または - ボタンを押すと、登録した編集点を 1 フレーム単位で修正できます。+ ボタンを押すと 1 フレーム進み、- ボタンを押すと 1 フレーム戻ります。

25 PREROLL ボタン SD955B

送出や手動編集の頭出しに使用します。
押すとテープがプリロール点まで走行して止まります。
プリロール時間は、セットアップメニュー No.000 (P-ROLL TIME) で設定できます。
IN (A IN) または OUT (A OUT) ボタンを押しながらこのボタンを押すと、その登録点にキューアップすることができます。
IN 点が登録されていないときに押すと、押した点を IN 点として自動登録します。[ただし、セットアップメニュー No.313 (AUTO ENTRY) を ENA にした場合]

26 PREVIEW/REVIEW ボタン SD955B

PREVIEW :

編集点を登録した後にこのボタンを押すと、テープが走行し、編集は実行せずにプレビューができます。
IN 点が登録されていないときにこのボタンを押すと、押した点を IN 点として登録し、プレビューを実行します。

REVIEW :

1 区間の編集実行後にこのボタンを押すと、今編集した区間を再生し、レコーダー側のモニターで見ることができます。

27 AUTO EDIT ボタン SD955B

編集点を登録した後にこのボタンを押すと、自動編集を実行します。
IN 点が登録されていないときに押すと、押した点を IN 点として自動編集を実行します。

28 METER (FULL/FINE) 切り替えボタン

オーディオレベルメーターのスケール表示 (目盛り) を切り替えるボタンです。

FULL モード :

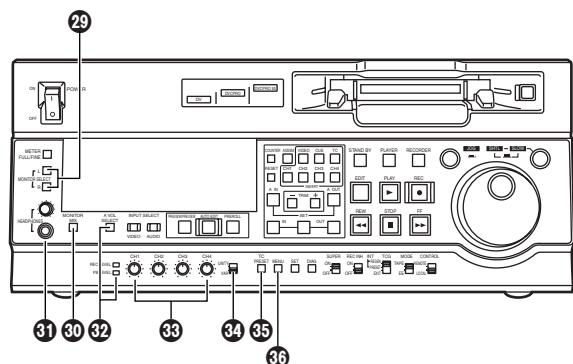
標準目盛りになります。($-\infty \sim 0$ dB の範囲)

FINE モード :

0.5 dB 毎のスケールになります。
■ の位置が基準レベルの -20 dB となり、● を 1 dB の目盛りとして表示されます。
(15 ページ参照)

各部の名称と機能

フロントパネル



29 MONITOR SELECT (L/R) ボタン

MONITOR L/R 端子に出力する音声信号を切り替えます。

L ボタンを押す毎に、MONITOR L 端子に出力する信号を CH1 → CH2 → CH3 → CH4 → CUE と切り替えます。

また、R ボタンを押す毎に、MONITOR R 端子に出力する信号を CH1 → CH2 → CH3 → CH4 → CUE と切り替えます。

現在、どの信号を選択しているかの表示は、レベルメーター表示部の L/R ランプの点灯で示しています。セットアップメニュー No.721 (MONI CH SEL) が AUTO のときは、モニター出力に合わせて表示が切り替わります。また、モニター出力を自動的に切り替えるチャンネルをセットアップメニュー No.735 (MON AUTO SEL) により選択できます。

30 MONITOR MIX ボタン

MONITOR L/R 端子に出力するミックス信号を切り替えます。

このボタンを押しながら MONITOR SELECT L ボタンを押す毎に、MONITOR L 端子に出力する信号を CH1 + CH2 → CH3 + CH4 → CH1 + CH3 → CH2 + CH4 → ミックス解除と切り替えます。

MONITOR R 端子に出力するミックス信号は、MONITOR SELECT R ボタンで同様に切り替えます。

31 ヘッドホンジャック/音量調整つまみ

ヘッドホンジャックにステレオヘッドホンを接続すると、記録/再生/編集中の音声を、ヘッドホンでモニターできます。

音量調整つまみで、ヘッドホン出力の音量とモニター出力の音量を調整することができます。

モニター出力の音量を、音量調整つまみに連動させるか連動させないかは、セットアップメニュー No.713 (MONI OUT) で選択することができます。(ヘッドホン出力の音量は、常に音量調整つまみの位置に連動します。)

連動させないとき、モニター出力の音量は、音量調整つまみの位置に関係なく固定されたレベルになります。

32 A VOL SELECT ボタン/ランプ (REC LEVEL/PB LEVEL)

オーディオレベルコントロールつまみ 33 の機能を、記録レベルの調整用と再生レベルの調整用に切り替えます。

このボタンを押す毎に (1 秒以上)、記録レベル用と再生レベル用交互に切り替わります。

記録レベルの調整に設定されているときは、REC LEVEL のランプが点灯します。

再生レベルの調整に設定されているときは、PB LEVEL のランプが点灯します。

33 オーディオレベルコントロールつまみ

PCM オーディオ信号 (CH1/CH2/CH3/CH4) の記録レベルと再生レベルを調整するつまみです。A VOL SELECT ボタン 32 で記録レベルの調整と再生レベルの調整を切り替えます。

34 オーディオレベルコントロール切り替えスイッチ UNITY :

オーディオコントロールつまみ 33 の位置に関係なく、固定されたレベルでオーディオ信号を記録・再生します。

VAR :

オーディオコントロールつまみ 33 で調整されたレベルでオーディオ信号を記録・再生します。

<ノート>

記録レベルと再生レベルの両方を可変モードにすることはできません。

REC LEVEL 選択時は、再生レベルが UNITY (固定レベル) になり、PB LEVEL 選択時は、記録レベルが UNITY になります。

35 TC PRESET ボタン

TC/UB の値を設定するときに使用します。

TC や UB の値を設定するときに、まずこのボタンを押してデータの歩進を止めます。表示が点滅している桁を変更します。

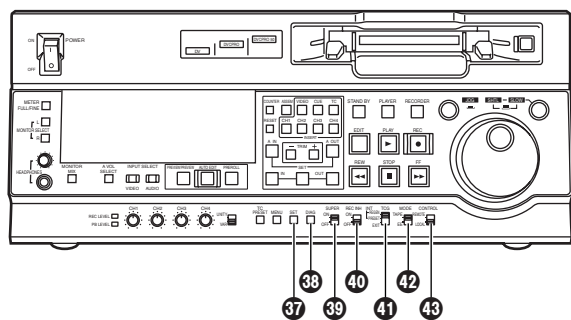
36 MENU ボタン

このボタンを押すと、モニターテレビにはセットアップメニューを表示 (ただし、VIDEO OUT 3 端子または SDI OUT 3 端子を使用しているとき) し、本機の表示パネルにはセットアップメニュー番号を表示します。

再度押すと、セットアップメニューの設定から抜けだし、もとに戻ります。

各部の名称と機能

フロントパネル



③7 SET ボタン

このボタンを押すと、セットアップメニューで設定したデータを確定します。
データ確定後は、セットアップメニューの設定から抜けだし、もとに戻ります。
内部タイムコードを設定しているときは、設定したデータを確定します。

③8 DIAG ボタン

このボタンを押すと VTR の情報を表示します。
再度ボタンを押すと、もとの表示に戻ります。
VTR の情報には、「WARNING」「HOURS METER」「UMID」の情報がありません。
これらの情報の表示切り替えは、サーチボタンを押すことによって行います。
「WARNING」画面では、ワーニングの内容を表示します。
「HOURS METER」画面では、デッキのシリアル No.、通電時間、ドラムの回転時間、テープ走行時間、ローディング回数・電源の入切回数等を表示します。
「UMID INFO」画面では、UMID (Unique Material Identifier) の情報を表示します。

③9 SUPER スイッチ

ON :
VIDEO OUT 3 端子または、SDI OUT 3 端子にタイムコード等のスーパーを出力します。
OFF :
スーパーを出力しません。

④0 REC INH スイッチ

カセットテープへの記録の禁止/許可を選択します。
ON :
カセットテープへの記録を禁止します。
このとき、表示パネルの REC INH ランプが点灯します。
OFF :
カセットテープの誤消去防止機構が記録可能のときに、カセットテープへの記録が可能です。

④1 TCG スイッチ

REGEN :
タイムコードリーダーがテープから読んだタイムコードに内蔵タイムコードジェネレーターが同期します。
リジエネを行う信号は、セットアップメニュー No.503 (TCG REGEN) で選択します。

PRESET :

操作パネルまたは、リモートコントロールでプリセットが可能になります。

EXT :

タイムコード入力端子もしくは、映像信号の VITC から入力する外部タイムコードを使用します。選択はセットアップメニュー No.505 (EXT TC SEL) で設定します。

④2 MODE スイッチ

< STOP 時 >

TAPE :
テープから再生される信号を出力します。

EE :

INPUT SELECT ボタンで選択された入力信号を出力します。

< 記録/編集時 >

TAPE :
同時再生信号を出力します。
[セットアップメニュー No.310 (CONFI EDIT) の設定が必要です。]

EE :

INPUT SELECT ボタンで選択された入力信号を出力します。

④3 CONTROL スイッチ

REMOTE、RS-232C、PARALLEL の各端子を使って、外部から本機をコントロールするときに切り替えます。

REMOTE :

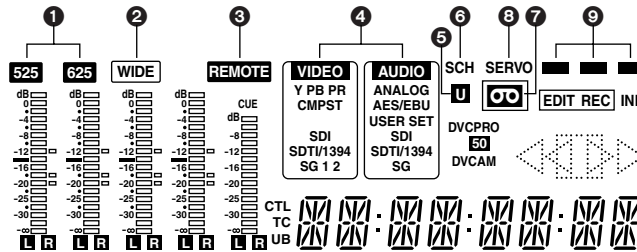
9 ピンの REMOTE、RS-232C、PARALLEL の各端子を使って接続した機器で本機をコントロールするとき、この位置にします。

LOCAL :

本機の操作パネルで本機をコントロールするときこの位置にします。
この位置において PARALLEL 端子を使って接続した機器で本機をコントロールするときは、セットアップメニュー No.211 (LOCAL 25P) により選択できます。

各部の名称と機能

表示パネル



1 TV システム表示部

選択されたTVシステムが表示されます。
AJ-SD955Bでは、セットアップメニューNo. 070 (TV SYSTEM) で525インターレースと625インターレースを切り替えることができます。AJ-SD930Bは、525インターレースのTVシステム専用です。

525 : 525インターレースのTVシステムが選択されると点灯します。

625 : 625インターレースのTVシステムが選択されると点灯します。 **SD955B**

2 WIDE ランプ

16 : 9のワイド画面情報をテープに記録するときに点灯します。

セットアップメニューNo. 645 (WIDE SELECT) で、ワイド画面情報の記録を選択することができます。

テープ再生時は、テープ上にワイド画面情報が記録されているときに点灯します。

3 REMOTE ランプ

CONTROL スイッチを、REMOTE にしたときに点灯します。

4 INPUT SELECT 表示部

選択された入力信号に対応する文字部が点灯します。アナログオーディオを除き、選択された入力信号がない場合は、点滅してお知らせします。

VIDEO

Y PB PR : アナログ・コンポーネント・ビデオ信号 (オプション)

CMPST : アナログ・コンポジット・ビデオ信号 (オプション)

SDI : シリアル・デジタル・ビデオ信号

SDTI/1394 : 圧縮デジタル信号 (オプション)

SG/SG 1/SG 2 : 内部基準信号

AUDIO

ANALOG : アナログ・オーディオ信号

AES/EBU : デジタル・オーディオ信号

USER SET : 記録オーディオ信号の選択

SDI : シリアル・デジタル・オーディオ信号

SDTI/1394 : 圧縮デジタル信号 (オプション)

SG : 内部基準信号

5 U ランプ

EE モードのときは、入力信号にUMID情報が存在しているときに点灯します。

テープ再生時は、テープ上にUMID情報が記録されているときに点灯します。

6 SCH ランプ

外部同期信号 (REF VIDEO) のSCH位相が、一定の範囲内にあるときに点灯します。

それ以外の場合は消灯します。

7 罫 ランプ

本機にカセットテープが挿入されているときに、このランプが点灯します。

スタンバイ OFF モードのときは、点滅します。

8 SERVO ランプ

ドラムサーボやキャプスタンサーボがロックすると点灯します。

9 チャンネルコンディションランプ

エラーレートの状態に応じて点灯します。

(緑 → 白 → 赤)

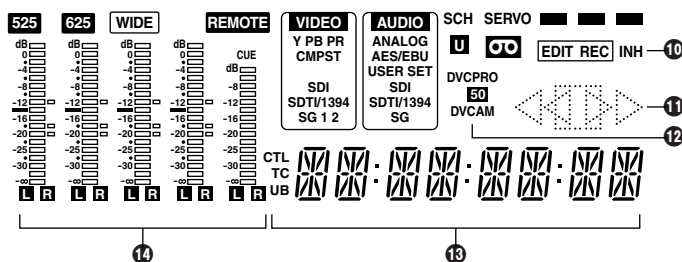
緑 : ビデオ/オーディオの再生信号のエラーレートが、共に良好なときに点灯します。

白 : ビデオ/オーディオの再生信号のいずれかのエラーレートが悪化したときに点灯します。このランプが点灯しても、再生画と音声は正常です。

赤 : ビデオ/オーディオのいずれかの再生信号が悪化し、修整/補間がかかったときに点灯します。

各部の名称と機能

表示パネル



⑩ EDIT/EDIT REC/REC/REC INH ランプ

EDIT :

編集モードが選択されているときに点灯します。

EDIT REC :

編集記録状態のときに点灯します。

REC :

記録状態のときに点灯します。

REC INH :

記録禁止状態（フロント下部のREC INHスイッチが「ON」か、カセットが誤消去防止状態）のときに点灯します。

このときには、記録および編集はできません。

カセットテープでの誤消去防止用ツメで記録禁止になっているときにREC INH ランプを点灯または点滅させるかをセットアップメニュー No.114 (REC INH LAMP) により選択できます。

⑪ テープ走行表示

テープの走行状態を表示します。

- ▷ : 通常再生と記録
- ▢▷ : 1 倍速より遅い速度の再生
- ▢▷▷ : 1 倍速より速い速度の再生
- ▷▷ : FF
- ◁ : 1 倍速の逆再生
- ◁▢ : 1 倍速より遅い速度の逆再生
- ◁▢▷ : 1 倍速より速い速度の逆再生
- ◁◁ : REW
- ▢▢ : PAUSE/STILL

⑫ フォーマット表示

記録フォーマットや挿入されているテープのフォーマットが表示されます。

⑬ カウンター表示

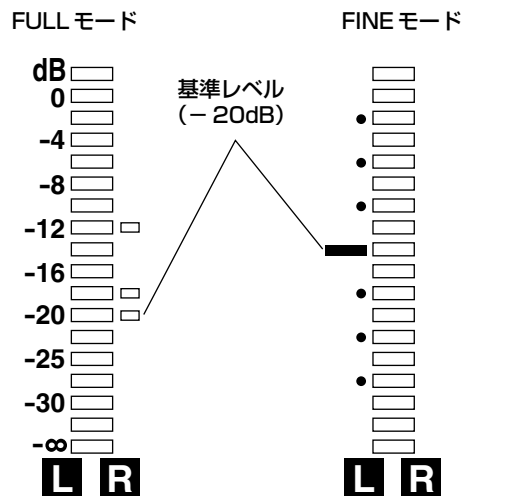
テープカウンターやタイムコード等を表示します。表示している値の種類は、CTL/TC/UB で表示します。

⑭ レベルメーター

PCM オーディオ信号のCH1/CH2/CH3/CH4と、CUEトラック信号の各レベルを表示します。

オーディオ信号は、記録時および E-E 選択時には入力信号のレベルを表示し、再生時には出力信号の各レベルを表示します。

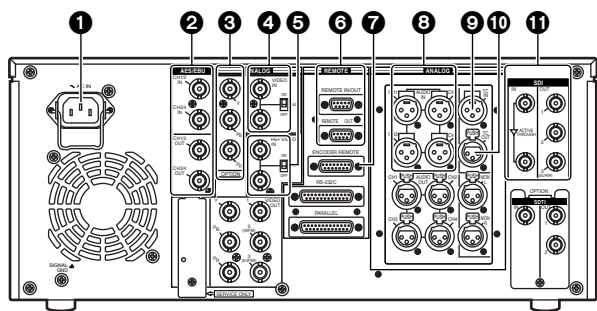
オーディオレベル表示は、METER 切り替えボタン ⑭ で FULL モードと FINE モードに切り替わります。(11 ページ参照)



● を 1dB の目盛りとして表示します。

各部の名称と機能

リアパネル



① AC IN コネクター

付属の電源コードを使って、電源コンセントに接続します。

② DIGITAL AUDIO IN/OUT 端子

AES/EBU 規格に準拠した、デジタル・オーディオ信号の入出力端子です。

<ノート>

入力するデジタル・オーディオ信号は、ビデオ入力信号に同期している必要があります。同期していない場合、オーディオ出力信号にノイズが発生します。

③ ANALOG COMPONENT VIDEO IN 端子 (オプション)

アナログ・コンポーネント・ビデオ信号を入力します。

④ ANALOG COMPOSITE VIDEO IN 端子と 75 Ω 終端スイッチ (オプション)

アナログ・コンポジット・ビデオ信号を入力します。
2つの入力端子は、ループスルーでつながっています。
本機で終端する場合には、スイッチを「ON」にします。

⑤ REF VIDEO IN 端子と 75 Ω 終端スイッチ

リファレンス・ビデオ信号の入力端子です。
カラーバースト付きの信号を入力してください。
本機で終端する場合には、スイッチを「ON」にします。

<ノート>

リファレンス・ビデオ信号を入力しない場合、映像や音声の出力信号が乱れることがありますので、リファレンス・ビデオ信号を入力するシステムで使用されることをお勧めします。

⑥ リモートコントロール端子

本機を2台使って、あるいは本機と外部コントローラとを接続して、外部から本機を操作することができます。

リモートコントロール端子は、IN/OUT 用と OUT 用との2つがあります。

IN/OUT :

外部コントローラと接続
デッキ対デッキ操作時に接続

OUT :

パラレル ランの操作時に接続
ループスルーとして使用

<ノート>

本機をレコーダーとしてデッキ対デッキ操作を行うときに、OUT 端子に接続する場合は、セットアップメニュー No.212 (MASTER PORT) により選択ができます。

⑦ ENCODER REMOTE 端子

ビデオ出力信号の各設定を外部から調整するとき、外部のエンコーダリモートコントローラを接続します。

⑧ ANALOG AUDIO IN 端子

アナログオーディオの入力端子です。

⑨ TIME CODE IN 端子

外部タイムコードを、テープ上に記録するための端子です。

⑩ TIME CODE OUT 端子

再生時は再生タイムコードを出力します。
記録時は、内蔵タイムコード・ジェネレーターの発生するタイムコードを出力します。

⑪ SERIAL DIGITAL COMPONENT AUDIO VIDEO IN/OUT 端子

SMPTE259M-C 規格に準拠した、デジタル・コンポーネント・オーディオ/ビデオ信号の入出力端子です。

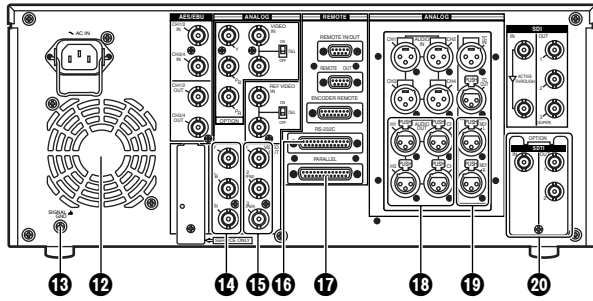
SDI OUT 3の端子は、スーパーを重畳したビデオ信号の出力ができます。スーパーのON/OFFは、フロントパネルのSUPERスイッチ ⑳ で選択します。

<ノート>

入力するデジタル・オーディオ信号は、ビデオ入力信号に同期している必要があります。同期していない場合、オーディオ出力信号にノイズが発生します。

各部の名称と機能

リアパネル



12 ファン

本機の冷却用のファンです。
ファンがなんらかの異常で停止したときには、カウンタ表示部に“E-10”が表示されます。

13 SIGNAL GND 端子

ノイズ軽減のため、接続機器の信号アース端子と接続します。安全アースではありません。

14 ANALOG COMPONENT VIDEO OUT 端子

アナログ・コンポーネント・ビデオ信号を出力します。

15 ANALOG COMPOSITE VIDEO OUT 端子

アナログ・コンポジット・ビデオ信号を出力します。
VIDEO OUT 2の端子からは、WFM (Waveform Monitor) 信号の出力ができます。
WFM 信号は、セットアップメニュー No. 00 (WFM SEL) で選択します。
VIDEO OUT 3の端子からは、スーパーを重畳したビデオ信号の出力ができます。
スーパーの ON/OFF は、フロントパネルの SUPER スイッチ 39 で選択します。

16 RS-232C 端子

パーソナルコンピュータ等を接続して、本機を操作することができます。

17 PARALLEL REMOTE 端子

本機を外部から操作するときに使用します。

18 ANALOG AUDIO OUT 端子

アナログ・オーディオ信号を出力します。

19 MONITOR OUT 端子

再生時には、PCM オーディオ信号 (CH1/CH2/CH3/CH4)、もしくは、CUEトラックからの再生信号を出力します。

<ノート>

記録を開始した瞬間の CUE 信号には、ノイズが発生する場合があります。

20 SDTI 入出力端子 (オプション)

SDTI ボード (オプション: AJ-YAC930G) を本機に搭載すると、SDTI フォーマット (Serial Data Transport Interface) を用いたデジタルデータの入出力が可能になります。

IEEE1394 デジタル入出力端子 (オプション)

デジタルビデオインターフェースボード (オプション: AJ-YAD955G) を使用しますと、IEEE1394 インターフェースでの入出力が行えます。

接 続

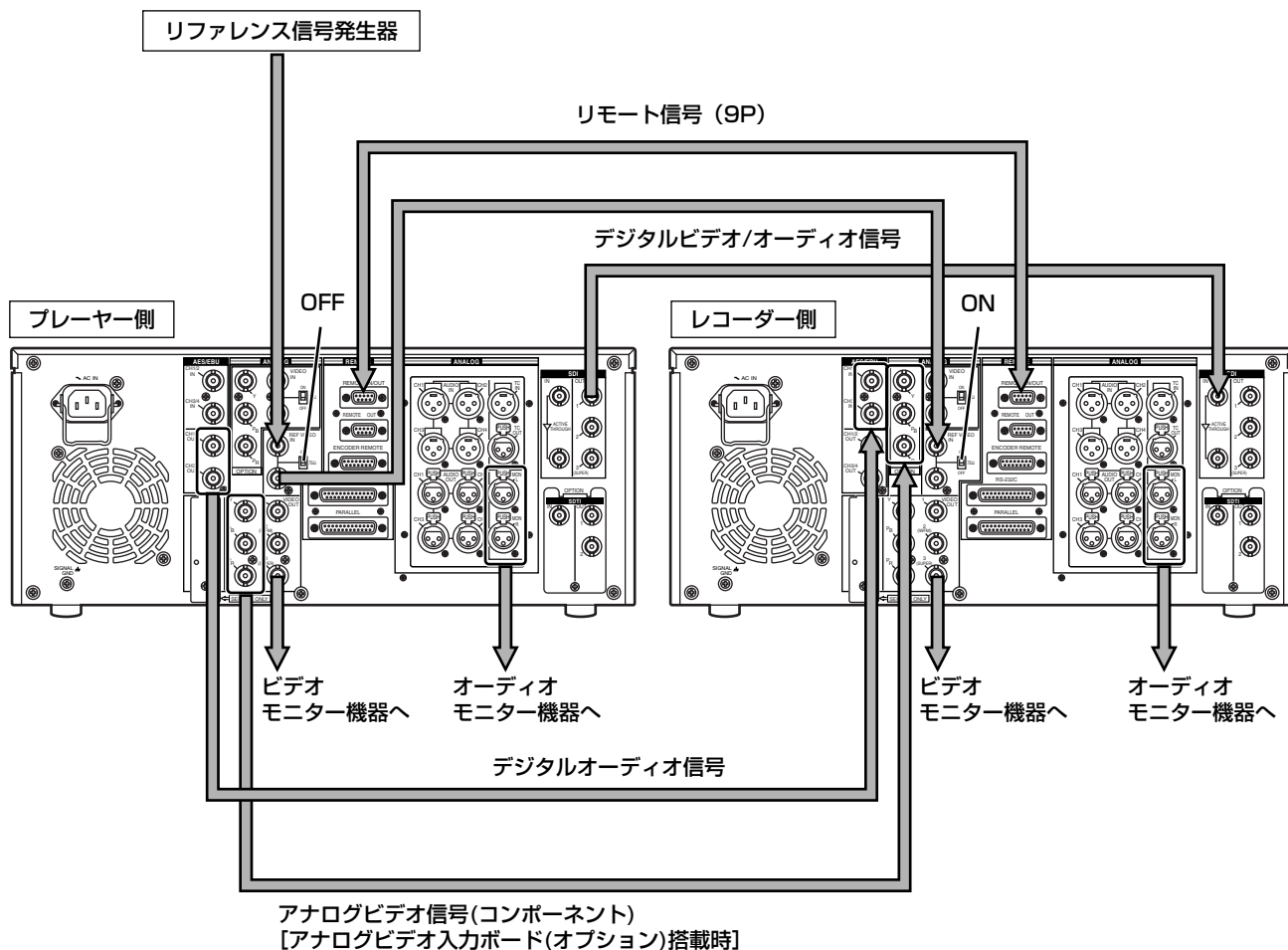
2台での接続例 (デッキ対デッキ)

プレーヤー側：

フロントパネルのCONTROLスイッチを「REMOTE」にします。

レコーダー側：

フロントパネルのCONTROLスイッチを「LOCAL」にします。

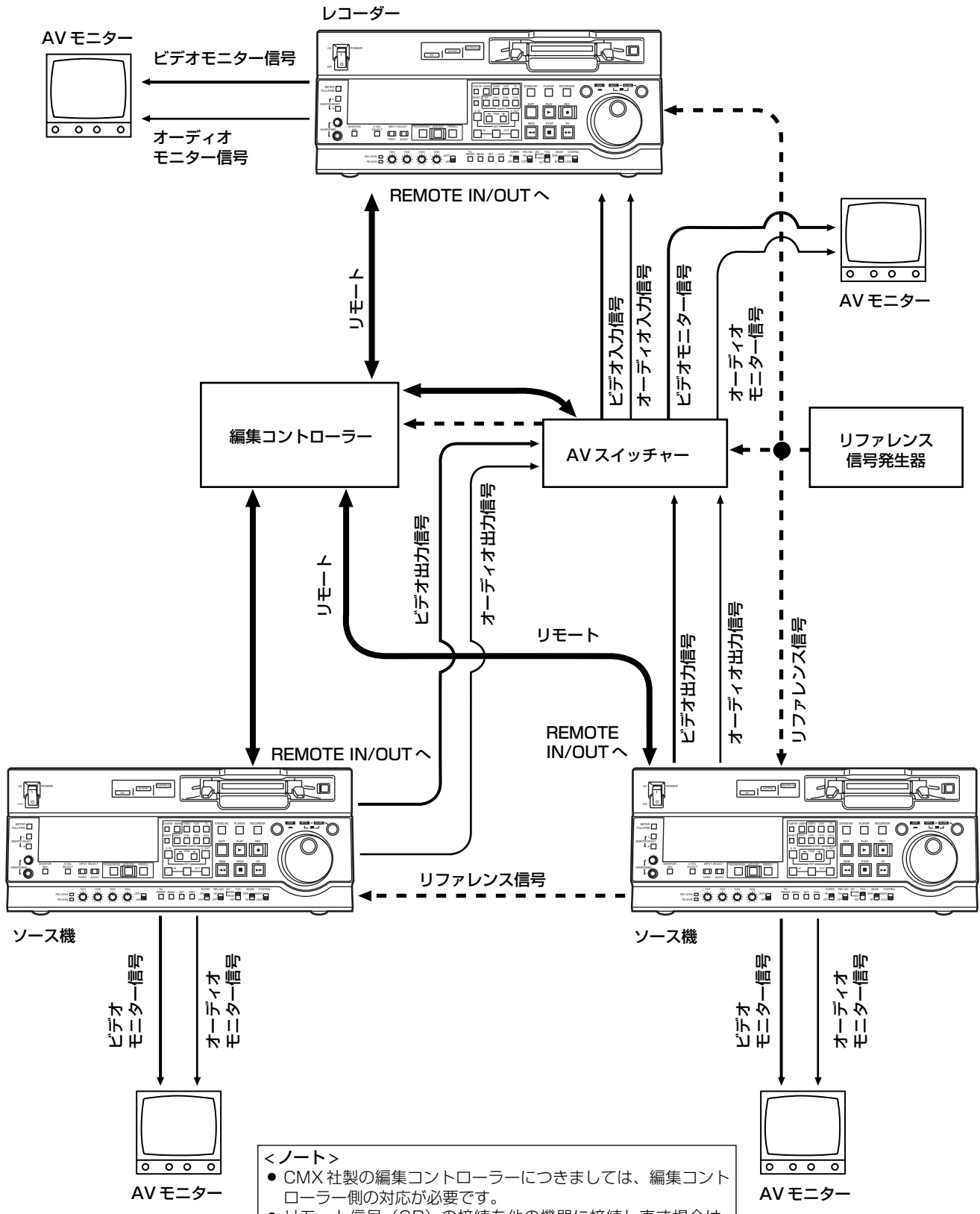


<ノート>

リファレンス・ビデオ信号を入力しない場合、映像や音声の出力信号が乱れることがありますので、リファレンス・ビデオ信号を入力するシステムで使用されることをお勧めします。

接 続

編集コントローラとの接続例



<ノート>

- CMX社製の編集コントローラにつきましては、編集コントローラ側の対応が必要です。
- リモート信号(9P)の接続を他の機器に接続し直す場合は、編集コントローラの設定等を再確認してください。
- リファレンス・ビデオ信号を入力しない場合、映像や音声の出力信号が乱れることがありますので、リファレンス・ビデオ信号を入力するシステムで使用されることをお勧めします。

ジョグ/シャトル

ジョグモード

- 1 サーチダイヤルを押して、ダイヤルを押し込みます。
JOGランプが点灯していることを確認します。
- 2 サーチダイヤルを回します。
ダイヤルにクリック感がなくなり、ダイヤルの回転速度に応じたテープスピード（-1～+1倍速）で再生します。
セットアップメニュー No.323（JOG FWD MAX）、No.324（JOG REV MAX）の設定により最大速度を切り替えることができます。
ただし、-0.43～+0.43倍速以外はノイズが出ます。
ダイヤルの回転を止めると、静止画になります。
- 3 ジョグモードから他のモードに移行するときは、移行するモードのボタンを押します。

<ノート>

工場出荷時には、サーチダイヤルを回すと、シャトルモードまたは、ジョグモードに移行するダイレクトサーチモードに設定されています。
セットアップメニュー No.100（SEARCH ENA）の設定を「KEY」にすることで、サーチボタンを押さないとサーチモードに移行しないように設定することができます。

シャトルモード

- 1 サーチダイヤルを押して、押し込まれたダイヤルをもとに戻します。
SHTLランプが点灯し、シャトルモードになります。
 - 電源を入れた直後は、サーチダイヤルを回して、センターの位置にしてください。
- 2 SHTL/SLOW ボタンを押して「SHTL」または、「SLOW」に切り替えます。
- 3 サーチダイヤルを回します。
 - JOG/SHTL/SLOWランプの「SHTL」が点灯しているとき、ダイヤルの位置に応じて、再生画のスピードが0～±32倍速まで変化します。
セットアップメニュー No.101（SHTL MAX）で±8.4、±16、±32倍速に切り替え可能です。
ダイヤルはセンター位置でクリックし、静止画になります。
 - JOG/SHTL/SLOWランプの「SLOW」が点灯しているとき、ダイヤルの位置に応じて、再生画のスピードが-4.1～+4.1倍速まで変化します。
セットアップメニュー No.320（VAR FWD MAX）、No.321（VAR REV MAX）の設定により最大速度を切り替えることができます。ただし、-0.43～+0.43/+0.5/+0.75倍速以外はノイズが出ます。
ダイヤルはセンター位置でクリックし、静止画になります。
- 4 シャトルモードから他のモードに移行するときは、STOP ボタンまたは、他のボタンを押します。

<ノート>

- オーディオモニター出力からは、-10～+10倍速の範囲でオーディオの再生音を聞くことができます。[セットアップメニュー No.721（MONI CH SEL）でPCMを選択することが必要です。]
- サーチモードでのオーディオの再生音にはノイズが含まれます。

手動編集 **SD955B**

- 1 編集モードを選択します。
ASSEMBLE :
アセンブル（つなぎとり）編集を行います。
INSERT :
インサート（挿入）編集を行います。
- 2 編集チャンネルを選択します。
インサート編集の場合は、編集を希望するチャンネルボタンを押してランプを点灯させます。
- 3 PLAY ボタンを押します。
- 4 モニターテレビを見ながら、編集を希望する位置（IN 点）を探し、IN 点で、PLAY と EDIT ボタンを同時に押します。
- 5 モニターテレビを見ながら、編集を終了する位置（OUT 点）で STOP または PLAY ボタンを押します。STOP モードまたは PLAY モードになり編集が終了します。

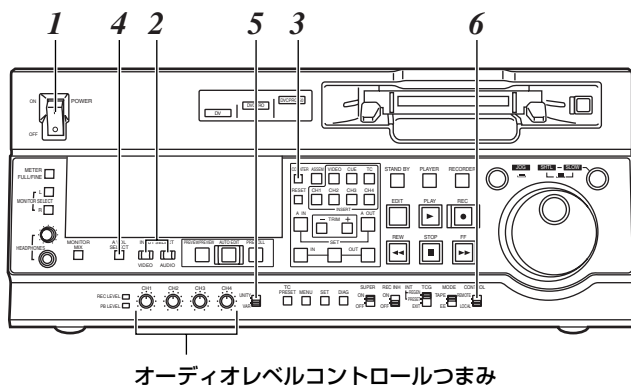
プリロール **SD955B**

- 1 PREROLL ボタンを押します。
VTR はプリロール動作を行います。
 - 編集 IN 点が登録されている場合は、セットアップメニュー No.000（P-ROLL TIME）で設定された時間だけ編集 IN 点から巻戻されて止まります。
 - 編集 IN 点が登録されていない場合は、ボタンを押した位置からセットアップメニュー No.000（P-ROLL TIME）で設定された時間だけ巻戻されて止まります。
- <ノート>
- 編集 IN 点とプリロール点の間にはタイムコードまたは CTL が連続して記録されてる必要があります。
 - セットアップメニュー No.313（AUTO ENTRY）により、IN 点が登録されていないときに IN 点を登録してプリロールするか、登録しないでプリロールするかを選択できます。

スイッチの設定と調整

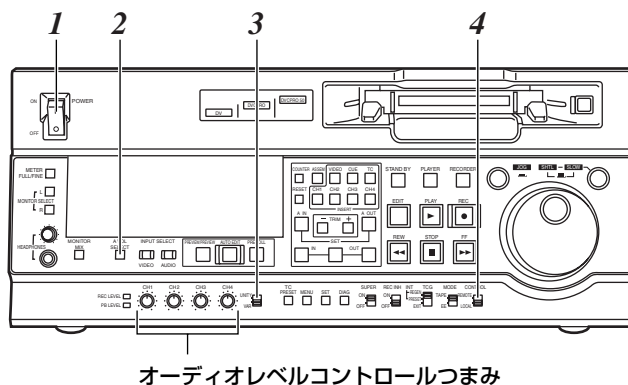
AJ-SD955B をレコーダーとして使用する場合

- 1 POWER スイッチを「ON」にします。
- 2 INPUT SELECT ボタンで、ビデオとオーディオの入力信号を選びます。
- 3 タイムカウンター表示を「TC」、「CTL」または「UB」に切り替えます。
- 4 A VOL SELECT ボタンでオーディオレベルコントロールつまみの機能を、記録レベルの調整用に切り替えます。(12 ページ参照)
- 5 記録レベルをつまみで調整する場合は、オーディオコントロール切り替えスイッチを「VAR」の位置にします。
記録レベルを固定にする場合は、「UNITY」の位置にします。
- 6 CONTROL スイッチを「LOCAL」にします。



AJ-SD955B をプレーヤーとして使用する場合

- 1 POWER スイッチを「ON」にします。
- 2 A VOL SELECT ボタンでオーディオレベルコントロールつまみの機能を、再生レベルの調整用に切り替えます。(12 ページ参照)
- 3 再生レベルをつまみで調整する場合は、オーディオコントロール切り替えスイッチを「VAR」の位置にします。
再生レベルを固定にする場合は、「UNITY」の位置にします。
- 4 CONTROL スイッチを「REMOTE」にします。



編集モードの選択

- 1 編集モードを選択します。
アSEMBル編集の場合は、ASSEM ボタンを押します。
インサート編集の場合は、INSERT ボタンを押します。

ASSEM :

アSEMBル (つなぎとり) 編集モードになります。

INSERT :

インサート (挿入) 編集モードになります。

- 2 編集チャンネルを選択します。
アSEMBル編集の場合は、ASSEM ランプが点灯します。
インサート編集の場合は、編集するチャンネルのボタンを押して点灯させます。

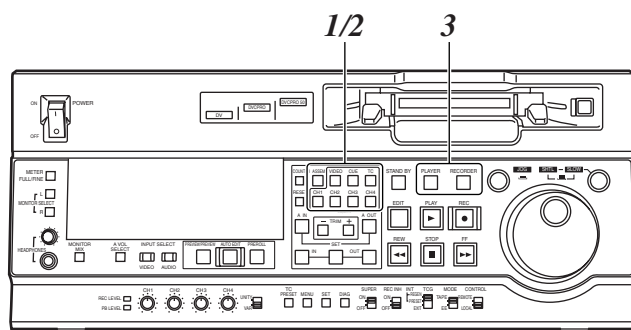
- 3 操作する VTR の選択
(VTR2 台での編集時の設定)
PLAYER または RECORDER ボタンを押して、操作を行う VTR を選択します。

PLAYER :

プレーヤー側の VTR を操作して、編集点を登録する場合に押します。

RECORDER :

レコーダー側の VTR (本機) を操作して、編集点を登録する場合に押します。

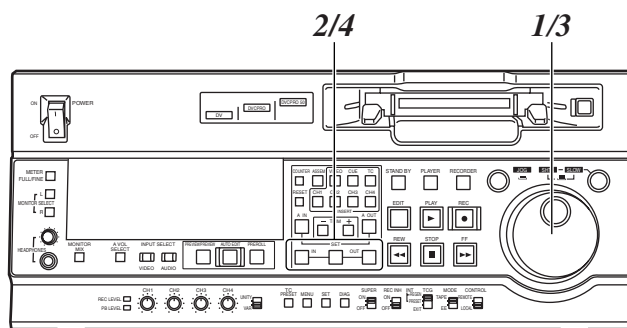


編集点の登録

- 1 ジョグ・シャトル操作で編集 IN 点を探します。
希望の位置で静止画にします。
ジョグ・シャトル操作の詳しい説明は、21 ページを参照してください。
- 2 IN ボタンを押しながら SET ボタンを押します。
編集 IN 点が登録されます。
編集 IN 点の値が表示パネルに表示されます。
- 3 ジョグ・シャトル操作で編集 OUT 点を探します。
希望の位置で静止画にします。
- 4 OUT ボタンを押しながら SET ボタンを押します。
編集 OUT 点が登録されます。
編集 OUT 点の値が表示パネルに表示されます。

マッチフレーム処理機能について

VTR2 台での編集操作の場合、編集点はプレーヤー側に IN/OUT 点、レコーダー側に IN/OUT 点の合計 4 つの編集点があります。しかし、最後の一つは、自動的に計算されますので、編集点の登録はその内の 3 つだけ可能です。



編集点の確認とプレビュー

1 IN (または OUT) ボタンを押して、編集点を確認します。登録されている編集点の値が表示パネルに表示されます。

2 IN (または OUT) ボタンを押しながら、PREROLL ボタンを押し、編集点の画像を確認します。

編集 IN (または OUT) 点にテープがキューアップされて、静止画になります。

- セットアップメニュー No.315 (AFTER CUE-UP) が「STOP」に設定されている場合や、MODE スイッチが「EE」のときは E-E モードになります。

3 IN と OUT ボタンを同時に押したままにし、編集区間 (デュレーションタイム) を確認します。デュレーションタイムが表示パネルに表示されます。

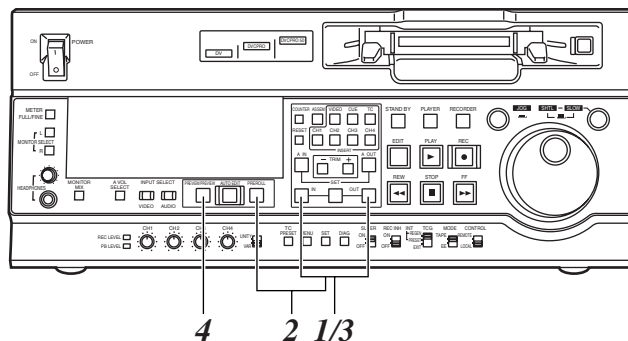
デュレーションの計算のしかた

- 編集点が 2 点とも設定されている場合
2 点間のデュレーション
- 編集点が 1 点だけ設定されている場合
設定されているデータとテープの現在アドレス間のデュレーション
- 編集点が設定されていない場合
前回編集した区間のデュレーション

4 編集点登録後に、PREVIEW ボタンを押します。通常のプレビューが実行されます。

<ノート>

- 編集 IN 点が登録されていない場合は、PREVIEW ボタンが押された位置を編集 IN 点として登録します。
- プレビューを中止する場合は、STOP ボタンを押します。
- プレビュー実行中に IN 点以降で再度 PREVIEW ボタンを押すと、最初からプレビューが開始されます。
- 編集 OUT 点になると、自動的に止まります。



編集点の訂正

1 編集点の再登録

ジョグ・シャトル操作で新しい編集点を探し、IN (または OUT) ボタンと SET ボタンを同時に押して再登録します。

2 フレーム単位での編集点の訂正 (トリム機能)

IN (または OUT) ボタンを押しながら TRIM ボタンを押します。

+ ボタンを一回押す毎に、1 フレーム進みます。

- ボタンを一回押す毎に、1 フレーム戻ります。

3 編集点のリセット

● 編集 IN と OUT 点両方のリセット

RESET ボタンを押します。

(CTL モード時のみに有効です。)

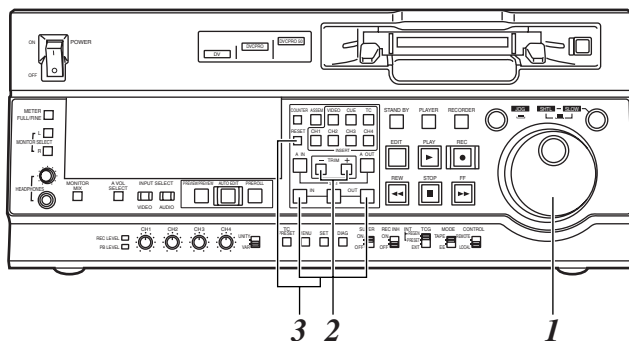
● 編集 IN または OUT 点のどちらか片方のリセット

IN (または OUT) ボタンを押しながら RESET ボタンを押します。

< ノート >

● 編集実行中でも編集 OUT 点のリセットは可能です。

● EJECT モード時は、IN および OUT 点は自動的にリセットされます。



自動編集の実行とレビュー

1 AUTO EDIT ボタンを押します。

自動編集が実行されます。

- 編集を中止する場合は、STOP ボタンを押します。
- 編集 OUT 点になると、ポストロール後、止まります。

ポストロールについて

アSEMBル編集の場合、編集 OUT 点通過後約 2 秒間編集を続け、OUT 点に戻って止まります。

インサート編集の場合、編集 OUT 点通過後 PLAY モードになり、OUT 点に戻って止まります。ポストロール時間は、セットアップメニュー No.325 (POSTROLL TM) で設定できます。

リトライ機能

STOP ボタンを押して編集を中止しても、そのまま再度 AUTO EDIT ボタンを押すと、最初から編集を行います。

オートタグ編集 (レコーダー側)

編集終了後、次の編集点登録をまだ行っていない場合、AUTO EDIT ボタンを押すと、前回の編集 OUT 点を IN 点として登録し、編集を行います。オートタグモードを解除する場合は、走行系ボタン (PLAY ボタンなど) を押します。

編集実行中の OUT 点登録

自動編集の実行中 (IN 点通過後) に OUT ボタンを押しながら SET ボタンを押すと、押した位置が OUT 点として登録され編集を終了します。

AUTO EDIT ボタンを押しても、同様に OUT 点が登録され、編集を終了します。

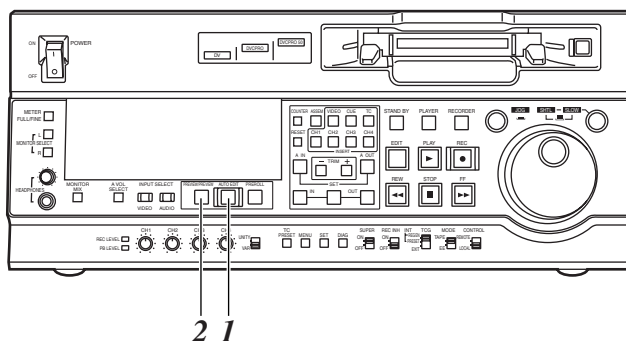
<ノート>

編集実行後、登録点は自動的にクリアされますが、TRIM + (または TRIM -) ボタンと SET ボタンを同時に押すと、前回の編集点をリコールすることができます。

2 編集終了後に、REVIEW ボタンを押します。

レコーダー側でレビューが開始されます。

- 途中でレビューをやめる場合は、STOP ボタンを押します。
- 編集 OUT 点になると、ポストロール後、止まります。



ビデオの編集点とオーディオの編集点を独立に登録し、編集点をずらして編集することができます。オーディオ編集点の登録はアセンブル編集モードが選択されているときはできません。編集点を登録した後は、インサート編集と同じ操作を行います。

■ 編集点の登録

ビデオ IN 点：

IN ボタンを押しながら SET ボタンを押します。

ビデオ OUT 点：

OUT ボタンを押しながら SET ボタンを押します。

オーディオ IN 点：

A-IN ボタンを押しながら SET ボタンを押します。

オーディオ OUT 点：

A-OUT ボタンを押しながら SET ボタンを押します。

■ 編集点の削除

ビデオ IN 点：

IN ボタンを押しながら RESET ボタンを押します。

ビデオ OUT 点：

OUT ボタンを押しながら RESET ボタンを押します。

オーディオ IN 点：

A-IN ボタンを押しながら RESET ボタンを押します。

オーディオ OUT 点：

A-OUT ボタンを押しながら RESET ボタンを押します。

■ 編集点の訂正

ビデオ IN 点：

IN ボタンを押しながら TRIM+ ボタンまたは、TRIM- ボタンを押します。

ビデオ OUT 点：

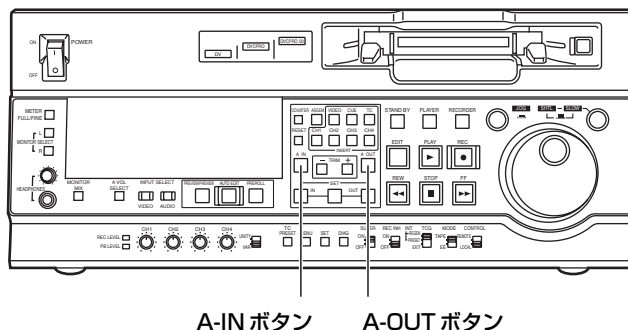
OUT ボタンを押しながら TRIM+ または、TRIM- ボタンを押します。

オーディオ IN 点：

A-IN ボタンを押しながら TRIM+ ボタンまたは、TRIM- ボタンを押します。

オーディオ OUT 点：

A-OUT ボタンを押しながら TRIM+ ボタンまたは、TRIM- ボタンを押します。



■ オーディオスプリット編集点の表示

編集点は、表示パネルに表示されます。

ビデオ IN 点：

IN ボタンを押します。

ビデオ OUT 点：

OUT ボタンを押します。

オーディオ IN 点：

A-IN ボタンを押します。

オーディオ OUT 点：

A-OUT ボタンを押します。

<ノート>

オーディオ編集点の登録後、編集モードをアセンブル編集に切り替えると、オーディオ編集点は削除されます。

■ 編集点へのキューアップ

ビデオ IN 点へのキューアップ：

IN ボタンを押しながら PREROLL ボタンを押します。

ビデオ OUT 点へのキューアップ：

OUT ボタンを押しながら PREROLL ボタンを押します。

オーディオ IN 点へのキューアップ：

A-IN ボタンを押しながら PREROLL ボタンを押します。

オーディオ OUT 点へのキューアップ：

A-OUT ボタンを押しながら PREROLL ボタンを押します。

■ デュレーションの表示

デュレーションは表示パネルのみに表示することができます。

ビデオ IN 点/OUT 点間：

IN ボタンと OUT ボタンを同時に押します。

オーディオ IN 点/OUT 点間：

A-IN ボタンと A-OUT ボタンを同時に押します。

マッチフレーム処理機構について

VTR2 台でオーディオスプリット編集操作を行う場合、ビデオの編集点としてプレーヤー側に IN/OUT 点、レコーダー側に IN/OUT 点と、オーディオの編集点としてプレーヤー側にオーディオ IN/OUT 点、レコーダー側にオーディオ IN/OUT 点の合計 8 つの編集点があります。

8 点のうち 5 点の編集点を登録すると、残りの 3 点は自動的に計算されますので、編集点の登録は 5 点まで可能となります。

■ スプリット編集機能のない VTR をプレーヤーにするとき

ビデオとオーディオの編集点を、独立して設定することができない VTR をプレーヤーとして使用するとき、オーディオの IN 点と OUT 点をレコーダー側に設定し、ビデオの編集点として 3 点のデータを設定すると、スプリット編集が可能となります。

<ノート>

オーディオスプリット編集時、オーディオ OUT 点（またはビデオ OUT 点）を登録せずに、ビデオ OUT 点（またはオーディオ OUT 点）のみ登録し、自動編集を実行すると、オーディオ OUT 点（またはビデオ OUT 点）が登録されるか、STOP ボタンを押して操作を中断するまで、編集を続けます。

本機をコントローラ（デッキ対デッキで編集するときのレコーダー側）として使用し、プレーヤー側 VTR の再生速度をコントロールして、変速モードでの編集を行うことができます。

■バリアブルメモリーモードの選択

デッキ対デッキで編集（RECORDER または PLAYER ランプが点灯）を行うときに、SET ボタンを押しながらサーチダイヤルを回して初速（-1.0 ~ +2.0）を設定すると、バリアブルメモリーモードになります。

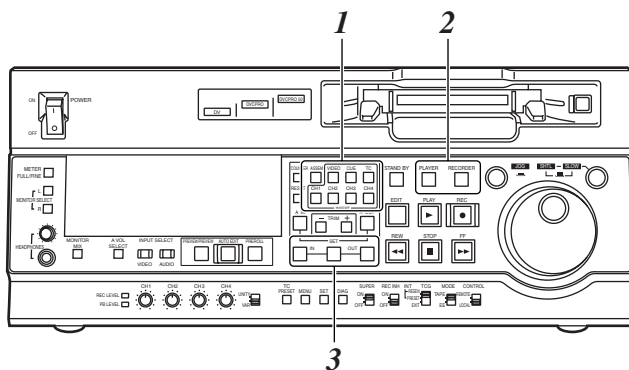
■バリアブルメモリーモードの解除

SET ボタンを押しながら RESET ボタンを押すと、バリアブルメモリーモードが解除されます。デッキ対デッキでの編集を終了した場合も、バリアブルメモリーモードが解除されます。

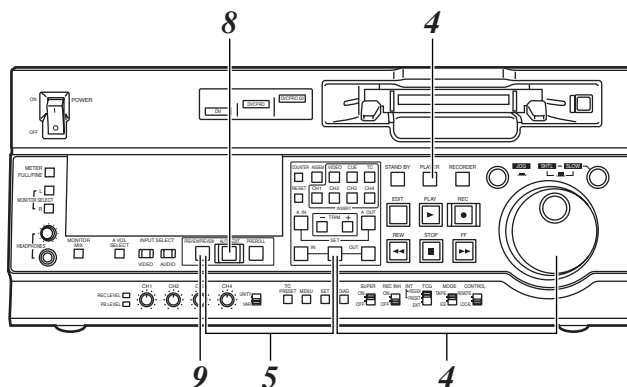
バリアブルメモリー編集操作手順

バリアブルメモリー編集を行うには、以下の操作を実施します。

- 1 ASSEM ボタンまたは、希望の INSERT ボタンを押して、編集モードを選択します。
- 2 RECORDER ボタンまたは、PLAYER ボタンを押して、操作する VTR を選択します。
- 3 SET ボタンと IN/OUT ボタンを使って、IN 点と OUT 点を登録します。
プレーヤー側の OUT 点は登録できません。



- 4 PLAYER ボタンを押し、プレーヤー側の VTR を選択した後、SET ボタンを押しながらサーチダイヤルで初速を設定します。
- 5 SET ボタンと PREVIEW/REVIEW ボタンを同時に押し、プレーヤー側/レコーダー側共に、自動的にプリロールし、プレーヤー側の VTR は、IN 点まで設定された初速で再生します。
- 6 IN 点通過後、サーチダイヤルを回してプレーヤー側 VTR の再生速度を記憶します。
- 7 レコーダー側で設定された OUT 点を通ると、再生速度の記憶は終了します。
- 8 AUTO EDIT ボタンを押すとバリアブルメモリー編集を実行します。
一度編集が実行されると、記憶していた速度は消されます。ただし、初速度はクリアされません。
- 9 PREVIEW/REVIEW ボタンを押すと編集結果が確認できます。

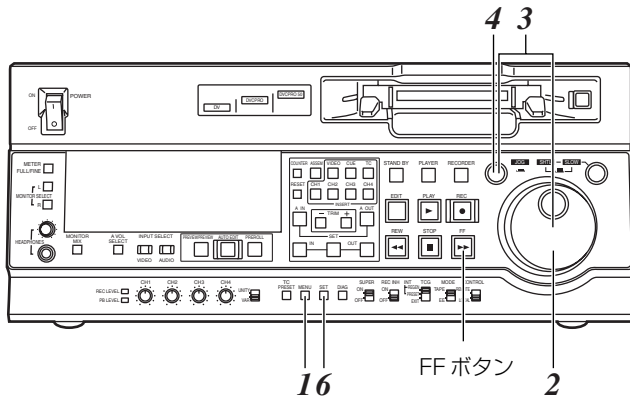


<ノート>

- メモリーされた内容は、バリアブルメモリーモードが解除されると消えます。
また、POWER スイッチを「OFF」にしても、メモリーされた内容が消えます。
- バリアブルメモリー編集における IN 点までの再生時には、調相を行いません。従ってプレーヤー側の VTR や設定した速度によって、IN 点の精度は保証されません。
- バリアブルメモリー編集を行う場合は、プレーヤー側の VTR が保証している変速再生速度の範囲で設定してください。

セットアップ (初期設定)

本機の主な設定は、メニュー方式で選択しながら行います。
モニターテレビをリアパネルの VIDEO OUT 3 端子や SDI OUT 3 端子と接続している場合は、モニターテレビにセットアップメニューが表示されます。



設定の変更

1 MENU ボタンを押します。
モニターテレビにセットアップメニューの画面が表示され、カウンター表示部にセットアップメニューの項目 No.が表示されます。
FF ボタンを押す (約 1.5 秒間) 毎に、項目 No.と項目名が交互に切り替わって表示されます。
(以前にセットアップを行っている場合は、最後に変更を行った画面が表示されます。)

2 サーチダイヤルを回して、設定する項目を選びます。
メニュー画面のカーソル (*) が移動し、ディスプレイの項目 No.が点滅します。
● 右に回すと項目 No.が 001 → 002 → 003 → 004 → のように増加し、左に回すと減少します。
● PLAY ボタンを押しながら FF ボタンまたは、REW ボタンを押すと、次項目または、前の項目に切り替わります。
● サーチダイヤルは、できるだけ JOG モードで使用してください。

3 変更する位置で、サーチボタンを押しながら、サーチダイヤルを回します。
メニュー画面およびディスプレイの設定値が点滅します。
ダイヤルを右に回すと設定 No.が増加し、左に回すと減少します。
このとき、設定値を工場出荷時に戻すときは、サーチボタンを押しながら、RESET ボタンを押します。

4 設定が終了すると、サーチボタンを離します。
項目 No.が点滅します。
● サーチダイヤルが SHTL モードのときは、中央位置にしないと項目が移動します。

5 他に変更する項目がある場合、**2** ~ **4** を繰り返します。

6 SET ボタンを押します。
変更した内容は記憶されます。
設定した内容を変更前に戻す場合は、MENU ボタンを押します。
● セットアップの内容を工場出荷 (初期設定) に戻すときは、メニューが表示されているときに RESET ボタンを押します。以下のメッセージが出ます。

SETUP-MENU INIT SET
YES<PLAY>/NO<STOP>

PLAY ボタンを押すと工場出荷時の設定になります。

<ノート>

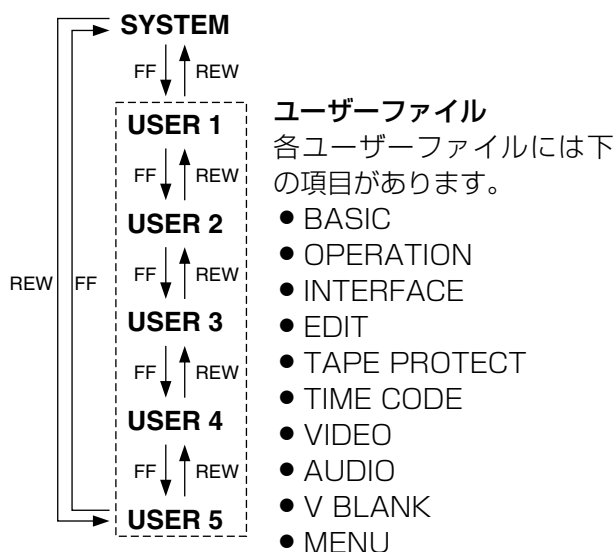
- RESET ボタンを押して工場出荷設定に戻すときは、現在使用されているユーザーファイルのみに限られます。他のユーザーファイルには影響を与えません。
- SYSTEM メニューの内容は、MENU ボタンを押してメニュー画面を閉じて、変更内容が記録されます。

セットアップメニュー

本機は5つのユーザーファイルを持つことができ、それぞれ異なったメニュー設定の中から、いずれか1つを選択して使用することができます。

ファイルの変更

- 1 MENU ボタンを押します。
- 2 DIAG ボタンを押しながら FF ボタンを押すと、次のユーザーファイルに切り替わります。
DIAG ボタンを押しながら REW ボタンを押すと、前のユーザーファイルに戻ります。



- 3 ステップ2の操作で使用するユーザーファイルを決めると、SET ボタンを押します。
ユーザーファイルを変更して記憶します。

<ノート>

SYSTEM メニューの項目は、ユーザーファイルの1～5の中には含まれないのでユーザーファイルの切り替えを行い、SYSTEM ファイルに切り替えた後、SYSTEM メニューの項目を設定してください。

ロックモードの設定および解除

システムファイルおよびユーザーファイル (USER2～USER5) の設定内容を保護するために、ロックモードの設定ができます。ロックモードを設定すると、設定内容の変更ができなくなります。

ロックモードの設定および解除は、システムファイルではセットアップメニュー No.30 (MENU LOCK)、ユーザーファイルではセットアップメニュー No.A03 (MENU LOCK) で設定できます。

- 1 MENU ボタンを押します。
- 2 DIAG ボタンを押しながら REW ボタンまたは FF ボタンを押し、ロックモードを設定または解除するファイルを選択します。
- 3 サーチダイヤルを回して、メニュー画面中のカーソル (*) をシステムファイルでは No.30 (MENU LOCK) へ移動し、ユーザーファイルでは No.A03 (MENU LOCK) へ移動します。
- 4 サーチボタンを押しながらサーチダイヤルを回し、ロックモードの設定および解除を選択します。
ロック設定:
設定値を 0001 (ON) に設定します。
ロック解除:
設定値を 0000 (OFF) に設定します。

ロック設定されている場合、メニュー画面上に「LOCKED」を点滅表示します。また、カウンタ表示部が点滅表示から点灯表示になります。

SETUP-MENU	LOCKED
<USER2>	NO.000-0005
*000 P-ROLL TIME	5s
001 LOCAL ENA	ST&EJ
002 TAPE TIMER	±12h
003 REMAIN SEL	OFF
004 SETUP NUMBER	OFF
005 METER SELECT	CUE
006 SYNCHRONIZE	ON
007 SUPER	ON
008 DISPLAY SEL	T&STA

- 5 SET ボタンを押します。設定内容が記憶されます。

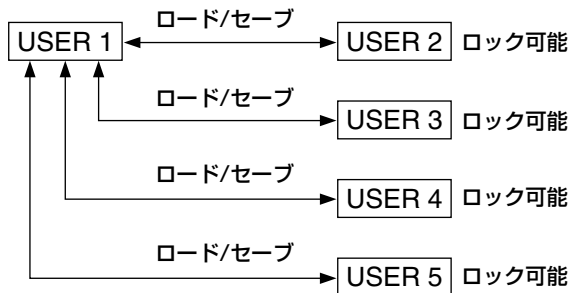
<ノート>

- USER1 はロックモードの設定できません。
- ロックモードに設定されているファイルは、RESET ボタンを押しても工場出荷値へのリセット操作できません。

セットアップメニュー

ユーザーファイルのロード

USER2～USER5の内容をUSER1へ複写（ロード）することができます。また、USER1の内容をUSER2～USER5へ複写（セーブ）することができます。



1 MENU ボタンを押します。

2 DIAG ボタンを押しながら REW ボタンまたは FF ボタンを押し、USER1 を選択します。

3 サーチダイヤルを回して、メニュー画面中のカーソル (*) を No.A00 (LOAD) へ移動します。

```
SETUP-MENU  MENU
<USER1>     NO.A00-0000
804 BLANK LINE  BLANK
*A00 LOAD      USER2
A01 SAVE       USER2
A02 P.ON LOAD  OFF
END
```

4 サーチボタンを押しながらサーチダイヤルを回し、USER1 へロードするユーザーファイルを選択します。

5 SET ボタンを押します。
メニュー画面上およびカウンター表示部に以下のメッセージが表示されます。

メニュー画面

```
SETUP-MENU  LOAD
USER2 → USER1 OK?
YES<PLAY>/NO<STOP>
```

カウンター表示部

```
L 02 001
```

■ の部分は、**4**の操作で選択されたユーザーファイル No.が表示されます。

6 PLAY ボタンを押します。
4の操作で選択されたユーザーファイルの設定値がロードされて USER1 のメニュー表示となります。STOP ボタンを押すと、設定値は変更されず USER1 のメニュー表示となります。

7 サーチダイヤルを回し、メニュー画面中のカーソル (*) を No.A00 (LOAD)、No.A01 (SAVE) 以外へ移動します。

8 SET ボタンを押します。USER1 の設定内容が記憶されます。
USER1 の設定内容を記憶しない場合は、SET ボタンを押さずに MENU ボタンを押します。

セットアップメニュー

ユーザーファイルのセーブ

- 1 MENU ボタンを押します。
- 2 DIAG ボタンを押しながら REW ボタンまたは FF ボタンを押す、USER1 を選択します。
- 3 サーチダイヤルを回して、メニュー画面中のカーソル (*) を No.A01 (SAVE) へ移動します。

```
SETUP-MENU  MENU
<USER1>     NO.A00-0000
804 BLANK LINE BLANK
A00 LOAD USER2
*A01 SAVE USER2
A02 P.ON LOAD OFF
END
```

- 4 サーチボタンを押しながらサーチダイヤル回し、USER1 の内容をセーブするユーザーファイルを選択します。このとき、ロックモードに設定されているユーザーファイルは表示されません。すべてのユーザーファイルがロックモードに設定されている場合は、“LOCKED” 表示となりセーブ操作ができません。

- 5 SET ボタンを押します。
メニュー画面上およびカウンター表示部に以下のメッセージが表示されます。

メニュー画面

```
SETUP-MENU  SAVE
USER1 → USER2 OK?
YES<PLAY>/NO<STOP>
```

カウンター表示部

```
5 01 ) 02
```

■ の部分は、4 の操作で選択されたユーザーファイル No.が表示されます。

- 6 PLAY ボタンを押します。
USER1 の内容が 4 の操作で選択されたユーザーファイルへセーブされて記憶されます。STOP ボタンを押すと、設定値は変更されず USER1 のメニュー表示となります。
- 7 サーチダイヤルを回し、メニュー画面中のカーソル (*) を No.A00 (LOAD)、No.A01 (SAVE) 以外へ移動します。
- 8 SET ボタンを押します。USER1 の設定内容が記憶されます。
USER1 の設定内容を記憶しない場合は、SET ボタンを押さずに MENU ボタンを押します。

電源投入時のユーザーファイルの自動呼出し

セットアップメニュー No.A02 (P.ON LOAD) でロードするユーザーファイルを予め選択しておく、電源を投入したとき、自動的にそのファイルを USER1 へロードすることができます。

セットアップメニュー

SYSTEMメニュー

No./項目	設定内容
00 WFM SEL	<p>VIDEO OUT 2出力端子から各種信号を出力することができます。</p> <p>0000 CTL : CTL信号を出力します。 0001 TC : TIME CODE信号を出力します。 0002 VIDEO : VIDEO OUT信号を出力します。 0003 RF_L : PB L RF信号を出力します。 0004 RF_R : PB R RF信号を出力します。 0005 ENV_L : PB L ENV信号を出力します。 0006 ENV_R : PB R ENV信号を出力します。</p> <p><ノート> ●セットアップメニューNo.30 (MENU LOCK) の設定に影響されず、常に設定を変更することができます。 ●通常再生時における各出力信号は、75Ω終端にてほぼ下記のレベルになります。 CTL : 0.1~0.3Vp-p TC : 0.6Vp-p VIDEO : 1.0Vp-p</p>
10 ENCODER SEL	<p>ビデオ出力信号の各調整を本機で行うか、外部のエンコーダーリモートコントローラから行うかを設定します。</p> <p>0000 REMOTE : 外部のエンコーダーリモートコントローラから、ビデオ出力信号の各調整を行います。 0001 LOCAL : 本機でビデオ出力信号の各調整を行います。</p>
11 SYS SC COAR.	<p>システム位相の粗調整 : 90° 単位</p> <p>0000 0 <ノート> 0001 90 工場出荷時設定操作を行っても、設定値は変化しません。 0002 180 0003 270</p>
12 SYS SC FINE	<p>システム位相の微調整 : 可変範囲±45° 以上 - : 進む、+ : 遅れる</p> <p>0000 -128 <ノート> 工場出荷時設定操作を行っても、設定値は変化しません。 0128 0 0255 127</p>
13 SYS H	<p>システム位相調整 : 74 nsステップ - : 進む、+ : 遅れる</p> <p>0000 -128 <ノート> 工場出荷時設定操作を行っても、設定値は変化しません。 0108 0 0216 127</p>

No./項目	設定内容
14 SCH COARSE	<p>SCH位相調整 : 90° 単位 (SC位相が変化し、H位相は変化しません。) - : 進む、+ : 遅れる</p> <p>0000 0 0001 90 0002 180 0003 270</p>
15 SCH FINE	<p>SCH位相調整 : トータル可変範囲±45° 以上 (SC位相が変化し、H位相は変化しません。) - : 進む、+ : 遅れる</p> <p>0000 -32 : 0032 0 : 0064 32</p>
16 AV PHASE	<p>映像出力に対しての、音声出力の位相を調整します。 : 20.8μsステップ - : 映像出力に対して、音声出力の位相が進みます。 + : 映像出力に対して、音声出力の位相が遅れます。</p> <p>0000 -128 : 0128 0 : 0255 127</p>

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

SYSTEMメニュー

No./項目	設定内容	No./項目	設定内容
18	システム位相調整 SYS H OFFSET 0000 -3 : -13.4 μ sec 0001 -2 : -8.96 μ sec 0002 -1 : -4.52 μ sec 0003 0 : 0 sec 0004 1 : +4.52 μ sec 0005 2 : +8.96 μ sec 0006 3 : +13.4 μ sec <ノート> 工場出荷時設定操作を行っても、設定値は変化しません。	23	セットアップレベル (黒レベル) を設定します。 最大可変量 : 14 IRE (100mV) [525iシステム] SET UP LEVEL 0000 -128 : : [625iシステム] 0128 0 BLACK LEVEL : SD955B 0255 127
19	システム位相調整を本機で行うか、外部のエンコーダーリモートから行うかを設定します。 0000 REMOTE : 外部のエンコーダーリモートコントローラからシステム位相調整を行います。 0001 LOCAL : 本機でシステム位相調整を行います。 <ノート> SYSTEMメニューNo.10 (ENCODER SEL) でLOCALが選択されている場合は、本設定は関係しません。	24	ヒュー (クロマ位相) を設定します。 最大可変量 : $\pm 30^\circ$ [525iシステム] HUE 0000 -128 : : [625iシステム] 0128 0 CHROMA PHASE : SD955B 0255 127
22	ビデオレベルを設定します。 最大可変量 : ± 3 dB VIDEO LEVEL 0000 -128 : : 0128 0 : : 0255 127	25	クロマレベルを設定します。 最大可変量 : ± 3 dB CHROMA LEVEL 0000 -128 : : 0128 0 : : 0255 127
		30	システムファイルのロックモードの設定/解除を選択します。 MENU LOCK 0000 OFF : ロック解除 (変更可能) 0001 ON : ロック設定 (変更禁止) <ノート> セットアップメニューNo.00 (WFM SEL) は、本メニューの設定に関係なく常に変更可能です。

_____ は、工場出荷モードです。

ビデオ出力信号の各調整について

ビデオ出力信号の各調整については、SYSTEMメニューNo.10 (ENCODER SEL) とNo.19 (SYS SC/H) 設定により行います。(アナログ・コンポーネント信号、アナログ・コンポジット信号、SDI信号の出力に対して有効です。) 各調整の制御マトリクスを下表に示します。

設 定		調 整 項 目	
SYSTEMメニュー 10: ENCODER SEL	SYSTEMメニュー 19: SYS SC/H	SYSTEMメニュー 11: SYS SC COAR. 12: SYS SC FINE 13: SYS H	SYSTEMメニュー 22: VIDEO LEVEL 23: SET UP LEVEL/BLACK LEVEL 24: HUE/CHROMA PHASE 25: CHROMA LEVEL
LOCAL	LOCAL REMOTE	本機	本機
REMOTE	LOCAL REMOTE	本機 外部エンコーダーリモート	外部エンコーダーリモート

セットアップメニュー

USERメニュー <BASIC>

No./項目	設定内容
000 P-ROLL TIME	<p>プリロール時間を設定します。 0秒～15秒の間で1秒単位で設定できます。</p> <p>0000 0s <ノート> : : 自動編集 [PREVIEW、AUTO 0005 5s EDIT] 時は、プリロール時間が : : 0秒に設定されていると動作し 0015 15s ません。</p>
001 LOCAL ENA	<p>CONTROLスイッチが「REMOTE」のとき、フロントパネルで操作可能なボタンを選択します。</p> <p>0000 DIS : すべて不可 0001 ST&EJ : STOP、EJECTボタンのみ可能 0002 ENA : AJ-SD955B: RECORDER、PLAYERボ タン以外すべて可能 AJ-SD930B: すべて可能</p>
002 TAPE TIMER	<p>CTLカウンタ表示の12/24時間表示を選択します。</p> <p>0000 ±12h : 12時間表示 0001 24h : 24時間表示</p>
003 REMAIN SEL	<p>VIDEO OUT 3/SDI OUT 3端子のスーパー表示に、テープ残量時間およびテープ総量を表示するかどうかを選択します。</p> <p>0000 OFF : 表示しません。 0001 2L : 2行目にテープ残量時間を表示します。 0002 1L : 1行目にテープ残量時間を表示します。 0003 R/TTL : 1行目にテープ残量時間を表示し、2行目にテープ総量を表示します。</p> <p><ノート> ●2Lを選択したとき、セットアップメニューNo.008 (DISPLAY SEL) がTIMEに設定されている場合、表示しません。 ●R/TTLを選択したとき、セットアップメニューNo.008 (DISPLAY SEL) がTIMEに設定されている場合、テープ総量は表示しません。</p>
006 SD955B SYNCHRONIZE	<p>2台のデッキ間で調相するかしないかを設定します。</p> <p>0000 OFF : 調相をかけません。編集点が数フレームずれますが編集に素早く入れます。 0001 ON : 調相をかけます。誤差のない編集をすることができます。</p>

No./項目	設定内容
008 DISPLAY SEL	<p>VIDEO OUT 3/SDI OUT 3端子のタイムコード等のスーパー表示の表示内容を選択します。</p> <p>0000 TIME : データだけを表示します。 (データとは、COUNTERボタンで選択されているCTL/TC/UBの値を示します。)</p> <p>0001 T&STA : データと動作状態を表示します。 0002 T&S&M : データと動作状態およびモードを表示します。 0003 T&RT : データと記録時間を表示します。 0004 T&YMD : データと記録日時 (年月日) を表示します。 0005 T&MDY : データと記録日時 (月日年) を表示します。 0006 T&DMY : データと記録日時 (日月年) を表示します。 0007 T&UB : データとユーザズビットを表示します。 ただし、COUNTERボタンでUBを選択しているときは、ユーザズビットの次にタイムコードが表示されます。 0008 T&CTL : データとCTLデータを表示します。 ただし、COUNTERボタンでCTLを選択しているときは、CTLデータの次にタイムコードが表示されます。 0009 T&T : データとタイムコードを表示します。 0010 VITC : VAUX領域に記録されたタイムコードとユーザズビットを表示します。</p> <p><ノート> ●モード表示 : DVCPRO 50 (50 Mbps) =DVCPRO_50、 DVCPRO (25 Mbps) =DVCPRO、 DV=DV、DVCAM=DVCAM ●T&S&M設定時に、ワーニングまたはエラーが発生した場合は、エラーメッセージを表示します。 ●記録時間や記録日時は、DVテープやDVCAMテープを再生したときに表示します。 DVCPRO 50 (50 Mbps) や DVCPRO (25 Mbps) では、動作状態を表示します。</p>
009 CHARA H-POS	<p>VIDEO OUT 3/SDI OUT 3端子から出力される、タイムコード等のスーパー表示の水平方向文字位置を設定します。</p> <p>0000 0 : : 0004 4 : : 0016 16</p> <p><ノート> 本項目設定時は、SUPER OFFであっても、DISPLAY SELの状態ではVIDEO OUT 3/SDI OUT 3端子へスーパーを出力します。 ただし、MENUを抜けた場合は、SUPER OFF/ONの設定に従います。 また、CHARA TYPEは、MENU中の設定状態でVIDEO OUT 3/SDI OUT 3端子へ出力しません。</p>

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

USERメニュー <BASIC>

No./項目	設定内容
010 CHARA V-POS	<p>VIDEO OUT 3/SDI OUT 3端子から出力される、タイムコード等のスーパー表示の垂直方向文字位置を設定します。</p> <p>[525iシステム] [625iシステム]</p> <p>0000 0 0000 0</p> <p> : : : :</p> <p>0018 18 0023 23</p> <p> : : : :</p> <p>0022 22 0028 28</p> <p><ノート></p> <ul style="list-style-type: none"> ●本項目設定時は、SUPER OFFであっても、DISPLAYSELの状態ではVIDEO OUT 3/SDI OUT 3端子へスーパーを出力します。ただし、MENUを抜けた場合は、SUPER OFF/ONの設定に従います。また、CHARA TYPEはMENU中の設定状態でVIDEO OUT 3/SDI OUT 3へ出力します。 ●DISPLAY SELの状態により画面から文字がはみ出す場合、設定値は変化しますが、文字は自動的にはみ出ない位置に表示します。
011 CHARA TYPE	<p>VIDEO OUT 3/SDI OUT 3端子から出力される、スーパーおよびSETUP-MENU等の表示タイプを選択します。</p> <p>0000 WHITE : 白文字で、背景は黒</p> <p>0001 W/OUT : 白文字で、黒のふちどり</p>
012 SYS FORMAT	<p>本機の記録・再生フォーマットを設定します。</p> <p>0000 50M : DVCPRO50 (50Mbps) を選択します。</p> <p>0001 25M : DVCPRO (25Mbps) を選択します。</p> <p><ノート> EJECT時は、本メニューに従います。</p>
013 PB FORMAT	<p>テープ再生時のフォーマットを設定します。</p> <p>0000 MANUAL : DVCPROのカセットテープが挿入されているときは、セットアップメニューNo.012 (SYS FORMAT) の設定にしたがいます。DVおよびDVCAMのカセットテープが挿入されているときは、テープに記録されているフォーマットに設定にしたがいます。</p> <p>0001 AUTO : テープに記録されているフォーマットにしたがいます。</p> <p><ノート></p> <ul style="list-style-type: none"> ●編集モード選択時は、内部動作は強制的に「MANUAL」になります。 ●AUTOに設定したときは、テープローディング後フォーマットの判別が完了するまでの間、画像音声が乱れることがあります。

No./項目	設定内容
015 SD955B MONI CONTROL	<p>デッキ対デッキ編集時、モニタがレコーダー側だけに接続されている場合、レコーダー側のPLAYERボタンを押すことにより、強制的にレコーダーをEEモードにし、プレーヤーの再生信号をモニタに出力するかどうかを設定します。</p> <p>0000 MANU : 強制的にEEモードにはならない。</p> <p>0001 AUTO : 強制的にEEモードになり、プレーヤーの再生信号を、モニターに出力するかどうかを設定します。</p>
017 CHARA SIZE	<p>VIDEO OUT 3/SDI OUT 3端子から出力されるスーパーで表示される文字の大きさを選択します。</p> <p>0000 NORMAL : 標準の大きさ</p> <p>0001 LARGE : 標準の大きさの4倍</p> <p><ノート> LARGEを選択した場合、No.008 (DISPLAY SEL) の設定に関わらず、時間データのみが表示されます。</p>
070 SD955B TV SYSTEM	<p>テレビジョンシステムを設定します。</p> <p>0000 525 : 525インターレース/59.94Hzの方式を選択します。</p> <p>0001 625 : 625インターレース/50Hzの方式を選択します。</p> <p><ノート> 設定を変更したとき、再度電源を投入したときに有効になります。</p>

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

USERメニュー <OPERATION>

No./項目	設定内容
100 SEARCH ENA	<p>ダイレクトサーチダイヤル操作を選択します。</p> <p>0000 DIAL : ダイレクトサーチダイヤルの操作になります。</p> <p>0001 KEY : サーチボタンを押さないとサーチモードに移行しません。</p>
101 SHTL MAX	<p>シャトル動作の最大速度を設定します。</p> <p>0000 ×8.4 : ×8.4倍速 0001 ×16 : ×16倍速 0002 ×32 : ×32倍速</p>
102 FF. REW MAX	<p>FF、REW動作の最大速度を設定します。</p> <p>0000 ×16 : ×16 (32) 倍速 0001 ×32 : ×32 (60) 倍速 0002 ×50 : ×50 (100) 倍速</p> <p><ノート></p> <ul style="list-style-type: none"> ● () 表示は、DVCPRO (25Mbps) /DV/DVCAMモード時の速度です。 ● ミニDV/ミニDVCAMカセットテープ使用時は、本設定に関係なく×32倍速になります。
104 REF ALARM	<p>REF. VIDEOが接続されていないときに警告表示するかどうかを選択します。</p> <p>0000 OFF : 表示しません。 0001 ON : STOPランプを点滅させることで警告表示します。</p> <p><ノート></p> <p>リファレンス・ビデオ信号を入力しない場合、映像や音声の出力信号が乱れることがありますので、リファレンス・ビデオ信号を入力するシステムで使用されることをお勧めします。</p>

No./項目	設定内容
105 AUTO EE SEL	<p>MODEスイッチの位置がEEのとき、EE状態になるVTRのモードを選択します。</p> <p>0000 S/F/R : STOP、FF、REW、EJECTのときに、EE状態になります。</p> <p>0001 STOP : STOPとEJECTのときに、EE状態になります。</p> <p>0002 BLACK : STOPとEJECTのときに、EE状態になります。ただし、MODEスイッチの位置がTAPEのときは、EJECT時に映像がBLACK状態になり、音声ミュート状態になります。</p> <p>0003 BLACK1 : STOP、FF、REW、EJECTのときに、EE状態になります。ただし、MODEスイッチの位置がTAPEのときは、EJECT時に映像がブラック状態になり、音声ミュート状態になります。</p> <p>0004 GRAY : STOPとEJECTのときに、EE状態になります。ただし、MODEスイッチの位置がTAPEのときは、EJECT時に映像がグレー状態になり、音声ミュート状態になります。</p> <p>0005 GRAY1 : STOP、FF、REW、EJECTのときに、EE状態になります。ただし、MODEスイッチの位置がTAPEのときは、EJECT時に映像がグレー状態になり、音声ミュート状態になります。</p>
106 EE MODE SEL	<p>EEモード時の出力信号を選択します。</p> <p>0000 NORMAL : 内部で信号処理した時間分、遅延した信号を出力します。</p> <p>0001 THRU : 内部で信号処理を加えず、遅延なしでそのまま信号を出力します。</p> <p><ノート></p> <p>編集モード選択時に、INPUT SELECTボタンで入力信号にSDTI/1394やSGを選択している場合、内部動作は強制的に「NORMAL」になります。</p>
107 PLAY DELAY	<p>PLAYの立ち上がり時間をフレーム単位で設定します。</p> <p>0000 0 : : 0015 15</p>
108 CAP. LOCK	<p>キャプスタンロックモードを選択します。</p> <p>[525iシステム] 0000 2F : 2Fモード 0001 4F : 4Fモード</p> <p>[625iシステム] SD955B 0000 2F : 2Fモード 0001 4F : 4Fモード 0002 8F : 8Fモード</p>

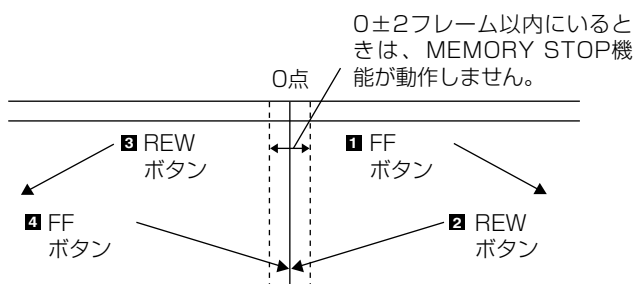
_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

USERメニュー <OPERATION>

No./項目	設定内容
109 AUTO REW	テープ終端を検出した場合、自動的にテープ始端まで巻き戻すかどうかを選択します。 0000 OFF : テープ終端で停止します。 0001 ON : テープ始端まで巻き戻します。
110 MEMORY STOP	CTLモードのFFおよびREW動作において、カウンタ値が0の位置で自動的に停止するかどうかを選択します。 0000 OFF : VTRIは停止しません。 0001 ON : VTRIは自動的に停止します。 <ノート> ● 停止モードでは、セットアップメニュー No.315 (AFTERCUE-UP) の設定により停止、静止画 (SHTL STILLまたはSLOW STILL) モードになります。 ● AUTO REW機能とMEMORY STOP機能が同時に選択されている場合、AUTO REW機能が優先となります。

MEMORY STOP機能説明



- 1 FFボタンを押した場合は、動作する方向に0点がないため、通常のFF動作になります。
- 2 REWボタンを押した場合は、PREROLLランプ (SHTLランプも点灯) が点灯し、VTRIはPREROLL動作を行い、カウンタ値が0の位置で自動的に停止します。
- 3 REWボタンを押した場合は、動作する方向に0点がないため、通常のREW動作になります。
- 4 FFボタンを押した場合は、PREROLLランプ (SHTLランプも点灯) が点灯し、VTRIはPREROLL動作を行い、カウンタ値が0の位置で自動的に停止します。

No./項目	設定内容
111 FRZ MODE SEL	スタンバイOFF (ハーフローディング) モードおよびEJECTモードでの出力画像を選択します。 0000 DIS : 映像出力をミュートします。 0001 STB OFF : スタンバイOFF (ハーフローディング) モード時のみ、その時点での再生画をフリーズして出力します。 0002 SOF&EJ : スタンバイOFF (ハーフローディング) モードおよびEJECTモード時、その時点での再生画をフリーズして出力します。 <ノート> ● フリーズ時の状態は、セットアップメニュー No.605 (FREEZE SEL) の設定に従います。 ● EJECTモードは、セットアップメニュー No.105 (AUTO EE SEL) がBLACK、BLACK1、GRAY、GRAY1の設定時のみにフリーズ画を出力します。
112 V IN SEL INH	INPUT SELECTボタンでのビデオ入力切り替えモードを選択します。 0000 OFF : INPUT SELECTボタンでのビデオ入力切り替えが、可能になります。 0001 ON : INPUT SELECTボタンでのビデオ入力切り替えが、禁止されます。 0002 REC : 本機が記録 (編集は除く) に移行した後は、INPUTSELECTボタンでのビデオ入力切り替えが、禁止されます。
113 A IN SEL INH	INPUT SELECTボタンでのオーディオ入力切り替えモードを選択します。 0000 OFF : INPUT SELECTボタンでのオーディオ入力切り替えが、可能になります。 0001 ON : INPUT SELECTボタンでのオーディオ入力切り替えが、禁止されます。 0002 REC : 本機が記録 (編集は除く) に移行した後は、INPUTSELECTボタンでのオーディオ入力切り替えが、禁止されます。 <ノート> ONまたはRECを選択し、INPUT SELECTボタンでのオーディオ入力切り替えが禁止されている場合であっても、セットアップメニュー No.715 (CH1 INSEL)、No.716 (CH2 INSEL)、No.717 (CH3 INSEL)、No.718 (CH4 INSEL)、No.719 (D IN SEL12)、No.720 (D IN SEL34) を設定することができます。

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

USERメニュー <OPERATION>

No./項目	設定内容
114 REC INH LAMP	カセットが誤消去防止状態になっているときに、REC INHランプを点滅または点灯させるかを選択します。 0000 LIGHT : ランプが点灯します。 0001 FLASH : ランプが点滅します。 <ノート> REC INHスイッチがONに設定されている場合は、本設定に関係なくREC INHランプは常時点灯します。
115 EJECT SW INH	フロントパネルのEJECTボタン操作の許可/禁止を選択します。 0000 REC : 記録モード中は禁止されます。 0001 OFF : すべてのモードにおいて、操作が可能になります。
116 EJECT LAMP	カセットアウト状態でEJECTランプを点灯させたままとするか、消灯させるかを選択します。 0000 MODE1 : EJECTランプは点灯したままとなります。 0001 MODE2 : EJECTランプは消灯します。
117 DIAL LAMP	フロントパネルのダイヤルリングが点灯する条件を選択します。 0000 OFF : 点灯しません。 0001 MODE1 : サーチ (JOG/SLOW/SHTL) モード時に点灯します。 0002 MODE2 : JOGモード時に点灯します。 0003 MODE3 : カセットテープが挿入されているときに点灯します。

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

USERメニュー <INTERFACE>

No./項目	設定内容
200 PARA RUN	2台以上のVTRを同期運転させるかを選択します。 0000 DIS : 同期運転させません。 0001 ENA : 同期運転させます。 <ノート> 同期運転させる場合は、すべてのVTRを「ENA」に設定します。
201 9P SEL	CONTROLスイッチが「REMOTE」のとき、9P端子が機能するかどうかを選択します。 0000 OFF : 機能しません。 0001 ON : 機能します。
202 ID SEL	コントローラーに返信するID情報を設定します。 0000 OTHER 0001 DVCPRO 0001 ORIG <ノート> ● OTHERには、DVCPRO以外のVTRのID情報を設定しています。 ● ORIGはパナソニック製のコントローラー（AG-A850など、別売品）との接続時のみ設定してください。
203 25P SEL	CONTROLスイッチが「REMOTE」のとき、PARALLEL (25P) 端子が機能するかどうかを選択します。 0000 OFF : 機能しません。 0001 ON : 機能します。
204 RS232C SEL	CONTROLスイッチが「REMOTE」のとき、RS-232C端子が機能するかどうかを選択します。 0000 OFF : 機能しません。 0001 ON : 機能します。
205 BAUD RATE	RS-232Cの通信速度（ボーレート）を設定します。 0000 300 0001 600 0002 1200 0003 2400 0004 4800 0005 9600
206 DATA LENGTH	RS-232Cのデータ長を設定します。 (単位: BIT) 0000 7 0001 8
207 STOP BIT	RS-232Cのストップビット長を設定します。 (単位: BIT) 0000 1 0001 2

No./項目	設定内容
208 PARITY	RS-232Cのパリティビットの有無、奇数、偶数を設定します。 0000 NON : パリティビットを使用しない。 0001 ODD : パリティビットを奇数パリティで使用する。 0002 EVEN : パリティビットを偶数パリティで使用する。
209 RETURN ACK	RS-232Cからのコマンド受信時、ACKコードを返信するかしないかを設定します。 0000 OFF : ACKコードを返信しない。 0001 ON : ACKコードを返信する。
210 25P STBY CMD	PARALLEL (25P) 端子におけるSTANDBY COMMANDの信号入力検出方法を選択します。 0000 OFF/ON : アクティブ信号を検出毎に、スタンバイON/OFFモードが交互に切り替わります。 0001 ON : スタンバイOFFモードにおいて、アクティブ信号を検出した場合、スタンバイONモードに移行します。スタンバイONモード中の動作には影響しません。
211 LOCAL 25P	CONTROLスイッチが「LOCAL」のとき、PARALLEL (25P) 端子が機能するかどうかを選択します。 0000 OFF : 機能しません。 0001 ON : 機能します。
212 SD955B MASTER PORT	本機をデッキ対デッキ操作時において、マスター機として使用する場合、スレーブ機を制御するリモートコントロール端子を選択します。 0000 IN/OUT : IN/OUT端子を使用します。 0001 OUT : OUT端子を使用します。 <ノート> 本設定は、CONTROLスイッチが「LOCAL」のときのみ有効です。

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

USERメニュー <EDIT>

No./項目	設定内容
301 SD955B IN/OUT DEL	編集点を誤って設定したとき（OUT点がIN点より前にあるとき）の動作を選択します。 0000 MANU : 不正な編集点を削除するか、正しく設定し直さないと編集を実行しません。 0001 AUTO : あらかじめ入力されていた編集点を自動的に削除します。
303 STD/ NON-STD	コンボジット入力信号に合わせてSTDまたはNON-STDを選択します。 0000 AUTO : スタンダード/ノンスタンダード信号を自動検出して処理します。 0001 STD : スタンダード信号処理を行います。(強制STD) 0002 N-STD : ノンスタンダード信号処理を行います。(強制NON-STD) <ノート> レーザーディスク、サテライトからの信号などで映像、音声に不具合が発生する場合は、NON-STD (N-STD) にしてご使用ください。
304 SERVO REF	サーボの同期する信号を選択します。 0000 AUTO : 記録、編集時は入力信号に同期し、再生時はREF信号に同期します。 0001 EXT : 常にREF信号に同期します。
305 EDIT RPLCE1	デジタルオーディオのエディットプリセットをコントロールする機能のないコントローラで、VTRのデジタルオーディオを編集するとき、コントローラのアナログオーディオプリセットに対する各チャンネルの割り当てを設定します。VTRのCH1のエディットプリセットを、コントローラで指定したアナログオーディオに従ってON/OFF設定します。 0000 N-DEF : 設定しません。 0001 CH1 : アナログCH1エディットプリセットに従います。 0002 CH2 : アナログCH2エディットプリセットに従います。 0003 CH1+2 : アナログCH1またはCH2エディットプリセットに従います。

No./項目	設定内容
306 EDIT RPLCE2	セットアップメニューNo.305と同様に、本機のCH2のエディットプリセットを、コントローラで指定したアナログオーディオに従ってON/OFF設定します。 0000 N-DEF : 設定しません。 0001 CH1 : アナログCH1エディットプリセットに従います。 0002 CH2 : アナログCH2エディットプリセットに従います。 0003 CH1+2 : アナログCH1またはCH2エディットプリセットに従います。
307 EDIT RPLCE3	セットアップメニューNo.305と同様に、本機のCH3のエディットプリセットを、コントローラで指定したアナログオーディオに従ってON/OFF設定します。 0000 N-DEF : 設定しません。 0001 CH1 : アナログCH1エディットプリセットに従います。 0002 CH2 : アナログCH2エディットプリセットに従います。 0003 CH1+2 : アナログCH1またはCH2エディットプリセットに従います。
308 EDIT RPLCE4	セットアップメニューNo.305と同様に、本機のCH4のエディットプリセットを、コントローラで指定したアナログオーディオに従ってON/OFF設定します。 0000 N-DEF : 設定しません。 0001 CH1 : アナログCH1エディットプリセットに従います。 0002 CH2 : アナログCH2エディットプリセットに従います。 0003 CH1+2 : アナログCH1またはCH2エディットプリセットに従います。

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

USERメニュー <EDIT>

No./項目	設定内容
309 EDIT RPLCEC	<p>セットアップメニューNo.305と同様に、本機のCUEのエディットプリセットを、コントローラで指定したアナログオーディオに従ってON/OFF設定します。</p> <p>0000 N-DEF : 設定しません。 0001 CH1 : アナログCH1エディットプリセットに従います。 0002 CH2 : アナログCH2エディットプリセットに従います。 0003 CH1+2 : アナログCH1またはCH2エディットプリセットに従います。</p>
310 CONFI EDIT	<p>編集中に同時再生を行うかどうかを選択します。</p> <p>0000 OFF : 同時再生を行いません。 0001 ON : 同時再生を行います。 <ノート> MODEスイッチの位置が「TAPE」の場合に同時再生が有効になります。</p>
311 AUD EDIT IN	<p>デジタルオーディオ編集IN点の繋ぎ方を選択します。</p> <p>0000 CUT : カット処理 0001 FADE : Vフェード処理</p>
312 AUD EDIT OUT	<p>デジタルオーディオ編集OUT点の繋ぎ方を選択します。</p> <p>0000 CUT : カット処理 0001 FADE : Vフェード処理</p>
313 SD955B AUTO ENTRY	<p>IN点が登録されていない場合に、PREROLLボタンでIN点を登録するかどうかを選択します。</p> <p>0000 DIS : 登録しません。 0001 ENA : 登録します。</p>
314 SD955B CF ADJ SEL	<p>デッキ対デッキ編集時、CF補正するデッキを選択します。</p> <p>0000 PLAYER : プレーヤーのIN/OUT点を補正します。(レコーダー基準) 0001 RECORD : レコーダーのIN/OUT点を補正します。(プレーヤー基準)</p>
315 AFTER CUE-UP	<p>キューアップ動作終了後の本機のモードを選択します。</p> <p>0000 STOP : STOPモードになります。 0001 STILL : 静止画 (SHTL STILL) モードになります。 0002 STILL2 : 静止画 (SLOW STILL) モードになります。</p>

No./項目	設定内容
320 VAR FWD MAX	<p>SLOW FWDの最大速度を設定します。</p> <p>0000 <u>±4.1</u> : +4.1倍速 (+3.1) 0001 +1.85 : +1.85倍速 0002 +1 : +1倍速 <ノート> ● () 内はDV/DVCAMテープ時の速度です。 ● +4.1以外の設定では、編集コントローラからの調相ができません。</p>
321 VAR REV MAX	<p>SLOW REVの最大速度を設定します。</p> <p>0000 <u>-4.1</u> : -4.1倍速 (-3.1) 0001 -1.85 : -1.85倍速 0002 -1 : -1倍速 0003 -0.43 : -0.43倍速 <ノート> () 内はDV/DVCAMテープ時の速度です。</p>
323 JOG FWD MAX	<p>JOG FWDの最大速度を設定します。</p> <p>0000 +4.1 : +4.1倍速 (+3.1) 0001 +1.85 : +1.85倍速 0002 <u>±1</u> : +1倍速 <ノート> ● () 内はDV/DVCAMテープ時の速度です。 ● 本機フロントパネルのダイヤル操作時は、最大+1倍速再生となります。 ● +4.1以外の設定では、JOGコマンドにより調相を行う編集コントローラからの調相ができません。</p>
324 JOG REV MAX	<p>JOG REVの最大速度を設定します。</p> <p>0000 -4.1 : -4.1倍速 (-3.1) 0001 -1.85 : -1.85倍速 0002 -1 : -1倍速 0003 <u>-0.43</u> : -0.43倍速 (-0.5) <ノート> ● () 内はDV/DVCAMテープ時の速度です。 ● 本機フロントパネルのダイヤル操作時は、最大-1倍速再生となります。</p>
325 SD955B POSTROLL TM	<p>ポストロール時間を設定します。 0秒~5秒の間で1秒単位で設定できます。</p> <p>0000 0s 0001 1s 0002 <u>2s</u> 0003 3s 0004 4s 0005 5s</p>

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

USERメニュー <TAPE PROTECT>

No./項目	設定内容
400 STILL TIMER	<p>テープ保護モードになるまでの時間を選択します。</p> <p>STOP、サーチSTILL (JOG/SLOW/SHTL) の状態で放置されたとき、テープ保護モードになるまでの時間を選択します。 (単位 s : 秒、min : 分)</p> <p>0000 0.5s <ノート> 0001 5s ●テープ保護モードはSTEP 0002 10s FWDとHALF LOADINGと 0003 20s があり、STOP時とサーチ 0004 30s STILL時とで、それぞれ設定 0005 40s できます。 0006 50s ●番組送出時等、繰り返し同一 0007 1min 素材使用のときなどには、同 0008 2min 一個所での累計待機時間が長 くになります。 テープ保護のため、同一個所 での待機時間はできるだけ短 く設定することをお勧めしま す。 ●DV/DVCAMテープ使用時に 10s以上を選択しても、 10sで処理されます。</p>
401 SRC PROTECT	<p>テープ保護モードの動作を選択します。</p> <p>サーチSTILL (JOG/SLOW/SHTL) の状態で、セットアップメニューNo.400 (STILLTIMER) で設定した時間が経過すると自動的に本機はテープ保護モードに入りますが、ここではどのようなテープ保護モードにするかを選択します。</p> <p>0000 STEP : STEP FWD 0001 HALF : HALF LOADING</p> <p><ノート> STEP FWDが選択されているときに、STILLの状態で放置された合計時間が30分 (DV/DVCAMテープの場合は1分) になると、自動的にスタンバイOFF (ハーフローディング) モードへ移行します。</p>
402 DRUM STDBY	<p>スタンバイOFF (ハーフローディング) モード時のドラムの動作を選択します。</p> <p>0000 OFF : ドラムの回転は停止します。 0001 ON : ドラムは回転を続けます。</p>
403 STOP PROTECT	<p>テープ保護モードの動作を選択します。</p> <p>STOP状態で、セットアップメニューNo.400 (STILLTIMER) で設定した時間が経過すると自動的に本機はテープ保護モードに入りますが、ここではどのようなテープ保護モードにするかを選択します。</p> <p>0000 STEP : STEP FWD 0001 HALF : HALF LOADING</p> <p><ノート> STEP FWDが選択されているときに、STOPの状態で放置された合計時間が30分 (DV/DVCAMテープの場合は1分) になると、自動的にスタンバイOFF (ハーフローディング) モードへ移行します。</p>

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

USERメニュー <TIME CODE>

No./項目	設定内容														
500 VITC BLANK	<p>セットアップメニューNo.501 (VITC POS-1) とNo.502 (VITC POS-2) で選択された位置に、VITC信号を出力するかどうかを選択します。</p> <p>0000 BLANK : 出力しません。 0001 THRU : 出力します。</p>														
501 VITC POS-1	<p>VITC信号の挿入位置を設定します。</p> <table border="0"> <tr> <td>[525iシステム]</td> <td>[625iシステム]</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">SD955B</td> </tr> <tr> <td>0000 10L</td> <td>0000 7L</td> </tr> <tr> <td>: :</td> <td>: :</td> </tr> <tr> <td>0006 16L</td> <td>0004 11L</td> </tr> <tr> <td>: :</td> <td>: :</td> </tr> <tr> <td>0010 20L</td> <td>0015 22L</td> </tr> </table> <p><ノート> セットアップメニューNo.502 (VITC POS-2) やNo.662 (UMID POS) と同じラインは選択できません。</p>	[525iシステム]	[625iシステム]		SD955B	0000 10L	0000 7L	: :	: :	0006 16L	0004 11L	: :	: :	0010 20L	0015 22L
[525iシステム]	[625iシステム]														
	SD955B														
0000 10L	0000 7L														
: :	: :														
0006 16L	0004 11L														
: :	: :														
0010 20L	0015 22L														
502 VITC POS-2	<p>VITC信号の挿入位置を設定します。</p> <table border="0"> <tr> <td>[525iシステム]</td> <td>[625iシステム]</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">SD955B</td> </tr> <tr> <td>0000 10L</td> <td>0000 7L</td> </tr> <tr> <td>: :</td> <td>: :</td> </tr> <tr> <td>0008 18L</td> <td>0006 13L</td> </tr> <tr> <td>: :</td> <td>: :</td> </tr> <tr> <td>0010 20L</td> <td>0015 22L</td> </tr> </table> <p><ノート> セットアップメニューNo.501 (VITC POS-1) やNo.662 (UMID POS) と同じラインは選択できません。</p>	[525iシステム]	[625iシステム]		SD955B	0000 10L	0000 7L	: :	: :	0008 18L	0006 13L	: :	: :	0010 20L	0015 22L
[525iシステム]	[625iシステム]														
	SD955B														
0000 10L	0000 7L														
: :	: :														
0008 18L	0006 13L														
: :	: :														
0010 20L	0015 22L														
503 TCG REGEN	<p>TCG (タイムコードジェネレーター) がリジエネモードのとき、リジエネする信号を選択します。</p> <p>0000 TC&UB : タイムコード、ユーザーズビット共にリジエネします。 0001 TC : タイムコードのみをリジエネします。 0002 UB : ユーザーズビットのみをリジエネします。</p>														
504 REGEN MODE	<p>本機のコントロールパネルを使用した自動編集で、タイムコードをリジエネするかどうかを選択します。</p> <p>0000 ASSIN : アセンブルまたはインサート編集でリジエネします。 0001 ASSEM : アセンブル編集でリジエネします。 0002 INSRT : インサート編集でリジエネします。 0003 SW : TCGスイッチに従います。</p>														

No./項目	設定内容
505 EXT TC SEL	<p>外部タイムコードを用いる際、使用するタイムコードを選択します。</p> <p>0000 LTC : TIME CODE IN端子のLTCを使用します。 0001 VITC : 入力ビデオ信号のVITCを使用します。</p>
506 BINARY GP	<p>TCGで発生するタイムコードのユーザーズビットの使用状態を設定します。</p> <p>0000 000 : NOT SPECIFIED (キャラクタセットを指定しない) 0001 001 : ISO CHARACTER (ISO646、ISO2022に準拠した8bitキャラクタセット) 0002 010 : UNASSIGNED 1 (未定義) 0003 011 : UNASSIGNED 2 (未定義) 0004 100 : UNASSIGNED 3 (未定義) 0005 101 : PAGE/LINE 0006 110 : UNASSIGNED 4 (未定義) 0007 111 : UNASSIGNED 5 (未定義)</p>
507 PHASE CORR	<p>TIME CODE OUT端子から出力されるLTCの位相補正コントロールを行うかどうかを選択します。</p> <p>0000 OFF : 位相補正コントロールは行いません。 0001 ON : 位相補正コントロールを行います。</p>
508 TCG CF FLAG	<p>TCGのCFフラグをONするかどうかを選択します。</p> <p>0000 OFF : CFフラグをOFFします。 0001 ON : CFフラグをONします。</p>
509 DF MODE	<p>CTLおよびTCGのDF/NDFを選択します。</p> <p>0000 DF : ドロップフレームモード 0001 NDF : ノンドロップフレームモード</p> <p><ノート> ●ドロップフレームモードは、CONTROLスイッチがLOCALの位置になっているときや、セットアップメニューNo.001 (LOCAL ENA) が、「ENA」のときに有効です。 ●625iシステムのときは、このセットアップメニューが表示されません。</p>
510 TC OUT REF	<p>TCGスイッチが「EXT」のとき、外部LTC入力に対してTIME CODE OUT端子から出力されるタイムコードの位相を切り替えます。</p> <p>0000 V OUT : 出力映像に合わせます。 0001 TC IN : 外部タイムコード入力に合わせます。</p>

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

USERメニュー <TIME CODE>

No./項目	設定内容
511 VITC OUT	<p>出力ビデオ信号に重畳するVITCの出力方法を選択します。</p> <p>0000 SBC : 記録時: セットアップメニューNo.505 (EXT TC SEL) の設定およびTCGスイッチで選択された入力タイムコードをVITCとして出力します。 再生時: SBC領域に記録されているタイムコードをVITCとして出力します。</p> <p>0001 VAUX : 記録時: 入力ビデオ信号より検出されたタイムコードをVITCとして出力します。 再生時: VAUX領域に記録されているタイムコードをVITCとして出力します。</p> <p><ノート> 入力ビデオ信号より検出されたタイムコードは映像が記録される際、自動的にVAUX領域に記録されます。</p>
512 TC OUT ADV	<p>TIME CODE OUT端子から出力されるタイムコードの位相を合わせる処理を選択します。</p> <p>通常、TIME CODE OUT端子から出力されるタイムコードは、出力映像と音声に合わせています。外部機器との接続などで入力信号に位相を合わせるモードを選択することができます。</p> <p>0000 OFF : 位相を合わせる処理を行いません。 TIME CODE OUT端子から出力されるタイムコードは、出力映像と音声に合わせてます。</p> <p>0001 EDIT : 編集モード時の再生中や編集中は、TIME CODE OUT端子から出力されるタイムコードを、入力映像や音声に合わせてます。 編集モード以外では、出力映像と音声に合わせてます。</p>
513 RUN MODE	<p>内部タイムコードジェネレーターを歩進させる動作モードを設定します。</p> <p>0000 REC : 記録中のときに歩進させます。</p> <p>0001 FREE : 電源が投入されている間、動作モードに関係なく歩進させます。</p>

No./項目	設定内容
514 VITC GEN	<p>内部タイムコードジェネレーター値をVAUX領域に記録するかどうかを選択します。</p> <p>0000 OFF : 内部タイムコードジェネレーター値をVAUX領域に記録しません。 タイムコードが記録されているビデオ信号を入力したときは、入力信号のタイムコードをVAUX領域に記録します。</p> <p>0001 ON : 内部タイムコードジェネレーター値をVAUX領域に記録します。</p> <p><ノート> INPUT SELECTボタンで入力信号にSDTI/1394が選択されているときは、このメニューの設定に関係なく、入力信号のタイムコードがそのままテープに記録されます。</p>

SBC (Sub Code Data) 領域

ヘリカルトラック上の映像および音声データ領域とは別に存在する領域であり、SMPTE/EBUに準拠したタイムコードが格納されます。従来のLTC (Linear Time Code) と同様に巻き戻し、早送り時にもタイムコードを読むことが可能であり、またテープ停止時でも読み出し可能です。

VAUX (Video Auxiliary Data) 領域

ヘリカルトラック上の映像データ領域内に存在する領域であり、映像データに関連する付加情報が格納されます。

<ノート>

テープ再生時におけるタイムコード/ユーザービットの管理は、SBC領域に記録されているデータで行われます。即ち、フロントパネル中央のカウンタ表示部やスーパーインポーズに表示されているデータ、編集コントローラなどへの通信データはすべてSBC領域に記録されているデータで行われます。

セットアップメニュー

USERメニュー <VIDEO>

No./項目	設定内容
600 INT SG	内部基準信号を選択します。 0001 BB : ブラックバーストを発生させます。 0002 CB100 : 100%カラーバーを発生させます。 0003 CB75 : 75%カラーバーを発生させます。
601 OUT VSYNC	EE/記録/編集の際に、映像出力の位相を入力に合わせるため、映像出力のVシンク位置をフロートさせるかどうかを選択します。 0000 N-VF : フロートさせません。 0001 VF : フロートさせます。
602 V-MUTE SEL	再生中にテープのブランク (空白) 部分が検出された場合、ビデオ出力信号をミュートするかどうかを選択します。 0000 N-MUTE : ミュートしません。(フリーズします。) 0001 LOW RF : ミュートします。(灰色にします。)
603 CC (F1) BLANK	第1フィールドのクローズドキャプション信号のON/OFFを選択します。 0000 BLANK : 強制ブランキングします。 0001 THRU : ブランキングしません。 <ノート> 625iシステムのときは、このセットアップメニューが表示されません。
604 CC (F2) BLANK	第2フィールドのクローズドキャプション信号のON/OFFを選択します。 0000 BLANK : 強制ブランキングします。 0001 THRU : ブランキングしません。 <ノート> 625iシステムのときは、このセットアップメニューが表示されません。
605 FREEZE SEL	静止画面のフリーズ状態を選択します。 0000 FIELD : フィールドフリーズ 0001 FRAME : フレームフリーズ <ノート> FRAMEを選択した場合は、スロー時もフレームスローになります。
606 OUT C KILL	ビデオ出力信号のクロマのカラーキラー処理を選択します。 0000 B/W : カラー信号を出力しません。 0001 COLOR : カラー信号を出力します。

No./項目	設定内容
609 EDH	SDI出力にEDHを重畳するかどうかを選択します。 0000 OFF : 重畳しません。 0001 ON : 重畳します。 <ノート> ONを選択していても、本機フロントパネルのSUPERスイッチがONになっている場合は、SDI OUT 3端子にEDHが重畳されません。
610 PB/Pr IN LV	アナログコンポーネント入力信号のレベルを選択します。 0000 MII : MIIレベル 0001 B-CAM : β -CAMレベル <ノート> ●625iシステムのときは、このセットアップメニューが表示されません。 ●オプションボード (AJ-YA931G) が挿入されていない場合は、表示されません。
611 YC SEP MODE	コンポジット入力信号のY/C分離処理を選択します。 0000 B/W : 白黒信号として処理します。 0001 AUTO : 自動検出として処理します。 <ノート> オプションボード (AJ-YA931G) が挿入されていない場合は、表示されません。
614 PB/Pr OUT LV	アナログコンポーネント出力信号のレベルを選択します。 0000 MII : MIIレベル 0001 B-CAM : β -CAMレベル <ノート> ●625iシステムのときは、このセットアップメニューが表示されません。
618 INTERPOLATE	インターポーレーション動作を選択します。 スロー再生時は自動的に垂直インターポーレーションを行い、再生画像の上下動を軽減しますが、本設定によりインターポーレーション動作を強制的にOFFすることができます。 0000 OFF : 強制的にOFFします。 0001 AUTO : スロー再生時、自動的にONします。

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

USERメニュー <VIDEO>

No./項目	設定内容
620 ESR MODE	再生回路におけるエッジ サブキャリア リダクション (ESR) の動作モードを選択します。 0000 OFF : 強制的にOFFします。 0001 AUTO : VTR動作に応じて自動的にON/OFFされます。
621 CCR MODE	再生時のクロスカラー処理を選択します。 0000 OFF : そのまま出力します。 0001 ON : クロスカラーを軽減することができます。 <ノート> 625iシステムの場合は、このセットアップメニューが表示されません。
624 CC REC	入力信号に多重されたクロズドキャプション信号をテープに記録するかどうかを選択します。 0000 OFF : 記録しません。また、EE出力信号は、ブランキングされます。 0001 ON : 入力信号にクロズドキャプション信号が多重されている場合は記録します。 <ノート> ● 625iシステムの場合は、このセットアップメニューが表示されません。 ● INPUT SELECTボタンで入力信号にSDTI/1394が選択されている場合は、設定に関係なく、入力信号に多重されているクロズドキャプション信号が記録されます。
645 WIDE SELECT	WIDE画面情報をテープに記録するかどうかを選択します。 0001 WIDE : 記録します。 0002 NORMAL : 記録しません。 <ノート> INPUT SELECTボタンで入力信号にSDTI/1394が選択されているときは、このメニューの設定に関係なく、入力信号のWIDE画面情報がそのままテープに記録されます。
660 UMID REC	UMID情報をテープに記録するかどうかを選択します。 0000 OFF : 記録しません。また、EE出力信号は、ブランキングされます。 0001 ON : 記録します。 <ノート> ● INPUT SELECTボタンで入力信号にSDTI/1394が選択されているときは、このメニューの設定に関係なく、入力信号のUMID情報がそのままテープに記録されます。 ● セットアップメニューNo.106 (EE MODE SEL) がTHRUに設定されている場合、EE出力信号のUMID情報はブランキングされます。

No./項目	設定内容
661 UMID GEN	セットアップメニューNo.660 (UMID REC) がONに設定されているときに、テープに記録するUMID情報のBasic UMIDを選択します。 0000 INT : 常に、新しく生成した本機のBasic UMIDを記録します。 0001 EXT : 入力信号のBasic UMIDを記録します。入力信号にBasic UMIDが存在しないときは、新しく生成した本機のBasic UMIDを記録します。 <ノート> テープに記録するUMID情報のSource Packには、このメニューの設定に関係なく、入力信号のSource Packが記録されます。
662 UMID POS	UMID情報を重畳するラインを設定します。 [525iシステム] [625iシステム] SD955B 0000 BLANK 0000 BLANK 0001 12L 0001 8L : : : : 0006 17L 0010 17L : : : : 0008 19L 0015 22L <ノート> セットアップメニューNo.501 (VITC POS-1) とNo.502 (VITC POS-2) で設定したラインは選択できません。

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

USERメニュー <AUDIO>

No./項目	設定内容
701 CH1 IN LV	オーディオ入力 (CH1) の基準レベル切り替えを選択します。 0000 4dB 0001 0dB 0002 -20dB
702 CH2 IN LV	オーディオ入力 (CH2) の基準レベル切り替えを選択します。 0000 4dB 0001 0dB 0002 -20dB
703 CH3 IN LV	オーディオ入力 (CH3) の基準レベル切り替えを選択します。 0000 4dB 0001 0dB 0002 -20dB
704 CH4 IN LV	オーディオ入力 (CH4) の基準レベル切り替えを選択します。 0000 4dB 0001 0dB 0002 -20dB
706 CH1 OUT LV	オーディオ出力 (CH1) の基準レベル切り替えを選択します。 0000 4dB 0001 0dB 0002 -20dB
707 CH2 OUT LV	オーディオ出力 (CH2) の基準レベル切り替えを選択します。 0000 4dB 0001 0dB 0002 -20dB
708 CH3 OUT LV	オーディオ出力 (CH3) の基準レベル切り替えを選択します。 0000 4dB 0001 0dB 0002 -20dB
709 CH4 OUT LV	オーディオ出力 (CH4) の基準レベル切り替えを選択します。 0000 4dB 0001 0dB 0002 -20dB

No./項目	設定内容
711 MONIL OUT LV	オーディオモニター出力 (Lch) の基準レベル切り替えを選択します。 0000 4dB 0001 0dB 0002 -20dB
712 MONIR OUT LV	オーディオモニター出力 (Rch) の基準レベル切り替えを選択します。 0000 4dB 0001 0dB 0002 -20dB
713 MONI OUT	オーディオモニター出力の音量を、ヘッドホン用の音量調整つまみに連動させるか連動させないかを選択します。 0000 UNITY : 音量調整つまみの位置に関係なく、固定されたレベルで出力します。 0001 VAR : 音量調整つまみに連動します。
715 CH1 IN SEL	本体INPUT SELECTのAUDIOボタンで、USER SETを選択した場合のCH1入力を選択します。 0000 ANA : アナログ入力 0001 DIGI : デジタル入力
716 CH2 IN SEL	本体INPUT SELECTのAUDIOボタンで、USER SETを選択した場合のCH2入力を選択します。 0000 ANA : アナログ入力 0001 DIGI : デジタル
717 CH3 IN SEL	本体INPUT SELECTのAUDIOボタンで、USER SETを選択した場合のCH3入力を選択します。 0000 ANA : アナログ入力 0001 DIGI : デジタル入力
718 CH4 IN SEL	本体INPUT SELECTのAUDIOボタンで、USER SETを選択した場合のCH4入力を選択します。 0000 ANA : アナログ入力 0001 DIGI : デジタル入力
719 D IN SEL12	本体INPUT SELECTのAUDIOボタンで、USER SETを選択した場合のCH1およびCH2のデジタル入力を選択します。 0000 AES : AES/EBU入力 0001 SIF : SDI入力
720 D IN SEL34	本体INPUT SELECTのAUDIOボタンで、USER SETを選択した場合のCH3およびCH4のデジタル入力を選択します。 0000 AES : AES/EBU入力 0001 SIF : SDI入力

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

USERメニュー <AUDIO>

No./項目	設定内容
721 MONI CH SEL	<p>モニター出力の選択を行います。</p> <p>0000 MANU : MONITOR SELECTボタンで選択されている 信号を出力します。</p> <p>0001 AUTO : -0.43 (-0.5) ~ +1 倍速の範囲はPCM AUDIO出力し、それ以外の速度では自動的に CUEを出力します。</p> <p><ノート> ()内はDV/DVCAMテープ時の速度です。</p> <p>0002 PCM : -10~+10倍速の範囲はPCM AUDIOを出力 します。</p> <p><ノート> 本機フロントパネルのMONITOR SELECTボタ ンのL/RでCH1、CH2、CH3、CH4を選択し ている場合に有効です。 (CUEを選択している場合は、上記メニュー設定 に関係なく、すべてのスピードにおいてCUEが 出力されます。)</p>
722 REC CH1	<p>オーディオのCH1トラックに記録する入力信号 を選択します。</p> <p>0000 CH1 : オーディオ入力のCH1 0001 CH2 : オーディオ入力のCH2 0002 CH1+2 : オーディオ入力のCH1とCH2 のミックス信号</p>
723 REC CH2	<p>オーディオのCH2トラックに記録する入力信号 を選択します。</p> <p>0000 CH1 : オーディオ入力のCH1 0001 CH2 : オーディオ入力のCH2 0002 CH1+2 : オーディオ入力のCH1とCH2 のミックス信号</p>
724 REC CH3	<p>オーディオのCH3トラックに記録する入力信号 を選択します。</p> <p>0000 CH3 : オーディオ入力のCH3 0001 CH4 : オーディオ入力のCH4 0002 CH3+4 : オーディオ入力のCH3とCH4 のミックス信号</p>
725 REC CH4	<p>オーディオのCH4トラックに記録する入力信号 を選択します。</p> <p>0000 CH3 : オーディオ入力のCH3 0001 CH4 : オーディオ入力のCH4 0002 CH3+4 : オーディオ入力のCH3とCH4 のミックス信号</p>

No./項目	設定内容
726 REC CUE	<p>CUEに記録する入力信号を選択します。</p> <p>0001 CH1 : オーディオ入力のCH1 0002 CH2 : オーディオ入力のCH2 0003 CH1+2 : オーディオ入力のCH1とCH2のミックス信号 0004 CH3 : オーディオ入力のCH3 0005 CH4 : オーディオ入力のCH4 0006 CH3+4 : オーディオ入力のCH3とCH4のミックス信号 0007 CH1~4 : オーディオ入力のCH1、CH2、CH3、CH4 のミックス信号</p>
727 PB FADE	<p>再生時に、音声編集点 (IN点、OUT点) の処理 をどのように行うかを選択します。</p> <p>0000 AUTO : 記録時の状態に従います。 0001 CUT : 強制CUT 0002 FADE : 強制FADE</p>
728 EMBEDDED AUD	<p>SDI出力にオーディオデータを重畳するかどうか を選択します。</p> <p>0000 OFF : 重畳しません。 0001 ON : 重畳します。</p>
731 CUE OUT SEL	<p>サーチモード時、本線系出力にCUEを出力する かを選択します。</p> <p>0000 OFF : CUEを出力しません。 0001 ON : CUEを出力します。</p> <p><ノート></p> <ul style="list-style-type: none"> ●セットアップメニューNo.721 (MONI CH SEL) でMANU以外を選択した場合に限り ます。 ●セットアップメニューNo.735 (MON AUTO SEL) の選択により、CUEが出力さ れる本線系出力チャンネルが異なります。 L/R選択時: CH1~CH4にCUEが出力されます。 L選択時: CH1、CH3にCUEが出力されます。 R選択時: CH2、CH4にCUEが出力されます。 ●セットアップメニューNo.721 (MONI CH SEL) でPCMを選択した場合は、PCM出 力となります。
733 CUE OUT	<p>モニター出力にCUEを選択したときの、出力画 とCUE出力のタイミングを選択します。</p> <p>0000 NORMAL : 出力画にタイミングを合わせま す。 0001 DIRECT : テープ上に記録されたものを遅 延なしで出力します。</p> <p><ノート> DIRECT選択時は、出力画とCUE出力のタイミ ングは合いません。</p>

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

USERメニュー <AUDIO>

No./項目	設定内容
734 MONI SEL INH	フロントパネルのMONITOR SELECTボタン操作の許可/禁止を選択します。 0000 OFF : 操作が可能になります。 0001 ON : 操作が禁止されます。 0002 ON1 : FULL表示モード時は操作が禁止され、FINE表示モード時のみ操作が可能になります。
735 MON AUTO SEL	モニター出力がCUEに切り替わるチャンネルを選択します。 セットアップメニューNo.721 (MONI CH SEL) でAUTOを選択した場合、動作モードに応じて自動でモニター出力にCUEが出力されますが、自動でCUEに切り替わるモニターチャンネルを選択します。 0000 L/R : Lch/Rch両方にCUEを出力します。 0001 L : LchのみにCUEを出力します。 0002 R : RchのみにCUEを出力します。

No./項目	設定内容
750 DV PB ATT	DVテープを再生しているとき、オーディオ出力レベルに対する減衰を選択します。 0000 OFF : オーディオ出力レベルを減衰しません。 0001 ON : オーディオ出力レベルを減衰します。
751 REC PT MUTE	DVテープやDVCAMテープを再生しているとき、記録されている信号の繋ぎ目での、オーディオ信号に対するミュート処理を選択します。 0000 OFF : ミュートしません。 0001 ON : ミュートします。

_____ は、工場出荷モードです。

<サーチモード時のPCM, CUE出力について>

メニュー設定 (No.721、No.731、No.735) の組み合わせにより、モニターおよび本線系へのPCM, CUE出力は下表のようになります。

731 CUE OUT SEL	721 MONI CH SEL	735 MON AUTO SEL	モニター出力		本線系出力			
			Lch	Rch	CH1	CH2	CH3	CH4
OFF	MANU	---	PCM*1	PCM*1	PCM*1	PCM*1	PCM*1	PCM*1
	AUTO	L/R	CUE	CUE				
		L	CUE	PCM*1				
		R	PCM*1	CUE				
PCM	---	PCM*2	PCM*2	PCM*2	PCM*2	PCM*2	PCM*2	
ON	MANU	---	PCM*1	PCM*1	PCM*1	PCM*1	PCM*1	PCM*1
	AUTO	L/R	CUE	CUE	CUE	CUE	CUE	CUE
		L	CUE	PCM*1	CUE	PCM*1	CUE	PCM*1
		R	PCM*1	CUE	PCM*1	CUE	PCM*1	CUE
PCM	---	PCM*2	PCM*2	PCM*2	PCM*2	PCM*2	PCM*2	

<ノート>

*1 : PCMオーディオ出力は、-0.43~+1倍速の範囲外で再生した場合はミュートされます。

*2 : PCMオーディオ出力は、-10~+10倍速の範囲外で再生した場合はミュートされます。

AUTOを選択した場合は、自動でCUEが出力されるモードであっても、-0.43~+1倍速の範囲であればPCMが出力されます。

セットアップメニュー

USERメニュー <V BLANK>

No./項目	設定内容
801	記録する追加ラインのモードを選択します。
ADD LINE 50	<p>0000 OFF : 追加ラインを記録しません。</p> <p>0001 <u>YC422</u> : 422を2ライン記録します。</p> <p>0002 <u>Y4_B/W</u> : YのみをDIRECTで4ライン記録します。</p> <p>0003 <u>Y4_BPF</u> : YのみをYC分離後4ライン記録します。</p> <p>0004 <u>C4</u> : Cのみを4ライン記録します。</p> <p><ノート></p> <ul style="list-style-type: none"> ●0001 (YC422) ~0004 (C4) を選択してSTOPボタンを押すと、サブ画面に移り、記録するラインを選択できます。サブ画面から戻るには、再度STOPボタンを押します。 ●設定内容は、システムフォーマットが50Mbpsの場合に有効となります。
サブ画面	
00 REC LINE1	<p>記録する追加ラインを選択します。</p> <p>[525iシステム] [625iシステム]</p> <p> SD955B</p> <p>0000 10L 0000 7L</p> <p> : : : :</p> <p>0012 22L 0015 22L</p> <p>0013 263L 0016 320L</p> <p>0014 273L : :</p> <p> : : 0031 335L</p> <p>0025 284L 0032 623L</p> <p>0026 525L</p>
01 REC LINE2	<p>記録する追加ラインを選択します。</p> <p>[525iシステム] [625iシステム]</p> <p> SD955B</p> <p>0000 10L 0000 7L</p> <p> : : : :</p> <p>0012 22L 0015 22L</p> <p>0013 263L 0016 320L</p> <p>0014 273L : :</p> <p> : : 0018 322L</p> <p>0016 275L : :</p> <p> : : 0031 335L</p> <p>0025 284L 0032 623L</p> <p>0026 525L</p>

No./項目	設定内容
02 REC LINE3	<p>記録する追加ラインを選択します。</p> <p>[525iシステム] [625iシステム]</p> <p> SD955B</p> <p>0000 10L 0000 7L</p> <p> : : : :</p> <p>0003 13L 0003 10L</p> <p> : : : :</p> <p>0012 22L 0015 22L</p> <p>0013 263L 0016 320L</p> <p>0014 273L : :</p> <p> : : 0031 335L</p> <p>0025 284L 0032 623L</p> <p>0026 525L</p> <p><ノート></p> <p>追加ラインのモードが1に設定されている場合は、表示されません。</p>
03 REC LINE4	<p>記録する追加ラインを選択します。</p> <p>[525iシステム] [625iシステム]</p> <p> SD955B</p> <p>0000 10L 0000 7L</p> <p> : : : :</p> <p>0012 22L 0015 22L</p> <p>0013 263L 0016 320L</p> <p>0014 273L : :</p> <p> : : 0019 323L</p> <p>0017 276L : :</p> <p> : : 0031 335L</p> <p>0025 284L 0032 623L</p> <p>0026 525L</p> <p><ノート></p> <p>追加ラインのモードが1に設定されている場合は、表示されません。</p>
802	<p>記録するテレテキスト信号の種類を選択します。</p> <p>TELETEXT SEL</p> <p>0000 <u>MOJI</u> : MOJI方式</p> <p>0001 <u>NABTS</u> : NABTS方式</p> <p><ノート></p> <ul style="list-style-type: none"> ●625iシステムのときは、このセットアップメニューが表示されません。 ●NABTS方式を選択した場合、テレテキスト信号を検出するときに、誤ってVITC信号をテレテキスト信号として検出することがあります。このときは、セットアップメニュー No.803 (TELETEXT DET) の設定でMANUを選択し、テレテキスト信号を記録するラインを設定してください。

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

USERメニュー <V BLANK>

No./項目	設定内容
803 TELETEXT DET	<p>テレテキスト信号を記録するラインの検出方法を選択します。</p> <p>0000 OFF : テレテキスト信号を記録しません。</p> <p>0001 AUTO : テレテキスト信号を自動的に検出し記録します。</p> <p>0002 MANU : テレテキスト信号を記録するラインを選択し設定します。</p> <p><ノート></p> <ul style="list-style-type: none"> ● テレテキストの記録できるライン数は、セットアップメニューNo.800 (ADD LINE 25) またはNo.801 (ADD LINE 50) で確定した記録ライン数に従って異なります。 ["TELETEXTの設定可能ライン数" (53ページ) を参照] ● MANUを選択し、STOPボタンを押すとサブ画面に移り、記録するラインを選択できます。サブ画面から戻る場合は、再度STOPボタンを押します。 ● 入力信号がノンスタンダード信号の場合や、セットアップメニュー No.303 (STD/NON-STD) の設定で N-STD に設定されている場合には、EEモード時のテレテキスト信号は、正しく再生されません。
サブ画面	
[525iシステム] 00 REC LINE1 : 12 REC LINE13	<p>テレテキスト信号の記録するラインを選択します。</p> <p>[525iシステム] [625iシステム] SD955B</p> <p>0000 OFF 0000 OFF 0001 10&273 0001 7&320 0002 11&274 0002 8&321 0003 12&275 0003 9&322 0004 13&276 0004 10&323 0005 14&277 0005 11&324 0006 15&278 0006 12&325 0007 16&279 0007 13&326 0008 17&280 0008 14&327 0009 18&281 0009 15&328 0010 19&282 0010 16&329 0011 20&283 0011 17&330 0012 21&284 0012 18&331 0013 22 0013 19&332 0014 20&333 0015 21&334 0016 22</p>
[625iシステム] SD955B 00 REC LINE1 : 14 REC LINE15	<p>0000 11&274 0002 8&321 0003 12&275 0003 9&322 0004 13&276 0004 10&323 0005 14&277 0005 11&324 0006 15&278 0006 12&325 0007 16&279 0007 13&326 0008 17&280 0008 14&327 0009 18&281 0009 15&328 0010 19&282 0010 16&329 0011 20&283 0011 17&330 0012 21&284 0012 18&331 0013 19&332 0014 20&333 0015 21&334 0016 22</p>

No./項目	設定内容
804 BLANK LINE	<p>ビデオ出力信号の垂直ブランキング期間のブランキングON/OFFを選択します。</p> <p>0000 BLANK : 全ライン強制ブランキングします。</p> <p>0001 THRU : 全ラインブランキングしません。</p> <p>0002 MANU : 各ラインごとにブランキングのON/OFFを選択します。</p> <p><ノート> MANU設定時、STOPボタンを押すとサブ画面に映り、各ラインに対してON/OFFを選択できます。サブ画面から戻るには、再度STOPボタンを押します。</p>
サブ画面	
[525iシステム] 00 LINE 10&273 : 11 LINE 21&284	<p>0000 BLANK : 強制ブランキングします。 0001 THRU : ブランキングしません。</p>
[625iシステム] SD955B 00 LINE 7&320 : 15 LINE 22&335	
805 22&285 BLANK	<p>ビデオ信号の22 (285) ラインの出力方法を選択します。</p> <p>0000 OFF : ブランキングしません。 0001 ON : ブランキングします。</p>

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

USERメニュー <MENU>

No./項目	設定内容
A00 LOAD	<p>USER1へロードするユーザーファイルを選択します。</p> <p>0000 USER2 : USER2の内容をロードします。</p> <p>0001 USER3 : USER3の内容をロードします。</p> <p>0002 USER4 : USER4の内容をロードします。</p> <p>0003 USER5 : USER5の内容をロードします。</p> <p><ノート> ロード操作を行った後、SETボタンを押すと設定値が記憶されます。MENUボタンを押すと設定値は変更されません。</p>
A01 SAVE	<p>USER1の設定をセーブするユーザーファイルを選択します。</p> <p>0000 USER2 : USER2へセーブします。</p> <p>0001 USER3 : USER3へセーブします。</p> <p>0002 USER4 : USER4へセーブします。</p> <p>0003 USER5 : USER5へセーブします。</p> <p>0004 LOCKED : すべてのユーザーファイルが、変更禁止状態の場合に表示します。</p> <p><ノート> ● 変更禁止に設定されているユーザーファイルは選択できません。 ● すべてのユーザーファイルが変更禁止状態の場合、「LOCKED」表示となり、セーブ操作はできません。</p>
A02 P. ON LOAD	<p>電源投入時に、選択したユーザーファイルの内容をUSER1へロードし、USER1の設定で起動します。</p> <p>0000 OFF : 前回設定したユーザーファイルで起動します。</p> <p>0001 USER2 : USER2の内容をUSER1へロードし起動します。</p> <p>0002 USER3 : USER3の内容をUSER1へロードし起動します。</p> <p>0003 USER4 : USER4の内容をUSER1へロードし起動します。</p> <p>0004 USER5 : USER5の内容をUSER1へロードし起動します。</p>
A03 MENU LOCK	<p>ユーザーファイル (USER2~USER5) のロックモードの設定/解除を選択します。</p> <p>0000 OFF : ロック解除 (変更可能)</p> <p>0001 ON : ロック設定 (変更禁止)</p> <p><ノート> USER1のロック設定はできません。</p>

<ノート>

- No.A00 (LOAD)、No.A01 (SAVE)、No.A02 (P.ON LOAD) は、USER1のみ設定可能な項目です。USER2~USER5では表示されません。
- No.A03 (MENU LOCK) は、USER2~USER5のみ設定可能な項目です。USER1では表示されません。

_____ は、工場出荷モードです。

タイムコード/ユーザーズビットについて

タイムコード

タイムコードは、タイムコードジェネレーター（タイムコード信号発生器）によって発生されるタイムコード信号をテープ上に記録し、タイムコードリーダー（タイムコード信号読取器）でその値を読み取り、テープの絶対位置を時：分：秒：フレーム単位で表示するときに表示します。

タイムコードは、ヘリカルトラックのサブコード領域（データ領域）に書き込まれます。

このために、タイムコードだけを独立してインサート編集が行えます。また、VTRの再生速度が停止モード ▶ スロー再生 ▶ 高速再生（約50倍速、ただしDVCPROテープ使用時は約100倍速）まで読み取ることができます。

タイムコード値はディスプレイやスーパーインポーズで表示されます。

TCR 00 : 07 : 04 : 24
↑ ↑ ↑ ↑
時 分 秒 フレーム

ユーザーズビット

ユーザーズビットは、タイムコード信号のうちでユーザーに開放された32ビット（8桁）の情報枠のことです。オペレータナンバーなどを記録することができます。

ユーザーズビットに使用できる数字（文字）は0～9とA B C D E Fです。

内部タイムコードの設定

1 VTRを停止モードにします。

2 COUNTERボタンで「TC」を選択します。

3 セットアップメニューNo.513（RUN MODE）でタイムコードジェネレーターの歩進方法を設定します。

REC :

記録中のときに歩進させます。

FREE :

電源が投入されている間、動作モードに関係なく歩進させます。

4 TCGスイッチでリジェネモードを設定します。

REGEN :

編集前の下地のTCの連続性を保ちます。

（メニュー設定で、詳細な設定もできますので参照してください。）

セットアップメニューNo.503（TCG REGEN）

セットアップメニューNo.504（REGEN MODE）

PRESET :

TC PRESET ボタンで設定された値から記録を開始します。

- 自動編集時は、PRESETの位置でもメニューNo.504の設定によりリジェネします。

5 TC PRESET ボタンを使ってタイムコード/ユーザーズビットの開始番号を設定します。

① TC PRESET ボタンを押します。

左端の桁が点滅します。

② サーチボタンを押しながらサーチダイヤルを回して値を変更します。

③ サーチダイヤルを回して、設定する桁を選択します。選択された桁は点滅します。設定範囲は次のとおりです。

- タイムコード

[525i システム]

00:00:00:00 - 23:59:59:29

[625i システム] **SD955B**

00:00:00:00 - 23:59:59:24

- ユーザーズビット

00:00:00:00 - FF FF FF FF

④ ステップ②と③を繰り返して、値を変更します。

⑤ 開始番号の設定が終わると、SET ボタンを押します。

「FREE RUN」モードの場合には、タイムコードを歩進します。

⑥ 記録または編集を行います。

タイムコード/ユーザーズビットについて

外部タイムコードの設定

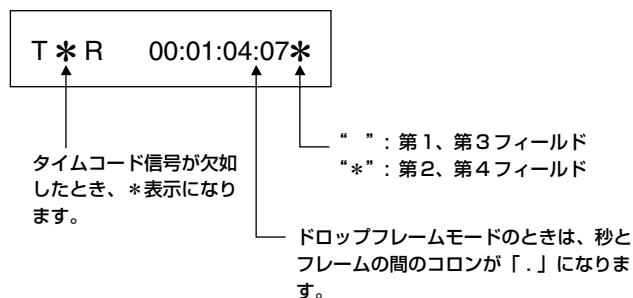
- 1 VTR を停止モードにします。
- 2 COUNTER ボタンで「TC」を選択します。
- 3 TCG スイッチの位置を「EXT」にします。(外部タイムコードの選択)
- 4 セットアップメニュー No.505 (EXT TC SEL) で以下の設定ができます。
LTC :
リアパネルの TIME CODE IN 端子 (XLR) に入力される LTC 信号が、TC として記録されます。
<ノート>
LTC は、ビデオ信号と同期している必要があります。
VITC :
入力ビデオ信号の VITC が TC として記録されます。

タイムコード/ユーザーズビットの再生

- 1 VTR を停止モードにします。
- 2 COUNTER ボタンで「TC」または、「UB」を選択します。
- 3 PLAY ボタンを押します。
再生が開始され、タイムコードがディスプレイに表示されます。
SUPER スイッチの位置が「ON」の場合、VIDEO OUT 3 / SDI OUT3 端子からの映像信号に、タイムコード値がスーパーインポーズされます。

<ノート>

タイムコード信号が欠如したときには、CTL 信号で自動的に補います。ディスプレイは、以下のようになります。



スーパーインポーズ画面

コントロール信号やタイムコードなどが略称文字で表示されます。



省略文字

- CTL : コントロール信号のカウント値
- TCR : SBC 領域に記録されたタイムコードデータ
- TCR. : VAUX 領域に記録されたタイムコードデータ
- UBR : SBC 領域に記録されたユーザズビットデータ
- UBR. : VAUX 領域に記録されたユーザズビットデータ
- TCG : タイムコードジェネレータのタイムコードデータ
- UBG : タイムコードジェネレータのユーザズビットデータ

<ノート>

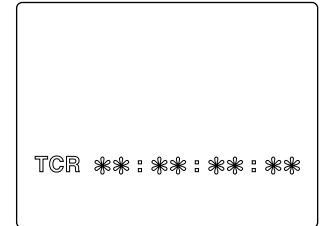
「T*R」 「T*R.」 「U*R」 「U*R.」 は、データがテープから正しく読み取れなかったときに表示します。

表示文字

スーパーインポーズの表示文字は、セットアップメニュー No.011 (CHARA TYPE) で文字の背影を変えることができます。



モニターテレビ



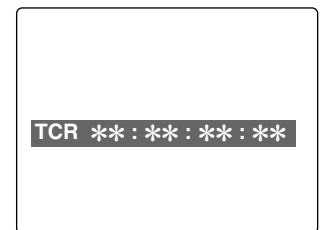
モニターテレビ

表示位置

スーパーインポーズの表示位置はセットアップメニュー No. 009 (CHARA H-POS) と No. 010 (CHARA V-POS) で変えることができます。



モニターテレビ



モニターテレビ

動作モード

セットアップメニュー No.008 (DISPLAY SEL) でVTRの動作モードも表示されます。



モニターテレビ

VTR動作モード

出力映像信号とサーボのリファレンス

出力信号とサーボ用のリファレンス（基準）信号がどのように選択されるかを説明します。

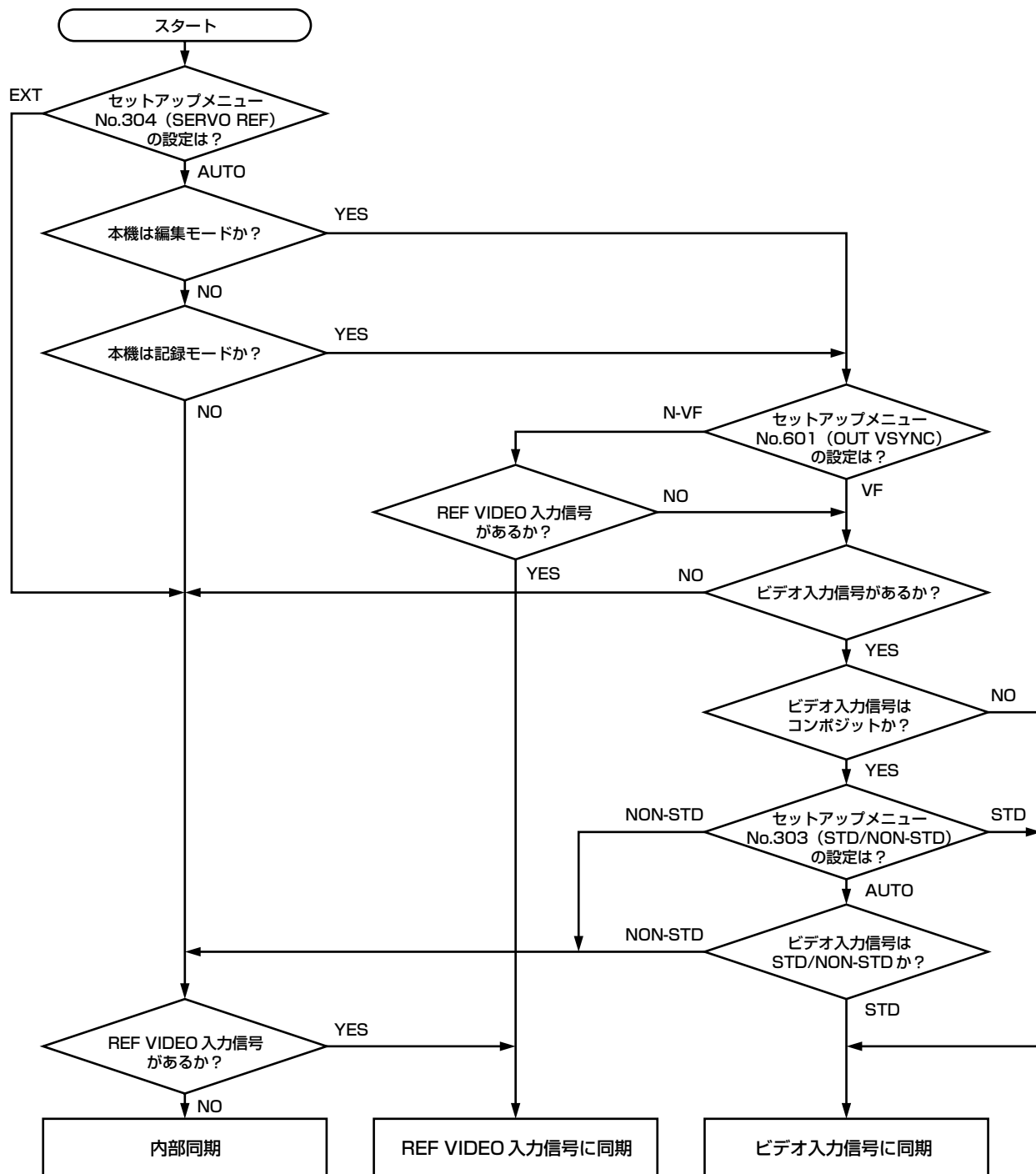
出力映像信号の外部同期

出力映像信号は、REF VIDEO 入力信号または、ビデオ入力信号に同期して出力されます。下図のようにセットアップメニューの設定、VTRのモード、ビデオ入力信号の有無に応じて選択されます。

<ノート>

セットアップメニュー No.600 (INT SG) で BB, CB100 または CB75 を選択した場合は、REF VIDEO 入力信号の有無により、次のようになります。

- REF VIDEO 入力信号がある場合：
REF VIDEO 入力信号に同期
- REF VIDEO 入力信号がない場合：
内部同期



出力映像信号とサーボのリファレンス

サーボ用リファレンス信号

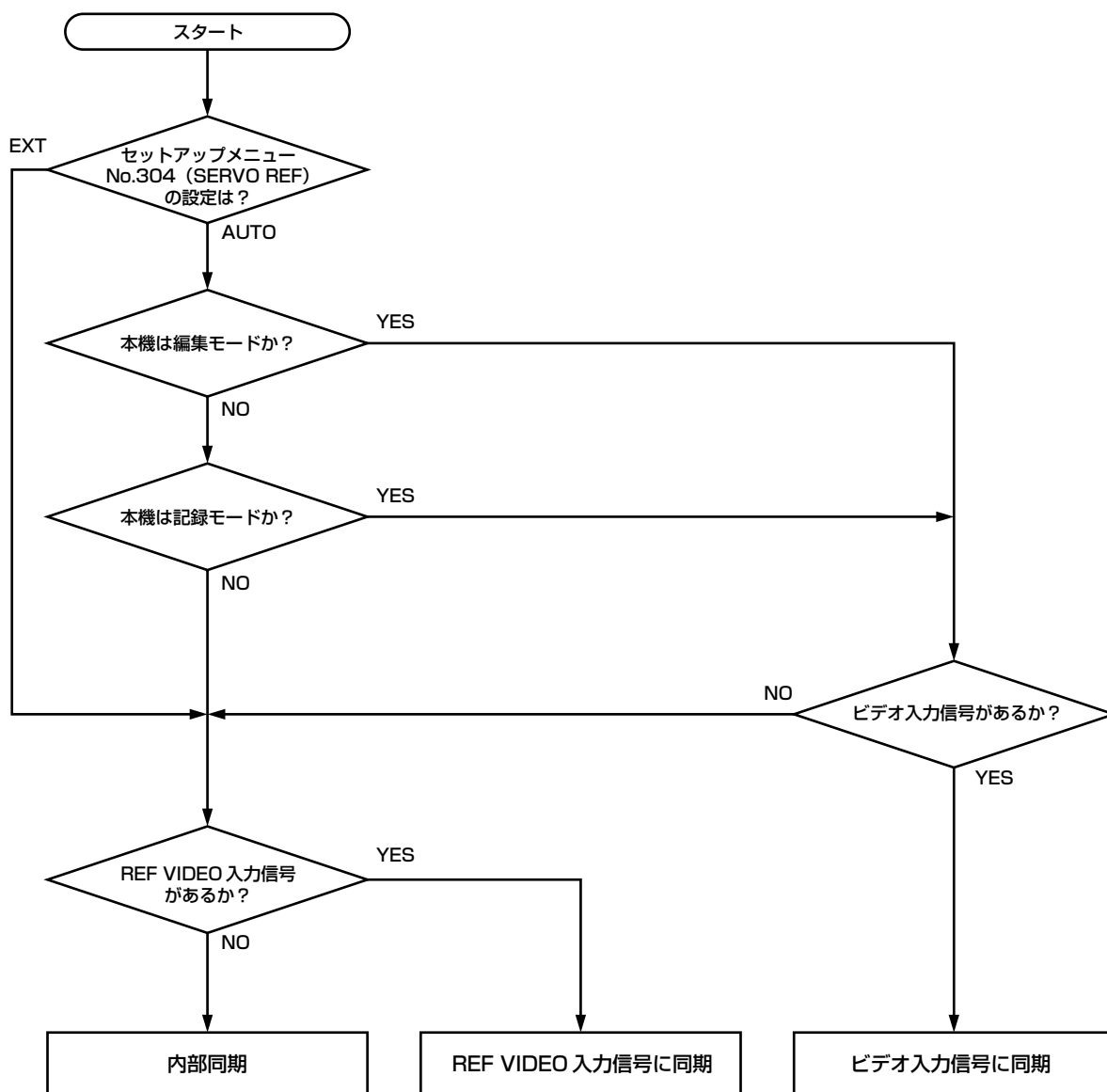
サーボ用のリファレンス信号として REF VIDEO 入力信号、ビデオ入力信号が選択されます。

下図のようにセットアップメニューの設定、VTR のモード、ビデオ入力信号の有無に応じて選択されます。

<ノート>

セットアップメニュー No.600 (INT SG) で BB、CB100 または、CB75 を選択した場合は、REF VIDEO 入力信号の有無により、次のようになります。

- REF VIDEO 入力信号がある場合：
REF VIDEO 入力信号に同期
- REF VIDEO 入力信号がない場合：
内部同期



音声Vフェード機能

編集時、編集点の繋ぎ方の選択（セットアップメニューNo.311、312）の情報をテープ上に記録し、再生時にその情報を感知しその部分を自動的にVフェード／カット処理します。

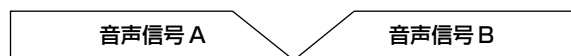
ただし、再生フェード選択（No.727）がAUTOの場合に限ります。

編集点の繋ぎ方の選択（セットアップメニューNo.311、312）がCUTの場合



↑
編集の繋ぎ目でノイズが出ます。

編集点の繋ぎ方の選択（セットアップメニューNo.311、312）がFADEの場合



↑
瞬間的にVフェードにして、ノイズを消します。

<ノート>

- 再生フェード選択（No.727）がCUTの場合、すべての繋ぎ目がCUTになります。
- 再生フェード選択（No.727）がFADEの場合、すべての繋ぎ目がVフェードします。

音声の記録チャンネルとモニター出力の選択

音声の記録チャンネル

AUDIO のセットアップメニューにより、以下のよう
に音声を選択できます。

記録トラック	記録信号
CH1	CH1 入力 / CH2 入力 / CH1 入力 + CH2 入力
CH2	CH1 入力 / CH2 入力 / CH1 入力 + CH2 入力
CH3	CH3 入力 / CH4 入力 / CH3 入力 + CH4 入力
CH4	CH3 入力 / CH4 入力 / CH3 入力 + CH4 入力
CUE	CH1 入力 / CH2 入力 / CH1 入力 + CH2 入力 / CH3 入力 / CH4 入力 / CH3 入力 + CH4 入力 / CH1 入力 + CH2 入力 + CH3 入力 + CH4 入力

モニター出力チャンネル

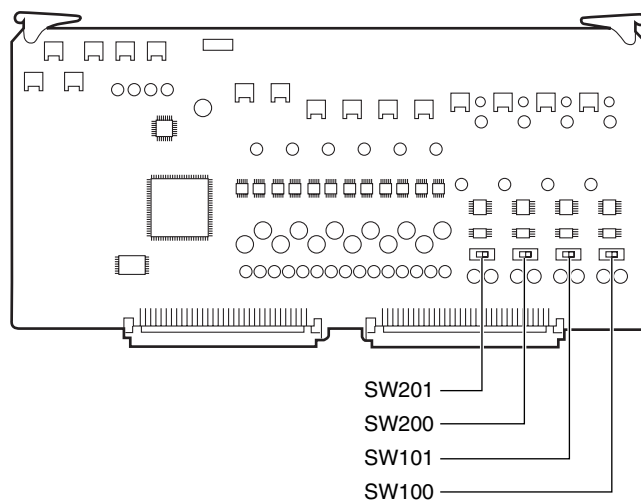
MONITOR SELECT ボタンと MONITOR MIX ボタン
により、以下のように選択できます。

モニター出力	出力信号
L	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH1 + CH2 / CH3 + CH4 / CH1 + CH3 / CH2 + CH4 / CUE
R	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH1 + CH2 / CH3 + CH4 / CH1 + CH3 / CH2 + CH4 / CUE

回路板

F1 基板 (AUDIO)

スイッチ No.	設定目的
SW100	AUDIO INPUT IMPEDANCE SW CH1 の AUDIO 入力インピーダンスを設定しま す。 HIGH/600 Ω
SW101	AUDIO INPUT IMPEDANCE SW CH2 の AUDIO 入力インピーダンスを設定しま す。 HIGH/600 Ω
SW200	AUDIO INPUT IMPEDANCE SW CH3 の AUDIO 入力インピーダンスを設定しま す。 HIGH/600 Ω
SW201	AUDIO INPUT IMPEDANCE SW CH4 の AUDIO 入力インピーダンスを設定しま す。 HIGH/600 Ω



_____ は、工場出荷モードです。

ラックマウント

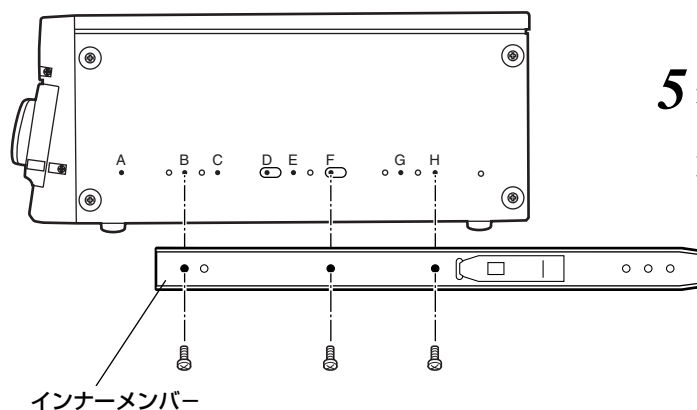
本機はラックマウントアダプタ AJ-MA75P (別売品) をご使用になりますと 19 インチ標準ラックマウントに組み込むことができます。

取り付けレールは、摂津金属工業株式会社製 18 インチレール (品番 C-305-18) とブラケット (品番 RBA2-35) を使用することをお勧めします。

詳しくは購入店にご相談ください。

- 1** スライドレールのインナーメンバーを取り付けます。
ネジ止め位置は、下図を参照してください。

インナーメンバー右 (R) 側のネジ止め位置



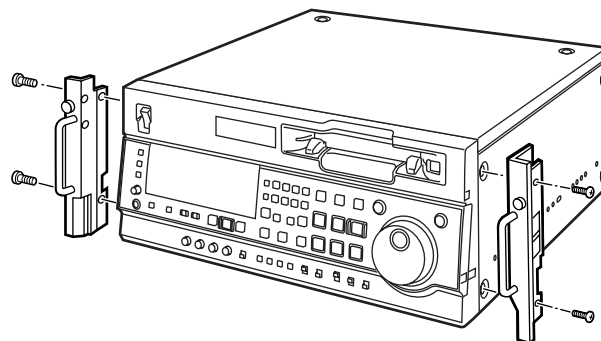
<ノート>

- 使用するネジには、長さの制限があります。
(B、H : 10 mm、F : 6 mm)
- 左 (L) 側も対称の位置で取り付けてください。
- インナーメンバーは、片側 3 個ずつ (計 6 個) のネジで止めてください。
- サイドパネルには、アルファベットの刻印はありません。

- 2** アウターメンバーのブラケットをラックに取り付けます。
左右の高さが同じであることを確認してください。

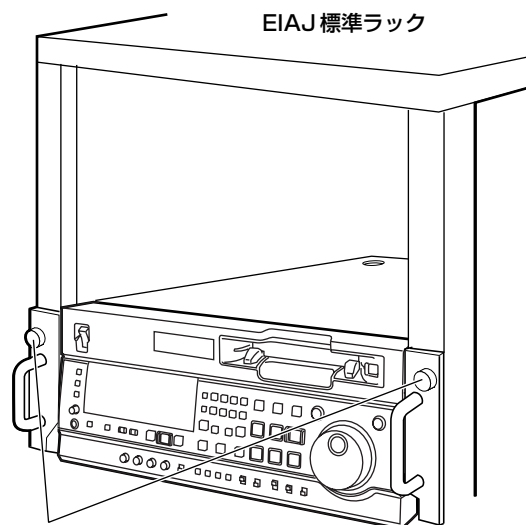
- 3** 左右のサイドパネルを取り付けている、フロント側のネジ 4 本を外します。

- 4** 取り外したネジ 4 個で、ラックマウントアダプタ AJ-MA75P を取り付けます。



ラックマウントアダプター

- 5** 本機底面のゴム足 (4 か所) を外し、本機をラックに取り付けます。
取り付け完了後、レールの上でスムーズに移動できることを確認します。



固定ネジでラックに固定してください。

<ノート>

- ラック内の温度は 5℃～40℃ に保ってください。
- VTR を引き出したときにラックが倒れないように、ラックをしっかりと床にボルトで固定してください。

ビデオヘッドクリーニング

本機には、自動的にヘッドの汚れを軽減するオートヘッドクリーニング機能が付いていますが、より信頼性を高めるために、適時ビデオヘッドを清掃することをお勧めいたします。

なお、具体的なクリーニング方法については、サービス会社または、販売会社にご相談ください。

結露

露つきが起こるのは、暖房された部屋の窓ガラス一面に水滴（露）がつくのと同一原理です。

本機やテープを温度・湿度差の大きいところへ移動したときに起こります。

- 湯気が立ちこめる湿度の多いところや、暖房した直後の部屋へ移動したとき。
- 冷房されているところから急に温度・湿度の高いところへ移動したとき。

このようなところへ移動したときは、すぐ電源を入れずに 10 分程度放置したままお待ちください。

もし、本機に結露が発生したときは、カウンター表示部に“E-20”が点滅表示し、カセットテープは自動的に排出されます。

そのまま、電源を入れた状態で“E-20”の点滅表示が消えるまでお待ちください。

お手入れについて

お手入れ前には、電源スイッチを OFF にし、必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いてください。キャビネットの清掃は、柔らかい布で行ってください。汚れのひどいときは、台所用洗剤をうすめ、布に浸して固く絞ってふきます。

汚れを拭き取ったのち、乾いた布で仕上げを行ってください。

<ノート>

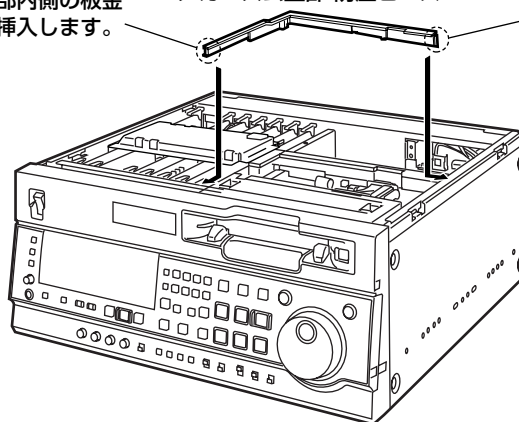
アルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤は使用しないでください。外装部品表面が変色したり、塗装が落ちたりする原因になります。

メカニズム上部 防塵ピースの取り付け方法

② フロントパネル上部内側の板金の下に、突起部を挿入します。

メカニズム上部 防塵ピース

① サイドパネル内側の板金に沿って、突起部を挿入します。



エラーメッセージ

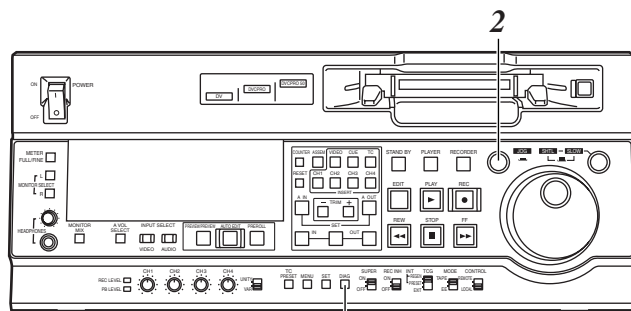
本機にワーニングが発生すると、カウンター表示部にエラー番号を表示します。
ダイアグメニューを開くとカウンタ表示部、モニターテレビにその内容を表示します。また、本機の動作に異常が発生すると、カウンター表示部にエラー番号を点滅表示します。

ダイアグメニュー

VTRの情報を表示します。
VTRの情報にはワーニング情報、アワーメータ（使用時間）情報、UMID情報があります。
モニターテレビとリアパネルのVIDEO OUT 3/SDI OUT 3端子と接続している場合は、モニターテレビにダイアグメニューが出ます。

■ダイアグメニューの表示

- 1 DIAG ボタンを押します。
モニターテレビにダイアグメニューの画面が表示され、カウンター表示部にメッセージがそれぞれ表示されます。
- 2 サーチボタンを押す毎に、「WARNING」▶「HOURS METER」▶「UMID INFO」▶…と表示が切り替わります。
- 3 再度DIAG ボタンを押すと、もとの表示に戻ります。



■ワーニング情報の表示

- ワーニング発生時は、ワーニングメッセージを表示します。
ワーニングが発生していない場合は、「NO WARNING」を表示します。
- 複数のワーニングが発生している場合は、サーチダイヤルを回すと各内容を確認することができます。

エラーメッセージ

■ アワーメータ情報の表示

サーチダイヤルを回すと、カーソル（*）が移動し、カーソルのある項目の内容をカウンター表示部に表示します。

No./項目	設定内容
Ser *****	デッキのシリアルNo.を表示します。
H00 OPERATION	電源が投入されている時間を1時間単位で表示します。
H01 DRUM RUN	ドラムが回転している時間を1時間単位で表示します。
H02 TAPE RUN	FF、REW、PLAY、SEARCH (JOG、SLOW、SHTL) REC、EDITモード時(ただし、JOG、SLOW、SHTL STILLは除く)に、テープが走行している時間を1時間単位で表示します。
H03 THREADING	スレッティング(ローディング) / アンスレッティング(アンローディング)の回数を1回単位で表示します。
H04 F LOADING	フロントローディングの動作回数を1回単位で表示します。
H11 DRUM RUNr	ドラムが回転している時間を1時間単位で表示します。 (リセット可能)
H12 TAPE RUNr	FF、REW、PLAY、SEARCH (JOG、SLOW、SHTL) REC、EDITモード時(ただし、JOG、SLOW、SHTL STILLは除く)に、テープが走行している時間を1時間単位で表示します。 (リセット可能)
H13 THREADINGr	スレッティング(ローディング) / アンスレッティング(アンローディング)の回数を1回単位で表示します。(リセット可能)
H14 F LOADINGr	フロントローディングの動作回数を1回単位で表示します。 (リセット可能)
H30 POWER ON	電源が投入された回数を1回単位で表示します。

< ノート >

- アワーメータ情報のリセット可能な項目は、メンテナンスを行った場合等に販売店によりリセットします。
- ダイアグメニュー表示中は、サーチボタンおよびサーチダイヤルによる操作はできなくなります。

セットアップメニューNo.008 (DISPLAY SEL) でT&S&Mが選択されている場合、ワーニングまたはエラー発生時、モード表示部にメッセージを表示します。

複数発生時は、優先順位の高いものが表示されます。

優先順位	表示と内容
高い ↑	エラーメッセージ (エラーメッセージ表参照) 本機の動作に異常が発生すると、カウンター表示部にエラー番号を点滅表示し、エラーメッセージを表示します。
	INT SG INPUT SELECT ボタンで入力信号にSGを選択している場合に、REC ボタンまたはEDIT ボタンを押すと (E-E モード)、開始2秒間表示されます。編集の開始時2秒間も同様に表示されます。
	NO INPUT アナログオーディオを除き、INPUT SELECT ボタンにより選択されている端子に入力信号がない場合に、REC ボタンまたはEDIT ボタンを押すと (E-E モード)、開始2秒間表示されます。編集の開始2秒間も同様に表示されます。
低い ↓	ワーニングメッセージ (エラーメッセージ表参照) 本機にワーニングが発生すると、カウンター表示部にエラー番号を表示し、ワーニングメッセージを表示します。 複数のワーニングが発生している場合は、優先順位の高いものを表示します。

■ UMID 情報の表示

E-Eモードのときは、入力信号にUMID情報が存在しているときに表示します。

テープ再生時は、テープ上にUMID情報が記録されているときに表示します。

UMID情報が存在しないときは、「NO-INFO」を表示します。

項目	表示と内容
MATNO	素材番号
COPY	インスタンス番号 (コピー回数)
OWNR	国名、組織名、ユーザー名
POS	海拔、経度、緯度、記録時におけるGPS衛星からの受信状態 HOLD : GPS衛星からの信号を受信できない。 2D : 受信衛星数が少ない。海拔情報の精度が出ない。 3D : GPS衛星からの受信が良好。
DTAE	日付
TIME	UTC (協定世界時 : Coordinated Universal Time) とUTCとの時間差

エラーメッセージ

ワーニングメッセージ

優先順位	<ul style="list-style-type: none"> ●表示 ●内容 ●VTRの動作と対処方法
高い ↑	E-04 (UNKNOWN SIG) SDTI入力信号が、DVCPRO/DVフォーマット(データストリームフォーマットが SMPTE 321M 準拠) 以外の場合に表示されます。 VTR : 記録動作不可 <ul style="list-style-type: none"> ●SDTI入力が正しく接続されていることを確認してください。(SDI信号が入力されている場合は、このワーニングが表示されます。)
	E-11 (NOT 1 × 25M SIG) SDTI入力信号が、DVCPRO (25Mbps) フォーマットの1倍速転送信号以外の場合に表示されません。 VTR : 記録動作不可 <ul style="list-style-type: none"> ●SDTI入力信号を確認してください。
	E-12 (NOT 1 × 50M SIG) SDTI入力信号が、DVCPRO50 (50Mbps) フォーマットの1倍速転送信号以外の場合に表示されません。 VTR : 記録動作不可 <ul style="list-style-type: none"> ●SDTI入力信号を確認してください。
	E-16 (INVALID VIDEO SIG) SDTI入力信号の圧縮ビデオ信号が、不正規な場合に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ●ワーニングは記録動作中のみ表示されます。この場合、テープへの記録は行われず、消去動作のみが行われます。 VTR : 動作継続/編集動作不可 <ul style="list-style-type: none"> ●SDTI入力信号を確認してください。記録されていないテープの再生信号が入力されている可能性があります。
	E-17 (INVALID AUDIO SIG) SDTI入力信号のオーディオ信号が、不正規な場合に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ●ワーニングは記録動作中のみ表示されます。この場合、オーディオはミュート記録されます。 VTR : 動作継続/編集動作不可 <ul style="list-style-type: none"> ●SDTI入力信号を確認してください。1倍速再生以外のVTR等から信号が入力されている可能性があります。
	E-18 (INVALID TC SIG) SDTI入力信号のタイムコードが、不正規な場合に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ●ワーニングは記録動作中のみ表示されます。この場合、内部発生されたタイムコードが記録されません。 VTR : 動作継続/編集動作不可 <ul style="list-style-type: none"> ●入力している機器のタイムコードを確認してください。
	E-10 (FAN STOP) ファンモーターが停止した場合に表示します。 VTR : 動作継続 <ul style="list-style-type: none"> ●ファンに異物が入っていないか確認してください。

優先順位	<ul style="list-style-type: none"> ●表示 ●内容 ●VTRの動作と対処方法
↓ 低い	E-09 (NO RF) 再生時、テープのブランク部分を1秒以上検出した場合に表示します。 下記の条件を全て満たしたとき、ブランク部分として認識します。 <ul style="list-style-type: none"> ●全てのヘッド出力がない。 ●再生データが読み取れない。 ●CTLがない。(ただしDV/DVCAMテープを除く。) VTR : 動作継続 <ul style="list-style-type: none"> ●テープを確認してください。記録されていないテープが挿入されている可能性があります。
	E-00 (SERVO NOT LOCKED) 再生、記録、編集時、サーボが3秒以上外れた場合に表示します。 VTR : 動作継続 <ul style="list-style-type: none"> ●テープを確認してください。NTSC方式以外で記録されたテープが挿入されている可能性があります。
	E-01 (LOW RF) 再生、記録、編集時にエンベレベルが通常の約1/3の状態を1秒以上検出した場合に表示します。 VTR : 動作継続 <ul style="list-style-type: none"> ●ビデオヘッドクリーニングを行ってください。
	E-02 (HIGH ERROR RATE) エラーレートが悪化し、ビデオ/オーディオのいずれかの再生信号に修整/補間がかかった場合に表示します。 VTR : 動作継続 <ul style="list-style-type: none"> ●ビデオヘッドクリーニングを行ってください。

エラーメッセージ

エラーメッセージ

表示	●内容 ●VTRの動作と対処方法
E-20 DEW	結露を検出した場合、エラー番号が点滅しEJECTモードへ移行します。EJECT後、結露を除去するためにドラムが回転します。結露が解除されるとエラー表示が消え、VTRは使用可能となります。 ●EJECTモードで結露を検出すると、その時点でドラムが回転します。 ●カセットが挿入されているときに結露を検出すると、ドラムの回転を止め、EJECT後にドラムが回転します。 VTR：EJECT ●電源を入れた状態でお待ちください。
E-29 FRONT LOAD MOTOR	EJECTモードに移行し6秒経過してもカセットアップしない場合、エラー番号が点滅します。 <ノート> カセット挿入後、6秒経過してもカセットダウンにならない場合、EJECTモードに移行します。 VTR：停止 ●POWERスイッチをOFF ➡ ONにしてください。
E-31 LOADING MOTOR	アンローディング動作が6秒以内に完了しない場合、エラー番号が点滅します。 <ノート> ローディング動作が6秒以内に完了しない場合、EJECTモード（アンローディングモード）へ移行します。 VTR：停止 ●POWERスイッチをOFF ➡ ONにしてください。
E-35 SERVO CONTROL ERROR	サーボマイコンからの応答が1秒以上ない場合、エラー番号が点滅します。 VTR：停止 ●POWERスイッチをOFF ➡ ONにしてください。
E-37 SERVO COMM ERROR	サーボマイコンが10秒経過しても、システムコントロールマイコンの指示に従わない場合、エラー番号が点滅します。 VTR：停止 ●POWERスイッチをOFF ➡ ONにしてください。
E-38 SERVO FG ERROR	本機の電源を入れたときに、EJECT状態で行うリールとキャプスタンの回転自動調整が正常に行われなかった場合、エラー番号が点滅します。 VTR：停止 ●POWERスイッチをOFF ➡ ONにしてください。
E-51 FRONT LOAD ERROR	ローディング途中（ハーフポジション）の終始端処理動作で、巻き取り側リールが一定時間空回りした場合、エラー番号が点滅します。 VTR：停止 ●POWERスイッチをOFF ➡ ONにしてください。

表示	●内容 ●VTRの動作と対処方法
E-52 W-UP REEL NOT ROTA	カセット挿入後、テープ総量未検出状態でテープ走行中、テープ巻き取り側リールがテープを巻き取っていない場合、エラー番号が点滅します。 VTR：停止 ●POWERスイッチをOFF ➡ ONにしてください。
E-53 WINDUP ERROR	テープ総量検出後、テープ走行中、巻き取り側リールのテープ巻き取り量と、送り出し側リールのテープ送り出し量が、異常に異なった場合、エラー番号が点滅します。 VTR：停止 ●POWERスイッチをOFF ➡ ONにしてください。
E-55 UNLOAD ERROR	アンローディング時テープを巻き取らなかった場合、エラー番号が点滅します。 VTR：停止 ●POWERスイッチをOFF ➡ ONにしてください。
E-57 S-FF/REW TIMEOVER	終始端処理動作が終了しない場合、エラー番号が点滅します。 VTR：停止 ●POWERスイッチをOFF ➡ ONにしてください。
E-59 DRUM ROTA TOO SLOW	シリンダモータの回転数が異常に低い場合、エラー番号が点滅します。 VTR：停止 ●POWERスイッチをOFF ➡ ONにしてください。
E-60 DRUM ROTA TOO FAST	シリンダモータの回転数が異常に高い場合、エラー番号が点滅します。 VTR：停止 ●POWERスイッチをOFF ➡ ONにしてください。
E-61 CAP ROTA TOO SLOW	キャプスタンモータの回転数が異常に低い場合、エラー番号が点滅します。 VTR：停止 ●POWERスイッチをOFF ➡ ONにしてください。
E-64 S REEL ROTA TOO FAST	Sリールモータの回転数が異常に高い場合、エラー番号が点滅します。 VTR：停止 ●POWERスイッチをOFF ➡ ONにしてください。
E-67 T REEL ROTA TOO FAST	Tリールモータの回転数が異常に低い場合、エラー番号が点滅します。 VTR：停止 ●POWERスイッチをOFF ➡ ONにしてください。

エラーメッセージ

エラーメッセージ

表示	● 内容 ● VTRの動作と対処方法
E-69 T REEL TORQUE ERR	Tリールモータに異常トルクがかかっていることを検出した場合、エラー番号が点滅します。 VTR：停止 ● POWERスイッチをOFF ➡ ONにしてください。
E-70 S REEL TORQUE ERR	Sリールモータに異常トルクがかかっていることを検出した場合、もしくは、電流検出抵抗に異常電流が流れていることを検出した場合、エラー番号が点滅します。 VTR：停止 ● POWERスイッチをOFF ➡ ONにしてください。
E-71 CAP TENSION ERROR	キャプスタンモードでS側テンション異常を検出した場合、エラー番号が点滅します。 VTR：停止 ● POWERスイッチをOFF ➡ ONにしてください。
E-72 REEL TENSION ERROR	リールモードでS側テンション異常を検出した場合、エラー番号が点滅します。 VTR：停止 ● POWERスイッチをOFF ➡ ONにしてください。
E-73 REEL DIR UNMATCH	巻取り側のリールモータが逆転した場合、エラー番号が点滅します。 VTR：停止 ● POWERスイッチをOFF ➡ ONにしてください。
E-74 DRUM TORQUE ERROR	シリンダモータに異常トルクがかかっていることを検出した場合、エラー番号が点滅します。 VTR：停止 ● POWERスイッチをOFF ➡ ONにしてください。
E-78 M-IF COMM ERROR	メカニズム中継基板とサーボマイコンの通信に異常があった場合、エラー番号が点滅します。 VTR：停止 ● POWERスイッチをOFF ➡ ONにしてください。

本機を再起動してもエラーメッセージが表示する場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

RS-232C インターフェース

RS-232C インターフェースを使用することにより、コマンドによる VTR 操作が可能になります。(74、75 ページのコマンド一覧をご参照ください。)

■ RS-232C インターフェースからのコマンド受け付け条件

- フロントパネルの CONTROL SW :
REMOTE
- セットアップメニュー No. 204 (RS232C SEL) :
ON

上記条件が成立していない場合は、外部に対して [ACK]+[STX] EROO1 [ETX] の返答を行います。[ACK] の返信をするかしないかは、セットアップメニュー項目 No.209 「RETURN ACK」 の設定に従います。

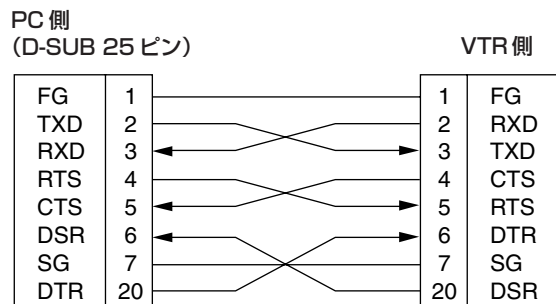
ハードウェア仕様

外部インターフェース仕様

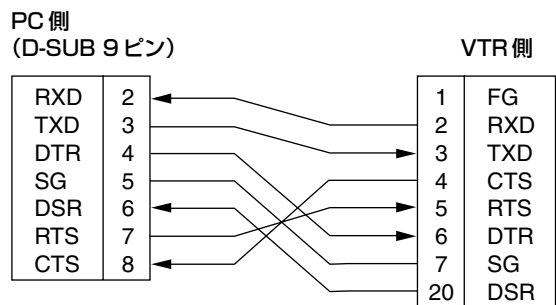
- 端子仕様
コネクター :
D-SUB 25 ピン (クロスケーブル対応)

ピンNo.	信号	内容
1	FG	保安用接地 (フレームグラウンド)
2	RXD	受信データ (PC ヘデータを送信する)
3	TXD	送信データ (PC からデータを受信する)
4	CTS	送信可 (5 番ピンと短絡)
5	RTS	送信要求 (4 番ピンと短絡)
6	DTR	データ端末レディ (未処理)
7	SG	信号用接地 (信号用 GND)
20	DSR	データ・セット・レディ (通信可能状態後正電圧出力)

- コントローラ (PC) との接続例
(D-SUB 25 ピン クロスケーブルを使用)



(D-SUB 9 ピン-25 ピン クロスケーブルを使用)



RS-232C インターフェース

ソフトウェア仕様 (プロトコル)

1. 通信条件

通信方式	調歩同期式・全二重
通信速度	300/600/1200/2400/4800/9600
ビット長	7bit/8 bit
ストップビット	1 bit/2 bit
パリティビット	NONE/ODD/EVEN
ACK コード	返信する/返信しない <ノート> ACKコードとは、コントローラ側から正常なデータの送信があった場合、VTR側からコントローラに対して返信するコードのことです。

_____ は、工場出荷モードです。

設定の変更は、下記のセットアップメニュー項目で変更できます。

通信条件	セットアップメニュー項目
通信速度	No.205 BAUD RATE
ビット長	No.206 DATA LENGTH
ストップビット	No.207 STOP BIT
パリティビット	No.208 PARITY
ACK コード	No.209 RETURN ACK

2. 送信フォーマット

[コントローラ (PC) → VTR]

■ データフォーマット

[STX] [command] [:] [data] [ETX]
02h XX XX XX 3Ah XX……XX 03h

20H<XX<7FH

(XX=ASCIIコード：記号、数字、英大文字)

[command] :

コマンド識別子 (3バイト) です。

コマンドとして3バイトの識別子 (ASCIIコード：記号、数字、英大文字) を送信します。

[:] :

コロンは、コマンドとデータとの区切りを意味するコードです。

[data] :

必要なバイト数のデータ (ASCIIコード：記号、数字、英大文字) を付け加えることができます。

■ コントローラからの送信手順概略

- ①送信コマンドは、STX (START OF TEXT = 02h) で始まります。次に続く COMMANDによりコマンドの識別を行い、必要に応じてデータを付け加えます。
最後に ETX (END OF TEXT = 03h) で終了します。
- ②新たに別のコマンドを送信する場合は、VTRからの応答を待ってから送信します。(74ページ参照)
- ③ETXを送信する前に再度 STXを送信すると、VTR側の内部受信データバッファはクリアされます。コマンドエラーをコントローラへ返信し、再度受信した STXを先頭として、新たにデータ処理を行います。

RS-232C インターフェース

3. 返信フォーマット

[VTR → コントローラ (PC)]

コマンド指示に対して、次の応答を行います。必要に応じて複数の応答を行うこともあります。

■ 通信が正常終了した場合

1. 受信完了メッセージを返信します。

[ACK]
06h

2. 実行完了メッセージを返信します。

[STX] [command] [data] [ETX]
02h XX XX XX XX……XX 03h

[command] :

返信するメッセージ (データ) または、実行完了のメッセージ識別子です。

[data] :

返信するデータです。省略が可能です。

example:

送信コマンド 返信メッセージ (データ)
[STX] OPL [ETX] → [ACK] [STX] OPL [ETX]

■ 通信が異常終了した場合

[NACK]
15h

■ 間違ったデータまたは VTR に異常があり処理できない場合

1. 受信完了メッセージを返信します。

[ACK]
06h

2. エラーコードを返信します。

[STX] [E R N₁ N₂ N₃] [ETX]
02h エラーコード 03h

4. エラーコード一覧

ER001 : 無効コマンド

- 未対応コマンド受信
- コマンド実行エラー

ER002 : パラメータエラー

ER102 : VTR モードエラー

(フロントローディングモータ)

ER103 : VTR モードエラー

(ローディングモータ)

ER104 : VTR モードエラー

(ドラム、キャプスタン系)

ER105 : VTR モードエラー (リール系)

ER106 : VTR モードエラー (テンション系)

ER108 : VTR DEW エラー

ER1FF : VTR システムエラー

RS-232C インターフェース

5. コマンド一覧

■ 動作制御 (Operation) 関連コマンド

<ノート>

- 返信 (完了) メッセージは、データ受信時に [ACK] を返信し、その後返信する実行メッセージのみを記載しています。
- 下記表に記載されていないコマンドについては、[ACK] を返信後に EROO1 (無効コマンド) を返信します。

VTR 操作	送信コマンド	返信 (完了) メッセージ
STOP	[STX] OSP [ETX] ↔	[STX] OSP [ETX]
	テープ走行を停止するコマンドです。	
EJECT	[STX] OEJ [ETX] ↔	[STX] OEJ [ETX]
	カセットテープをイジェクトするコマンドです。出力画および音声の状態は、セットアップメニュー No.105 (AUTO EE SEL) および No.111 (FRZ MODE SEL) の設定により異なります。詳細は、各セットアップメニューをご参照ください。	
PLAY	[STX] OPL [ETX] ↔	[STX] OPL [ETX]
	再生を開始するコマンドです。	
REWIND	[STX] ORW [ETX] ↔	[STX] ORW [ETX]
	テープを巻き戻すコマンドです。出力画および音声の状態は、セットアップメニュー No.105 (AUTO EE SEL) の設定により異なります。最高速度は、セットアップメニュー No.102 (FF. REW MAX) の設定により異なります。詳細は、各セットアップメニューをご参照ください。	
FAST FORWARD	[STX] OFF [ETX] ↔	[STX] OFF [ETX]
	テープを早送りするコマンドです。出力画および音声の状態は、セットアップメニュー No.105 (AUTO EE SEL) の設定により異なります。最高速度は、セットアップメニュー No.102 (FF. REW MAX) の設定により異なります。詳細は、各セットアップメニューをご参照ください。	
REC	[STX] ORC [ETX] ↔	[STX] ORC [ETX]
	録画を開始するコマンドです。	

VTR 操作	送信コマンド	返信 (完了) メッセージ
SHTL FORWARD	[STX] OSF:data [ETX] ↔	[STX] OSF [ETX]
	正方向シャトルのコマンドです。 data = n : speed data 0 : STILL 1 : × 0.03 2 : × 0.1 3 : × 0.2 4 : × 0.5 5 : × 1 6 : × 1.85 7 : × 4.1 (× 3.1) 8 : × 9.5 9 : × 16 A : × 32 <ノート> ● × 16 倍速と × 32 倍速は、セットアップメニュー No.101 (SHTL MAX) の設定により異なります。 ● () 表示は、DV/DVCAM テープ時の速度です。	
SHTL REVERSE	[STX] OSR:data [ETX] ↔	[STX] OSR [ETX]
	逆方向シャトルのコマンドです。 data = n : speed data 0 : STILL 1 : × 0.03 2 : × 0.1 3 : × 0.2 4 : × 0.43 (× 0.5) 5 : × 1 6 : × 1.85 7 : × 4.1 (× 3.1) 8 : × 9.5 9 : × 16 A : × 32 <ノート> ● × 16 倍速と × 32 倍速は、セットアップメニュー No.101 (SHTL MAX) の設定により異なります。 ● () 表示は、DV/DVCAM テープ時の速度です。	
STANDBY OFF	[STX] OBF [ETX] ↔	[STX] OBF [ETX]
	VTR をスタンバイ OFF にするコマンドです。	
STANDBY ON	[STX] OBN [ETX] ↔	[STX] OBN [ETX]
	VTR をスタンバイ ON にするコマンドです。	

RS-232C インターフェース

■ 問い合わせ (Question) 関連コマンド

<ノート>

- 返信 (完了) メッセージは、データ受信時に [ACK] を返信し、その後返信する実行メッセージのみを記載しています。
- 下記表に記載されていないコマンドについては、[ACK] を返信後に ER001 (無効コマンド) を返信します。

VTR 操作	送信コマンド	返信 (完了) メッセージ
CTL/TC DATA REQUEST	[STX] QCD [ETX] ↔ [STX] CD data [ETX]	<p>カウンター値を問い合わせるコマンドです。</p> <p>data = f w gh mm ss ff</p> <p>f = F</p> <p>w = S</p> <p>gh =</p> <p>CTL のとき :</p> <p>g = SP (20h) : プラス時</p> <p>– (2Dh) : マイナス時</p> <p>h = 0~9 : 時</p> <p>TC のとき :</p> <p>gh = 00~23 : 時</p> <p>mm = 00~59 : 分</p> <p>ss = 00~59 : 秒</p> <p>[525i システム]</p> <p>ff = 00~29 : フレーム</p> <p>[625i システム] SD955B</p> <p>ff = 00~24 : フレーム</p> <p><ノート></p> <p>フロント表示モードに合わせて、CTL か TC を返信します。</p>
STATUS REQUEST	[STX] QOP [ETX] ↔ [STX] *** [ETX]	<p>VTR の動作モードを問い合わせるコマンドです。</p> <p>*** = OEJ : EJECT</p> <p>OFF : FAST FORWARD</p> <p>OPL : PLAY</p> <p>ORC : REC</p> <p>ORW : REWIND</p> <p>OSP : STOP (STANDBY ON 含む)</p> <p>SRS : (IN/OUT) PREROLL</p> <p>OBF : STAND BY OFF</p> <p>OSF : SHTL FORWARD</p> <p>OSR : SHTL REVERSE</p> <p>OJG : JOG FORWARD/REVERSE</p> <p>OSW : VAR FORWARD/REVERSE</p> <p>EAE : AUTO EDIT</p> <p>EON : EDIT ON (MANUAL EDIT)</p> <p>EPV : PREVIEW</p> <p>ERV : REVIEW</p>
ID (機器番号) REQUEST	[STX] QID [ETX] ↔ [STX] data [ETX]	<p>使用機器を問い合わせるコマンドです。</p> <p>data = AJ-SD930B</p> <p>または、</p> <p>AJ-SD955B</p>

SDTI インターフェース

本機に SDTI ボード AJ-YAC930G (別売品) を装着することにより、SDTI フォーマット (圧縮デジタルインターフェース) を用いたデジタルデータの出入力が可能になります。

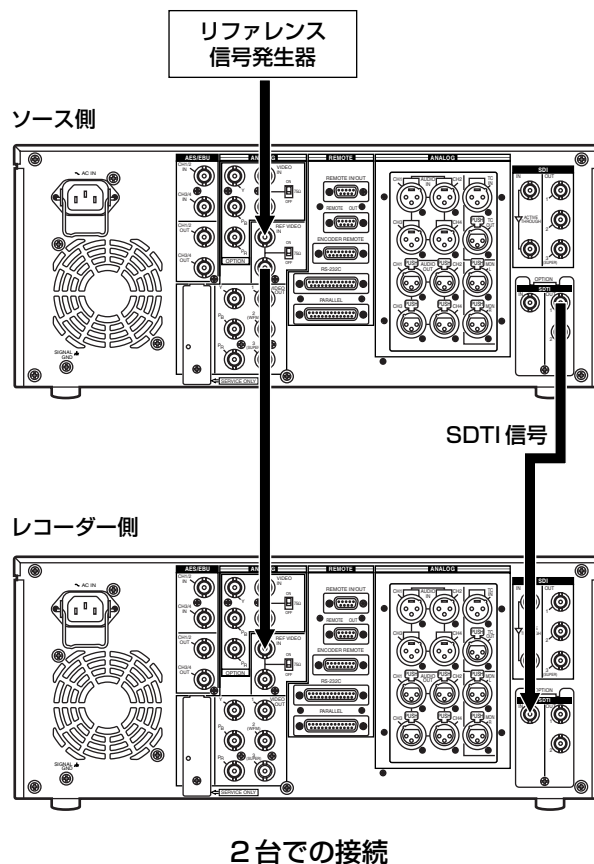
<ノート>

SDTI (Serial Data Transport Interface) は SMPTE305M 準拠です。

SDTI 上で伝送されるデータストリームフォーマットは SMPTE321M 準拠です。

SDTI を使用する場合のご注意

- SDTI 入力信号が、セットアップメニュー No. 012 (SYS FORMAT) で選択された DVCPRO50/DVCPRO フォーマットの 1 倍速転送信号の場合のみ記録できます。
ただし、通常の 1 倍速再生以外の再生信号を入力したとき、記録される画像と音声や EE の画像と音声は保証されません。
- SDTI 入力信号のビデオ、オーディオ、タイムコードが全てセットアップメニュー No. 012 (SYS FORMAT) で選択された DVCPRO50/DVCPRO フォーマットに準拠した正規のデータである場合にのみ編集動作が可能です。
- CUE 信号は SDTI では伝送されません。
- DV/DVCAM フォーマットで記録されたテープを SDTI ダビングすることはできません。
DV/DVCAM フォーマットで記録されたテープをダビングする場合には SDI を使用してください。
- DV/DVCAM フォーマットのテープを再生した場合、SDTI 出力は DV 圧縮信号 (IEC61834-2 準拠) になります。
- SDTI 出力信号のビデオ、オーディオの調整はできません。
- SLOW/STILL 再生時には、SDTI 出力として未処理のビデオ、オーディオ信号が出力されます。
これらのビデオ、オーディオ信号を他の機器でモニターすると、本機で再生したビデオ、オーディオ信号と異なる場合があります。



コネクターの信号

VIDEO IN

SDI IN (DIGITAL)	BNC × 2、アクティブスルー
Y、PB、PR (ANALOG)	BNC × 3 (ボード オプション)
VIDEO IN	BNC × 2、ループスルー 75 Ω 終端スイッチ付 (ボード オプション)
REF VIDEO IN	BNC × 2、ループスルー 75 Ω 終端スイッチ付

VIDEO OUT

SDI OUT (DIGITAL)	BNC × 3
Y、PB、PR (ANALOG)	BNC × 3
VIDEO OUT	BNC × 3

AUDIO IN

SDI IN (DIGITAL)	BNC × 2、アクティブスルー
AUDIO IN (DIGITAL)	BNC × 2 (CH1/CH2、CH3/CH4) AES/EBU フォーマット
AUDIO IN (ANALOG)	XLR × 4 (CH1、CH2、CH3、CH4)
TIME CODE IN	XLR × 1

AUDIO OUT

SDI OUT (DIGITAL)	BNC × 3
AUDIO OUT (DIGITAL)	BNC × 2 (CH1/CH2、CH3/CH4) AES/EBU フォーマット
AUDIO OUT (ANALOG)	XLR × 4 (CH1、CH2、CH3、CH4)
TIME CODE OUT	XLR × 1
MONITOR OUT	XLR × 2 (L/R)
HEADPHONES (フロント)	M3、ステレオ

RS-422A REMOTE (9P)

● REMOTE IN/OUT

ピンNo.	信号内容
1	FRAME GROUND
2	TRANSMIT A
3	RECEIVE B
4	RECEIVE COMMON
5	—————
6	TRANSMIT COMMON
7	TRANSMIT B
8	RECEIVE A
9	FRAME GROUND

● REMOTE OUT

ピンNo.	信号内容
1	FRAME GROUND
2	RECEIVE A
3	TRANSMIT B
4	TRANSMIT COMMON
5	—————
6	RECEIVE COMMON
7	RECEIVE B
8	TRANSMIT A
9	FRAME GROUND

コネクタの信号

PARALLEL REMOTE (25P)

ピンNo.	信号内容
1	PLAY COMMAND
2	STOP COMMAND
3	FF COMMAND
4	REW COMMAND
5	REC COMMAND
6	EJECT COMMAND
7	STAND BY COMMAND
8	PREROLL COMMAND
9	IN SET COMMAND
10	—————
11	—————
12	+10V以上、最大300mA
13	PLAY STATUS
14	STOP STATUS
15	FF STATUS
16	REW STATUS
17	REC STATUS
18	EJECT STATUS
19	STAND BY ON STATUS
20	PREROLL STATUS
21	SERVO LOCK STATUS
22	OPERATION ENABLE STATUS
23	—————
24	—————
25	GND

<ノート>

- COMMANDはTTLレベル、アクティブLOWエッジは100msec以上の電気信号を入力してください。
- STATUSはオープンコレクタ、シンク電流は最大6mAで出力されます。

RS-232C

(D-SUB 25ピン、クロスケーブル対応)

ピンNo.	信号	内容
1	FG	保安用接地（フレームグラウンド）
2	RXD	受信データ（PCヘータを送信する）
3	TXD	送信データ（PCからデータを受信する）
4	CTS	送信可（5番ピンと短絡）
5	RTS	送信要求（4番ピンと短絡）
6	DTR	データ端末レディ（未処理）
7	SG	信号用接地（信号用GND）
20	DSR	データ・セット・レディ（通信可能状態後正電圧出力）

ENCODER (15P)

ピンNo.	信号内容
1	—————
2	BLACK LEVEL
3	C LEVEL
4	GND
5	+9V
6	SYSTEM H 0
7	SYS. SC COARSE (2)
8	-9V
9	CHROMA PHASE
10	VIDEO LEVEL
11	RET GND
12	—————
13	—————
14	SYS. SC FINE
15	SYS. SC COARSE (1)

保証とアフターサービス

故障・修理・お取扱い・メンテナンス

などのご相談は、まず、
お買い上げの販売店
へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。

※ 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。

内容をよくお読みいただいた上、大切に保存してください。

万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

ただし、下記部品は、保証期間内でも使用時間による保証となります。

DVCPRO ビデオヘッド: 1,000 時間
消耗・摩耗部品 : 1,000 時間

■補修用性能部品

当社では、デジタルビデオカセットレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年間保有しています。

※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■定期メンテナンス（保守・点検）

定期メンテナンス（保守・点検）は、お客様が安心して機器をご使用いただくために、定期的に必要なメンテナンスを行い、機器の機能を常に良好な状態に維持するためのものです。

部品の摩耗、劣化、ゴミ、ホコリの付着などによる突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能を維持するために、定期メンテナンスのご契約を推奨いたします。

なお、メンテナンス実施の周期、費用につきましては、機器のご使用状況、時間、環境などにより変化します。

定期メンテナンス（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

* 摩耗部品とは、

- | | |
|----------|-------------|
| ●ビデオヘッド | ●ローラー類 |
| ●ピンチローラー | ●ヘッド類 |
| ●各種ブレーキ | ●その他メカ駆動系部品 |
| ●モーター | |

修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認の上、お買い上げの販売店までご連絡ください。

◆保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは、保証書をご覧ください。

◆保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。


ご連絡いただきたい内容

品 名	デジタルビデオカセットレコーダー
品 番	AJ-SD930B、AJ-SD955B
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

定 格

【総合】

電源 : AC 100 - 240V、50/60 Hz
消費電力 : 100W
120W (フルオプション)

 は安全項目です。

動作周囲温度 :

5℃～40℃

動作周囲湿度 :

10%～80% (結露無し)

質量 :

AJ-SD930B : 14.9 kg

AJ-SD955B : 15.0 kg

外形寸法 (幅×高さ×奥行き) :

424 × 175.2 × 430 mm

(セット足、ジャック、JOGダイヤルを除く)

記録フォーマット :

DVCPR050/DVCPR0 フォーマット切り替え

記録ビデオ信号 :

AJ-SD930B : 525i システム

AJ-SD955B : 525i システム/625i システム切り替え

記録オーディオ信号 :

DVCPR050 :

48 kHz 16bits 4CH

DVCPR0 :

48 kHz 16bits 2CH

記録トラック :

デジタルビデオ・オーディオ :

ヘリカルトラック

タイムコードはサブコード領域に記録

キュー信号 :

1トラック

コントロール (CTL) :

1トラック

テープ速度 :

[525i システム]

67.640 mm/秒 (DVCPR050)

[625i システム] **SD955B**

67.708 mm/秒 (DVCPR050)

記録時間 :

92分 (AJ-5P92LP 使用時)

33分 (AJ-5P33MP 使用時)

使用テープ :

メタルテープ

早送り/巻戻し時間 :

3分以内 (AJ-5P92LP 使用時)

2分以内 (AJ-5P33MP 使用時)

デジタルスロー :

-0.43～+0.43、+0.5、+0.75 倍速
(DVCPR0、DVCPR050)

編集精度 :

±0 フレーム (タイムコード使用時)

テープタイマー精度 :

±1 フレーム (連続CTL信号使用時)

サーボロック時間 :

0.5秒以内 (カラーフレンジング/スタンバイ ON)

【ビデオ】

■デジタルビデオ

サンプリング周波数 :

Y : 13.5 MHz、PB/PR : 6.75 MHz
(DVCPR050)

量子化 :

8 bits

ビデオ圧縮方式 :

DV-Based Compression (SMPTE 314M)

ビデオ圧縮比率 :

DVCPR050 : 1/3.3

DVCPR0 : 1/5

エラー訂正 :

リードソロモンプロダクトコード

ビットレート :

DVCPR050 : 50 Mbps

DVCPR0 : 25 Mbps

■デジタル入力/アナログコンポーネント出力

映像帯域 :

[525i システム]

Y : 30 Hz～5.75 MHz (±0.5 dB)

PB/PR : 30 Hz～2.75 MHz (±0.5 dB)

[625i システム] **SD955B**

Y : 25 Hz～5.75 MHz (±1.0 dB)

PB/PR : 25 Hz～2.75 MHz (±1.0 dB)

S/N比 :

60 dB 以上 (Y)

Kファクター :

1%以下 (Y 2T)

Y/PB/PR ディレイ :

10 nsec 以下

■ビデオ入力信号

アナログコンポーネント入力 (オプション) :

BNC × 3 (Y、PB、PR)

Y : 1.0 V [p-p]、

PB/PR : 0.525/0.757 V [p-p]切り替え、

75 Ω、(75%カラーバー、セットアップレベル0%)

アナログコンポジット入力 (オプション) :

BNC × 2、ループスルー、75 Ω ON/OFF

VIDEO : 1.0 V [p-p] (75 Ω)

リファレンス入力 :

アナログコンポジット、BNC × 2、ループスルー、

75 Ω ON/OFF

SDI入力 :

BNC × 2、アクティブスルー、SMPTE259M-C 規格に準拠

SDTI入力 (オプション) :

BNC × 1、SMPTE 305M/321M 規格に準拠

定 格

【ビデオ】

■ビデオ出力信号

アナログコンポーネント出力：

BNC × 3 (Y、PB、PR)

Y : 1.0 V [p-p]、

PB/PR : 0.525/0.757 V [p-p] 切り替え、

75 Ω、(75%カラーバー、セットアップレベル0%)

アナログコンポジット出力：

BNC × 3、ビデオ 1、ビデオ 2 (ビデオ/WFM 切り替え可)、

ビデオ 3 (スーパー ON/OFF)

SDI 出力：

BNC × 3、SMPTE259M-C 規格に準拠

SDI 1、SDI 2、SDI 3 (スーパー ON/OFF)

SDTI 出力 (オプション)：

BNC × 2、SMPTE 305M/321M 規格に準拠

■ビデオ調整範囲

ビデオ出力ゲイン：

± 3 dB

ビデオ出力クロマゲイン：

± 3 dB

ビデオ出力HUE (クロマ位相)：

± 30°

ビデオ出力セットアップレベル (ブラックレベル)：

± 14 IRE (± 100mV)

ビデオ出力シンク位相：

± 15 μ sec

ビデオ出力SC位相：

± 180°

【オーディオ】

■デジタルオーディオ

サンプリング周波数：

48 kHz (ビデオに同期)

量子化：

16 bits

周波数特性：

20 Hz ~ 20 kHz ± 1.0 dB (基準レベルにて)

ダイナミックレンジ：

90 dB 以上 (1 kHz、エンファシス OFF、“A” weighted)

歪率：

0.05% 以下 (1 kHz、エンファシス OFF、基準レベル)

クロストーク：

- 80 dB 以下 (1 kHz、2チャンネル間)

ワウ&フラッター：

測定限界値以下

ヘッドルーム：

20 dB

ディエンファシス：

T1 = 50 μ sec、T2 = 15 μ sec (ON/OFF 自動切り替え)

■キュートラック

周波数特性：

300 Hz ~ 6 kHz ± 3.0 dB (DVCPRO50)

【オーディオ】

■オーディオ入力信号

アナログ入力 (CH1、CH2、CH3、CH4)：

XLR × 4、600 Ω/ハイインピーダンス切り替え可能
(600 Ωで出荷)

+ 4/0/- 20 dBm 切り替え可能

デジタル入力 (CH1/CH2、CH3/CH4)：

BNC × 2、AES/EBU フォーマット

SDI 入力：

BNC × 2、アクティブスルー、SMPTE259M-C/272M-A
規格に準拠

■オーディオ出力信号

アナログ出力 (CH1、CH2、CH3、CH4)：

XLR × 4、ローインピーダンス、
+ 4/0/- 20 dBm 切り替え可能

デジタル出力 (CH1/CH2、CH3/CH4)：

BNC × 2、AES/EBU フォーマット、
75 Ω、1.0 ± 0.2 V [p-p]

SDI 出力：

BNC × 3、75 Ω、SMPTE259M-C/272M-A 規格に準拠

モニター出力：

XLR × 2、ローインピーダンス、
+ 4/0/- 20 dBm 切り替え可能

ヘッドホン出力：

M3、ステレオ、8 Ω、レベル可変

【その他入出力信号】

タイムコード入力：

XLR × 1、0.5 ~ 8.0 V [p-p]、10 k Ω

タイムコード出力：

XLR × 1、ローインピーダンス、2.0 ± 0.5 V [p-p]

RS-422A 入力：

D-sub 9pin、RS-422A インターフェース

RS-422A 出力：

D-sub 9pin、RS-422A インターフェース

RS-232C：

D-sub 25pin、RS-232C インターフェース

パラレル入出力：

D-sub 25pin

エンコーダリモート：

D-sub 15pin

松下電器産業株式会社 システム事業グループ

☎ 571-8503 大阪府門真市松葉町 2 番 15 号 ☎ (06) 6901-1161

© 2004 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. (松下電器産業株式会社) All Rights Reserved.



S0903W2124 -F ㊞